

公共交通に関する市民アンケート調査結果について

1. 調査の概要

(1)調査の目的

本市では、平成 30 年 3 月に策定した「第二次山口市市民交通計画」に基づき、地域の皆様や交通事業者と共に、市民ニーズにあった持続可能な公共交通を創り守るため、様々な施策を展開しています。

公共交通は、通勤・通学、買い物などの日常生活における移動手段として必要不可欠なものです。また、現在、自動車で移動されていても、高齢になり自動車の運転が不安になった場合を考えると、将来にわたり公共交通を維持していくことが必要です。

しかしながら、マイカー社会の進展に伴い、公共交通を取り巻く環境はより厳しさを増しており、公共交通の利用者が減少することにより、路線の廃止や減便につながっている状況です。

このため、市民の皆様の日常の外出や公共交通の利用意向などについての意識やニーズ等を把握した上で、分析を行い、市民交通計画の中間見直しに反映させることを目的に本アンケートを実施しました。

(2)調査の対象

山口市内に在住する 15 歳以上の市民(無作為抽出)

(3)配布・回収方法

郵便発送・郵便回収又はウェブ回収

(4)調査期間

令和 5 年 7 月 14 日(金)～令和 5 年 8 月 4 日(金)

(5)回収結果

総配布数	5,014 人
転出などによる事故数	18 人
調査対象数	4,996 人
有効回収数	1,830 人
回収率	36.6%

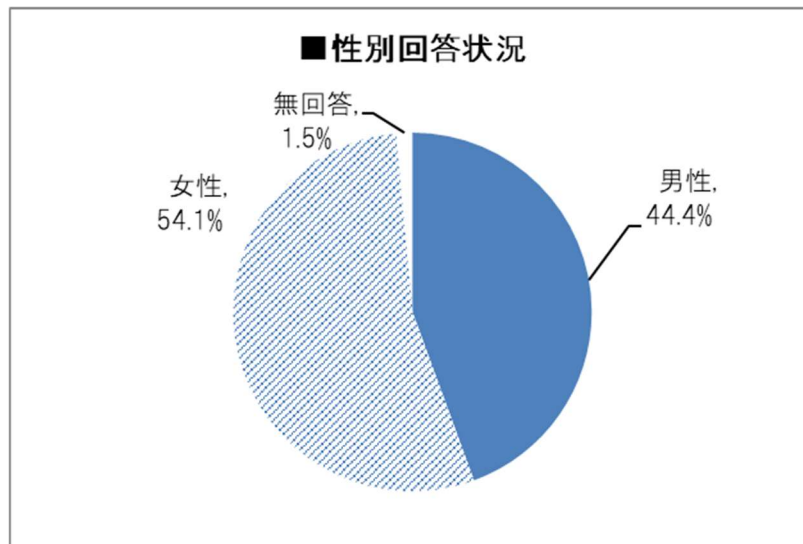
2. 回答者について

(1)性別

- 回答者の性別は、男性が813人(44.4%)、女性が990人(54.1%)、記入がなく無回答が27人(1.5%)でした。
- 有効回答者の構成比率を見ると、女性が男性より9.7ポイント高くなっています。

■性別回答状況

	回答数(人)	構成比(%)
男性	813	44.4%
女性	990	54.1%
無回答	27	1.5%
合計	1,830	100.0%

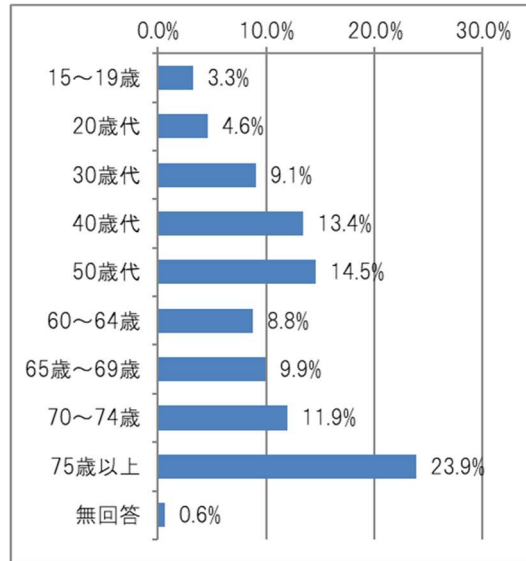


(2)年齢別

- ・有効回答者の年齢階層別の構成比率を見ると、「60～64 歳」が 8.8%、「65～69 歳」が 9.9%、「70～74 歳」が 11.9%、「75 歳以上」が 23.9%となり、60 歳以上が 54.5%となり、5 割を超えました。
- ・住民基本台帳の年齢構成割合と比較すると、「60 歳代」以上の回答割合で実際の人口割合より高く、「50 歳代」以下の回答割合で実際の人口割合より低くなっています。

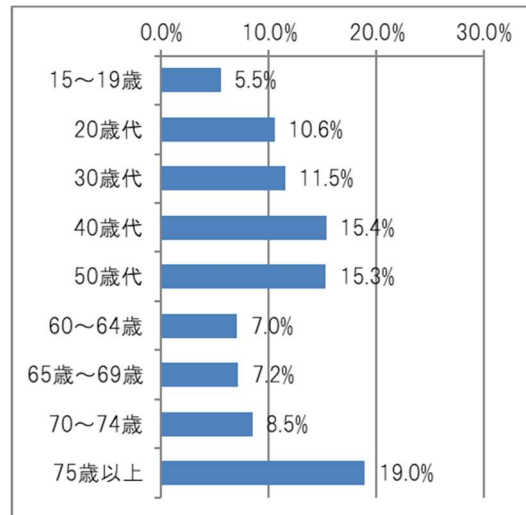
■年齢別回答状況

	回答数(人)	構成比(%)
15～19歳	60	3.3%
20歳代	84	4.6%
30歳代	166	9.1%
40歳代	246	13.4%
50歳代	266	14.5%
60～64歳	161	8.8%
65歳～69歳	181	9.9%
70～74歳	218	11.9%
75歳以上	437	23.9%
無回答	11	0.6%
合計	1,830	100.0%



参考:住民基本台帳上の15歳以上人口(令和5年7月31日現在)

	回答数(人)	構成比(%)
15～19歳	9,123	5.5%
20歳代	17,393	10.6%
30歳代	18,976	11.5%
40歳代	25,325	15.4%
50歳代	25,172	15.3%
60～64歳	11,596	7.0%
65歳～69歳	11,775	7.2%
70～74歳	13,988	8.5%
75歳以上	31,208	19.0%
合計	164,556	100.0%

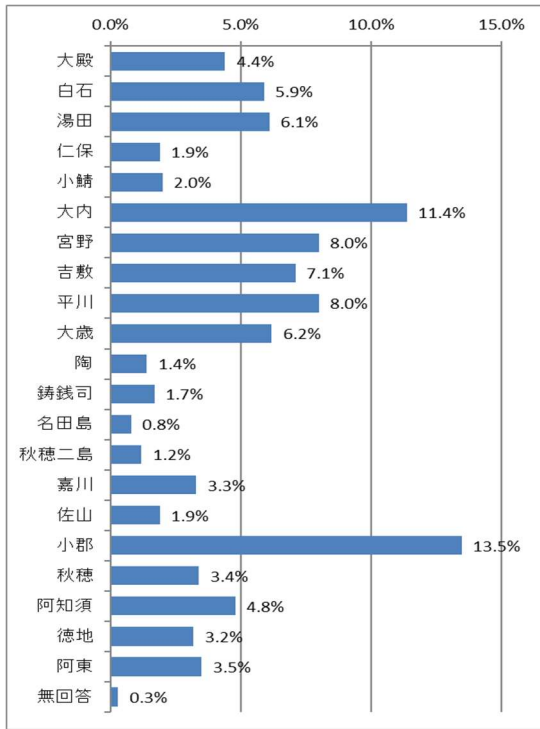


(3)地域別

- ・ 地域別の回答状況は、「小郡」が、246 人(13.5%)で最も多く、続いて大内が 208 人(11.4%)でした。
- ・ 住民基本台帳の人口割合と比較し、「宮野」は 0.8 ポイント実際の人口割合より高く、「大歳」は 1.1 ポイント、「平川」は 0.8 ポイントほど実際の人口割合より低い割合となっています。

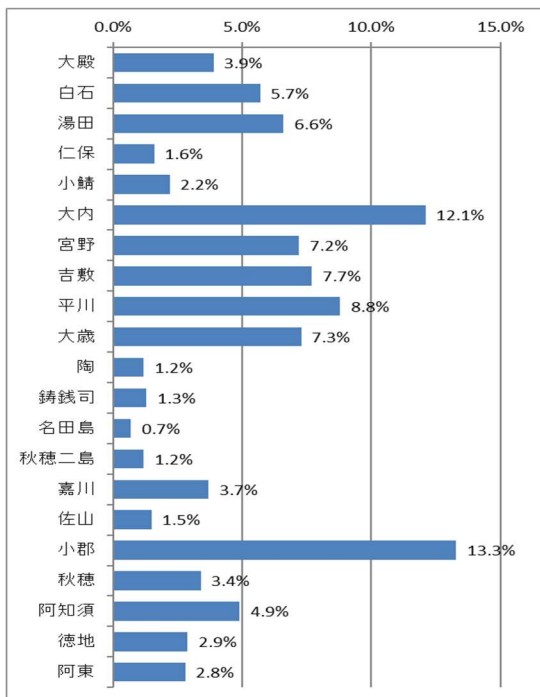
■地域別回答状況

	回答数(人)	構成比(%)
大殿	81	4.4%
白石	108	5.9%
湯田	112	6.1%
仁保	35	1.9%
小鯖	37	2.0%
大内	208	11.4%
宮野	146	8.0%
吉敷	130	7.1%
平川	147	8.0%
大歳	114	6.2%
陶	26	1.4%
鑄銭司	30	1.7%
名田島	14	0.8%
秋穂二島	21	1.2%
嘉川	61	3.3%
佐山	35	1.9%
小郡	246	13.5%
秋穂	62	3.4%
阿知須	88	4.8%
徳地	59	3.2%
阿東	64	3.5%
無回答	6	0.3%
合計	1,830	100.0%



参考:住民基本台帳上の15歳以上人口(令和5年7月31日現在)

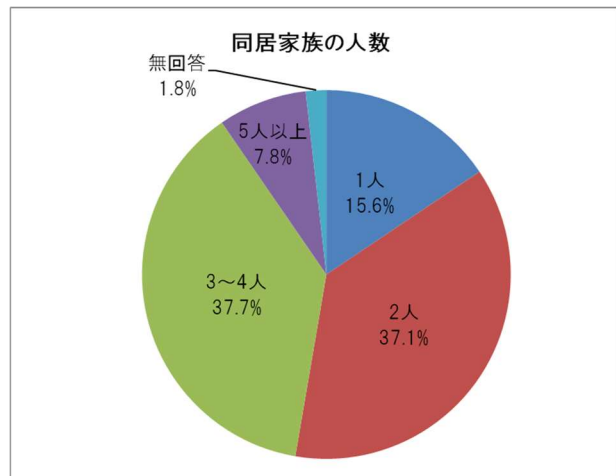
	回答数(人)	構成比(%)
大殿	6,473	3.9%
白石	9,371	5.7%
湯田	10,846	6.6%
仁保	2,588	1.6%
小鯖	3,660	2.2%
大内	19,897	12.1%
宮野	11,899	7.2%
吉敷	12,618	7.7%
平川	14,455	8.8%
大歳	12,012	7.3%
陶	1,933	1.2%
鑄銭司	2,228	1.3%
名田島	1,116	0.7%
秋穂二島	1,988	1.2%
嘉川	6,159	3.7%
佐山	2,457	1.5%
小郡	21,891	13.3%
秋穂	5,545	3.4%
阿知須	8,051	4.9%
徳地	4,753	2.9%
阿東	4,616	2.8%
合計	164,556	100.0%



(4)同居家族の人数

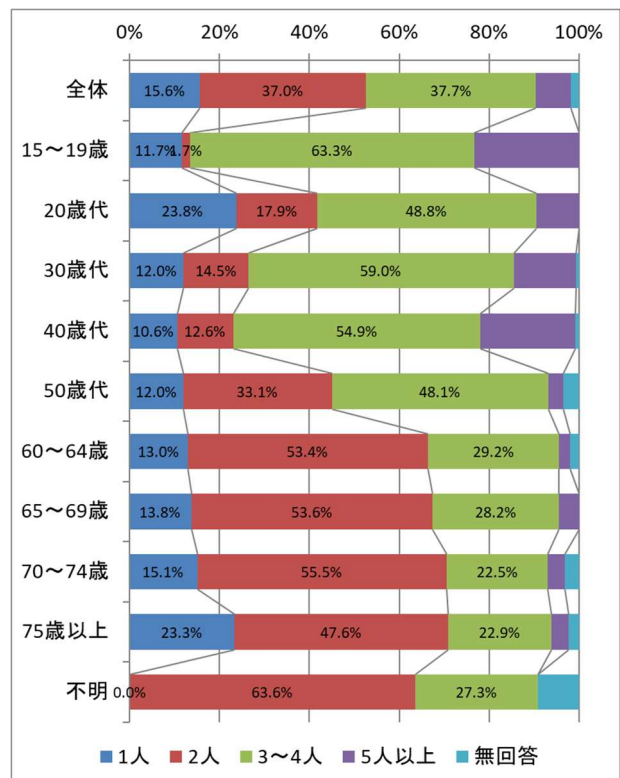
同居家族の人数は、「3～4人」(37.7%)、ついで「2人」(37.1%)となっています。

	回答数(人)	構成比
1人	286	15.6%
2人	678	37.1%
3～4人	690	37.7%
5人以上	143	7.8%
無回答	33	1.8%
合計	1,830	100%



年齢別に見ると、1人世帯の割合が最も高いのは「20歳代」(23.8%)で、ついで「75歳以上」(23.3%)となっています。高年齢層の世帯数が少ない傾向があり、60歳以上の年齢階層は全て、同居家族の人数が2人以下となる割合が6割を超えています。

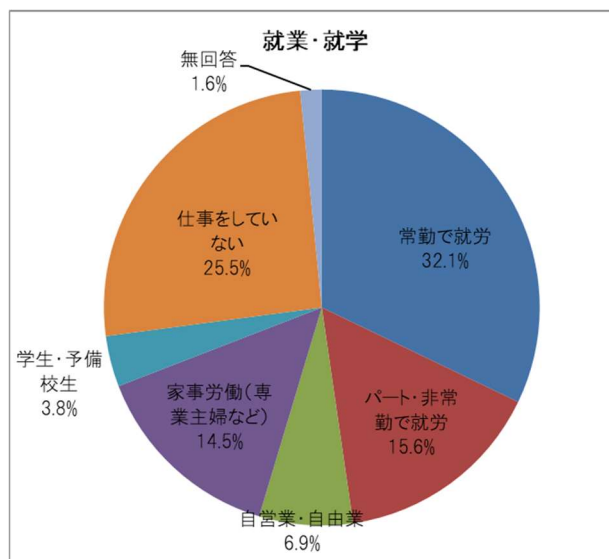
	1人	2人	3～4人	5人以上	無回答
全体	15.6%	37.0%	37.7%	7.8%	1.8%
15～19歳	11.7%	1.7%	63.3%	23.3%	0.0%
20歳代	23.8%	17.9%	48.8%	9.5%	0.0%
30歳代	12.0%	14.5%	59.0%	13.9%	0.6%
40歳代	10.6%	12.6%	54.9%	21.1%	0.8%
50歳代	12.0%	33.1%	48.1%	3.4%	3.4%
60～64歳	13.0%	53.4%	29.2%	2.5%	1.9%
65～69歳	13.8%	53.6%	28.2%	4.4%	0.0%
70～74歳	15.1%	55.5%	22.5%	3.7%	3.2%
75歳以上	23.3%	47.6%	22.9%	3.9%	2.3%
不明	0.0%	63.6%	27.3%	0.0%	9.1%



(5)就業・就学の状況

常勤で就労している方が最も多く(32.1%)、次いで仕事をされていない方が 25.5%、パート・非常勤で就労が 15.6%となっています。

	回答数(人)	構成比
常勤で就労	588	32.1%
パート・非常勤で就労	285	15.6%
自営業・自由業	127	6.9%
家事労働(専業主婦など)	265	14.5%
学生・予備校生	69	3.8%
仕事をされていない	467	25.5%
無回答	29	1.6%
合計	1,830	100%

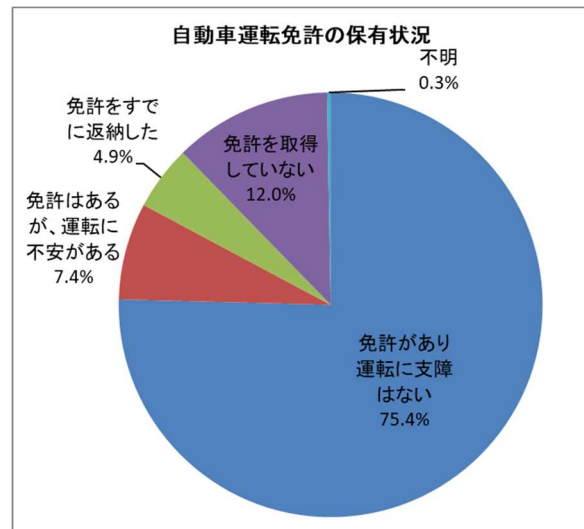


(6)自動車運転免許の保有状況

自動車運転免許の保有状況については、運転免許を保有している方が約 8 割(82.8%)おられるものの、うち 7.4%の方が運転に不安を感じています。

また、「免許をすでに返納した」(4.9%)、「免許を取得していない」(12.0%)をあわせ、2 割弱の方が自動車の運転免許を保有していません。

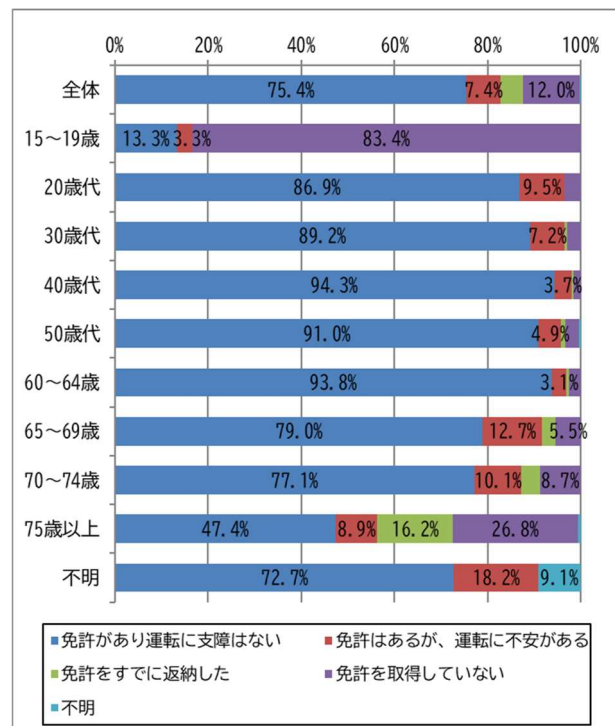
	回答数	割合
免許があり運転に支障はない	1,380	75.4%
免許はあるが、運転に不安がある	135	7.4%
免許をすでに返納した	90	4.9%
免許を取得していない	220	12.0%
不明	5	0.3%
合計	1,830	100%



年齢別にみると、「免許はあるが、運転に不安がある」と回答した割合は、「65 歳～69 歳」(12.7%)、「70 歳～74 歳」(10.1%)、「20 歳代」(9.5%)の順に高くなっています。

また、「15 歳～19 歳」では、「免許を取得していない」(83.3%)が約 8 割を占め、「75 歳以上」については、「免許をすでに返納した」(16.2%)、「免許を取得していない」(26.8%)をあわせ、運転免許を保有していない方が約 4 割(43.0%)を占めています。

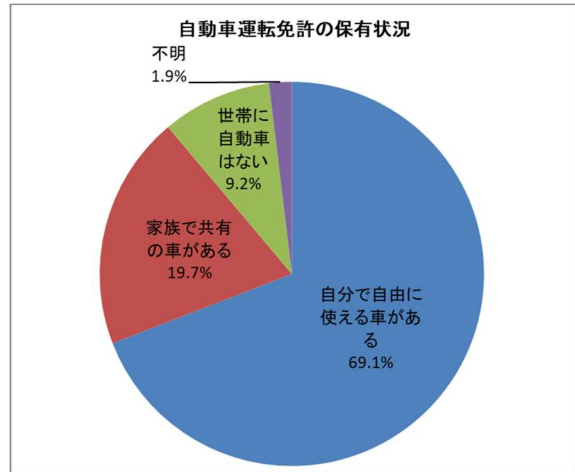
	免許があり運転に支障はない	免許はあるが、運転に不安がある	免許をすでに返納した	免許を取得していない	不明
全体	75.4%	7.4%	4.9%	12.0%	0.3%
15～19歳	13.3%	3.3%	0.0%	83.3%	0.0%
20歳代	86.9%	9.5%	0.0%	3.6%	0.0%
30歳代	89.2%	7.2%	0.6%	3.0%	0.0%
40歳代	94.3%	3.7%	0.4%	1.6%	0.0%
50歳代	91.0%	4.9%	0.8%	3.0%	0.4%
60～64歳	93.8%	3.1%	0.6%	2.5%	0.0%
65～69歳	79.0%	12.7%	2.8%	5.5%	0.0%
70～74歳	77.1%	10.1%	4.1%	8.7%	0.0%
75歳以上	47.4%	8.9%	16.2%	26.8%	0.7%
不明	72.7%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%



(7)自動車の保有状況について

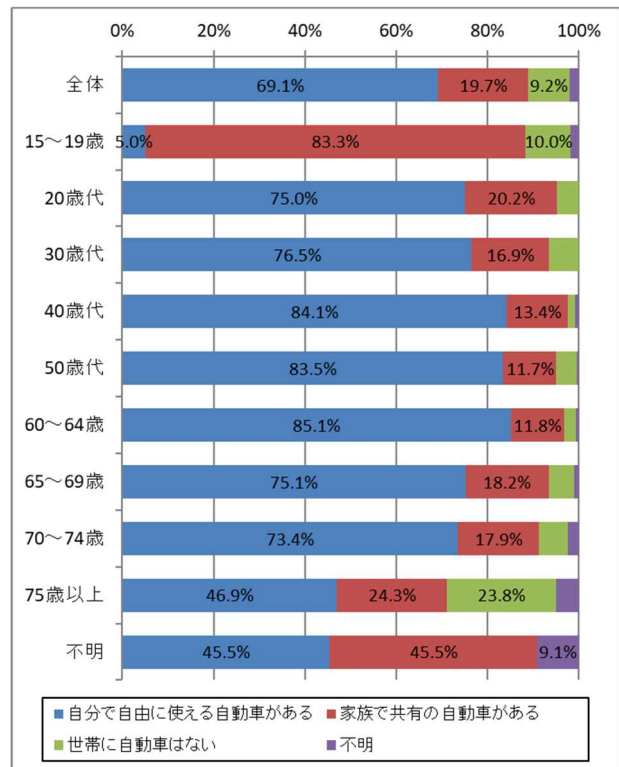
自動車の保有状況については、「自分で自由に使える車がある」(69.1%)、「家族で共有の車がある」(19.7%)をあわせると約 9 割(88.8%)の世帯で自動車を保有しています。

	回答数	割合
自分で自由に使える車がある	1,265	69.1%
家族で共有の車がある	361	19.7%
世帯に自動車はない	169	9.2%
不明	35	1.9%
合計	1,830	100%



年齢別にみると、「世帯に自動車はない」と回答した割合は、「75 歳以上」(23.8%)、「15～19 歳」(10.0%)、「30 歳代」(6.6%)の順に高くなっています。

	自分で自由に使える自動車がある	家族で共有の自動車がある	世帯に自動車はない	不明
全体	69.1%	19.7%	9.2%	1.9%
15～19歳	5.0%	83.3%	10.0%	1.7%
20歳代	75.0%	20.2%	4.8%	0.0%
30歳代	76.5%	16.9%	6.6%	0.0%
40歳代	84.1%	13.4%	1.6%	0.8%
50歳代	83.5%	11.7%	4.5%	0.4%
60～64歳	85.1%	11.8%	2.5%	0.6%
65～69歳	75.1%	18.2%	5.5%	1.1%
70～74歳	73.4%	17.9%	6.4%	2.3%
75歳以上	46.9%	24.3%	23.8%	5.0%
不明	45.5%	45.5%	0.0%	9.1%

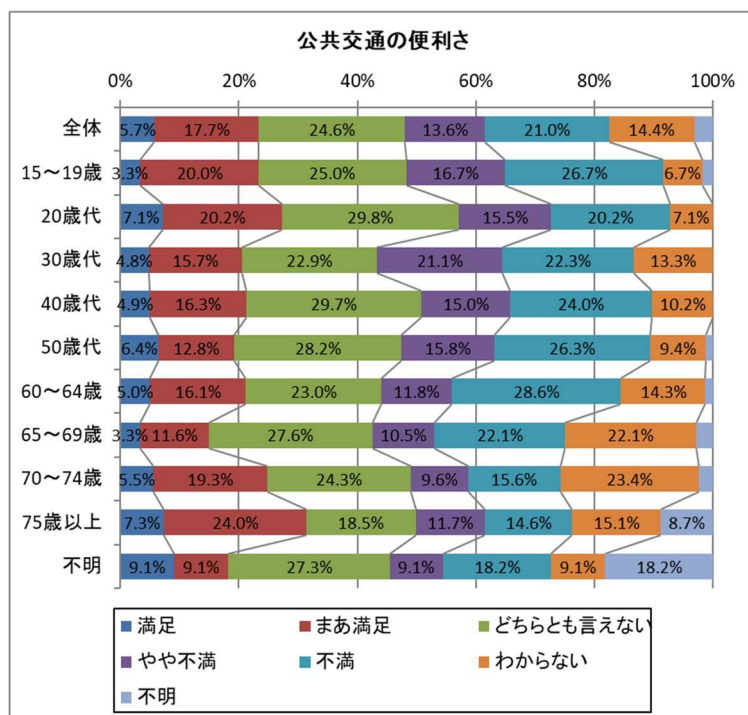


3. 公共交通機関の便利さについて…問 1

公共交通機関の便利さについて、全体では「満足」(5.7%)、「まあ満足」(17.7%)をあわせると23.4%であるのに対し、「やや不満」(13.6%)、「不満」(21.0%)をあわせると34.6%となり、不満傾向にある方の割合の方が多くなっています。

また、年齢構成別にみると、「満足」、「やや満足」を合わせた割合が、「75歳以上」31.3%、「70～74歳代」24.8%となり、全体平均の満足割合より高くなっています。また、「やや不満」、「不満」を合わせた割合は、65歳未満全ての階層で全体平均より高くなっており、最も不満度が高い年齢階層は、「15～19歳」と「30歳代」(43.4%)となっています。

	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	わからない	不明
全体	5.7%	17.7%	24.6%	13.6%	21.0%	14.4%	3.1%
15～19歳	3.3%	20.0%	25.0%	16.7%	26.7%	6.7%	1.7%
20歳代	7.1%	20.2%	29.8%	15.5%	20.2%	7.1%	0.0%
30歳代	4.8%	15.7%	22.9%	21.1%	22.3%	13.3%	0.0%
40歳代	4.9%	16.3%	29.7%	15.0%	24.0%	10.2%	0.0%
50歳代	6.4%	12.8%	28.2%	15.8%	26.3%	9.4%	1.1%
60～64歳	5.0%	16.1%	23.0%	11.8%	28.6%	14.3%	1.2%
65～69歳	3.3%	11.6%	27.6%	10.5%	22.1%	22.1%	2.8%
70～74歳	5.5%	19.3%	24.3%	9.6%	15.6%	23.4%	2.3%
75歳以上	7.3%	24.0%	18.5%	11.7%	14.6%	15.1%	8.7%
不明	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%

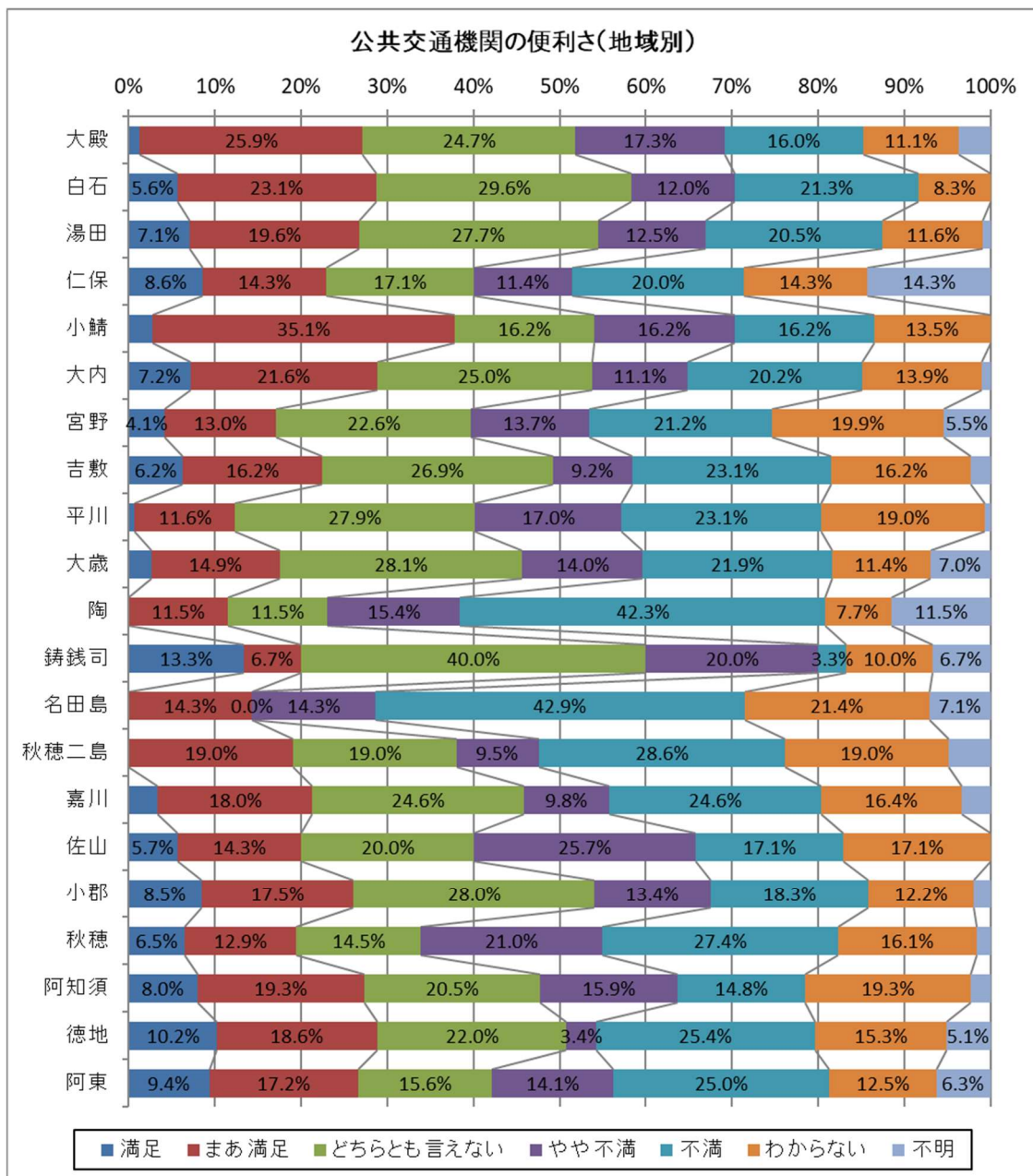


また、地域別にみると、「満足」、「まあ満足」を合わせた割合は、上位から小鯖(37.8%)、大内(28.8%)、徳地(28.8%)、白石(28.7%)、阿知須(27.3%)の順となっています。

一方「やや不満」、「不満」を合わせた割合は、上位から陶(57.7%)、名田島(57.2%)、秋穂(48.4%)、佐山(42.8%)、平川(40.1%)の順になっています。

さらに、小鯖、徳地以外の地域では、「満足」、「まあ満足」を合わせた割合よりも、「やや不満」、「不満」を合わせた割合の方が高くなっています。

	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	わからない	不明
大殿	1.2%	25.9%	24.7%	17.3%	16.0%	11.1%	3.7%
白石	5.6%	23.1%	29.6%	12.0%	21.3%	8.3%	0.0%
湯田	7.1%	19.6%	27.7%	12.5%	20.5%	11.6%	0.9%
仁保	8.6%	14.3%	17.1%	11.4%	20.0%	14.3%	14.3%
小鯖	2.7%	35.1%	16.2%	16.2%	16.2%	13.5%	0.0%
大内	7.2%	21.6%	25.0%	11.1%	20.2%	13.9%	1.0%
宮野	4.1%	13.0%	22.6%	13.7%	21.2%	19.9%	5.5%
吉敷	6.2%	16.2%	26.9%	9.2%	23.1%	16.2%	2.3%
平川	0.7%	11.6%	27.9%	17.0%	23.1%	19.0%	0.7%
大歳	2.6%	14.9%	28.1%	14.0%	21.9%	11.4%	7.0%
陶	0.0%	11.5%	11.5%	15.4%	42.3%	7.7%	11.5%
鑄銭司	13.3%	6.7%	40.0%	20.0%	3.3%	10.0%	6.7%
名田島	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	21.4%	7.1%
秋穂二島	0.0%	19.0%	19.0%	9.5%	28.6%	19.0%	4.8%
嘉川	3.3%	18.0%	24.6%	9.8%	24.6%	16.4%	3.3%
佐山	5.7%	14.3%	20.0%	25.7%	17.1%	17.1%	0.0%
小郡	8.5%	17.5%	28.0%	13.4%	18.3%	12.2%	2.0%
秋穂	6.5%	12.9%	14.5%	21.0%	27.4%	16.1%	1.6%
阿知須	8.0%	19.3%	20.5%	15.9%	14.8%	19.3%	2.3%
徳地	10.2%	18.6%	22.0%	3.4%	25.4%	15.3%	5.1%
阿東	9.4%	17.2%	15.6%	14.1%	25.0%	12.5%	6.3%
不明	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%



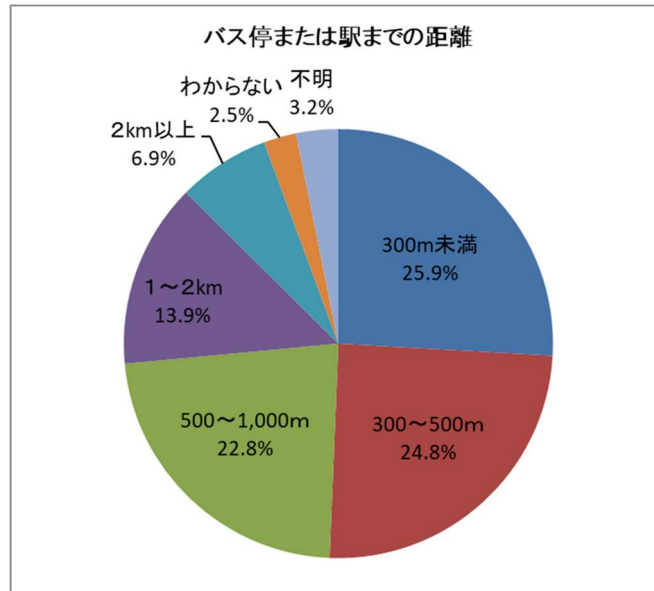
< 不満理由として挙げられた主なご意見 >

- ・バスの本数が少ない。
- ・バス停が遠い。
- ・鉄道の運行本数が少ない。
- ・鉄道、バスの最終便が早い。
- ・乗り換えが必要。

4. バス停または駅までの距離について・・・問 2

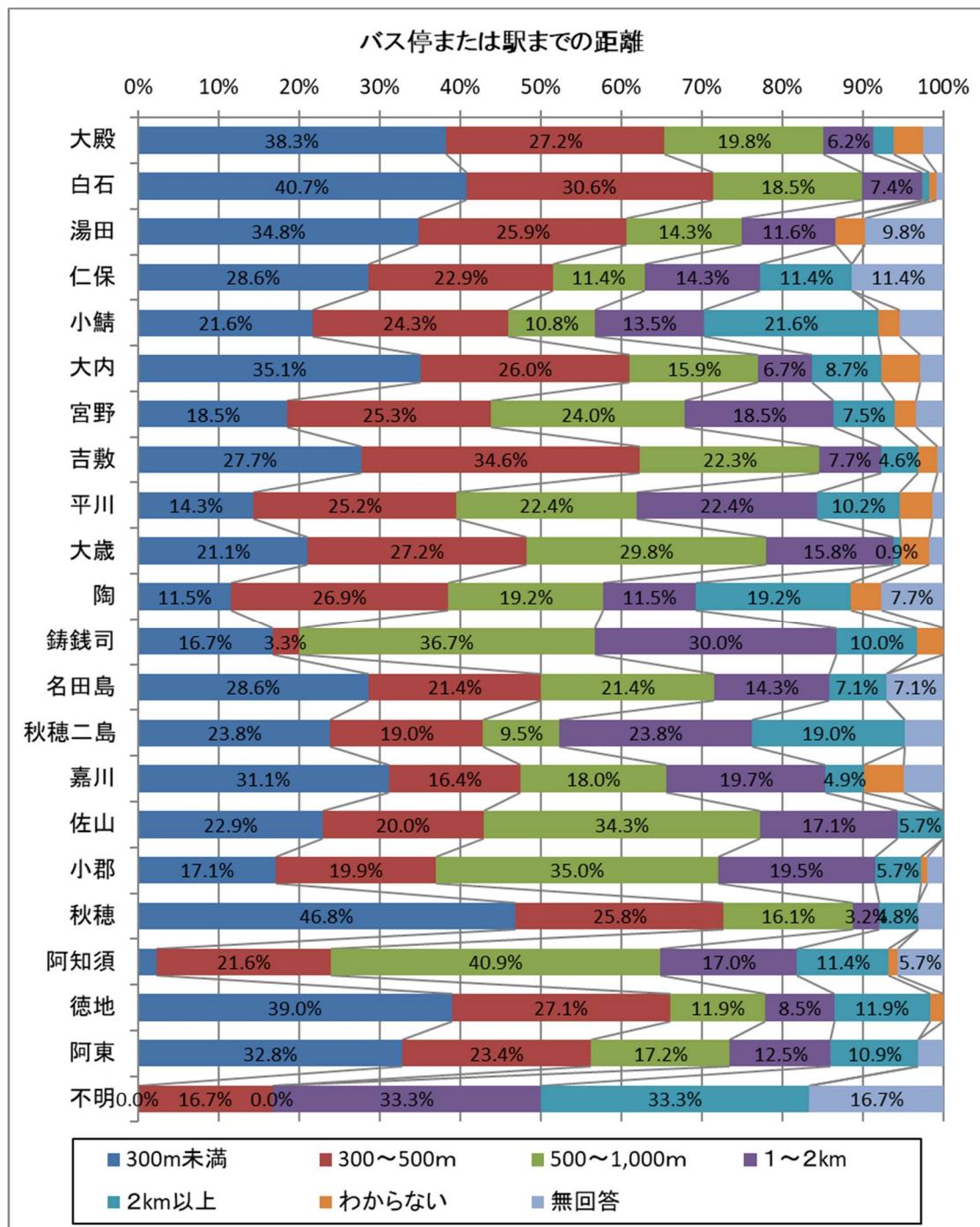
バス停または駅までの距離については、「300m 未満」(25.9%)が最も多く、ついで、「300～500m」(24.8%)となり、500m までで約半数(50.7%)を占めています。

	回答数	割合
300m未満	474	25.9%
300～500m	453	24.8%
500～1,000m	418	22.8%
1～2km	255	13.9%
2km以上	127	6.9%
わからない	45	2.5%
不明	58	3.2%
合計	1,830	100%



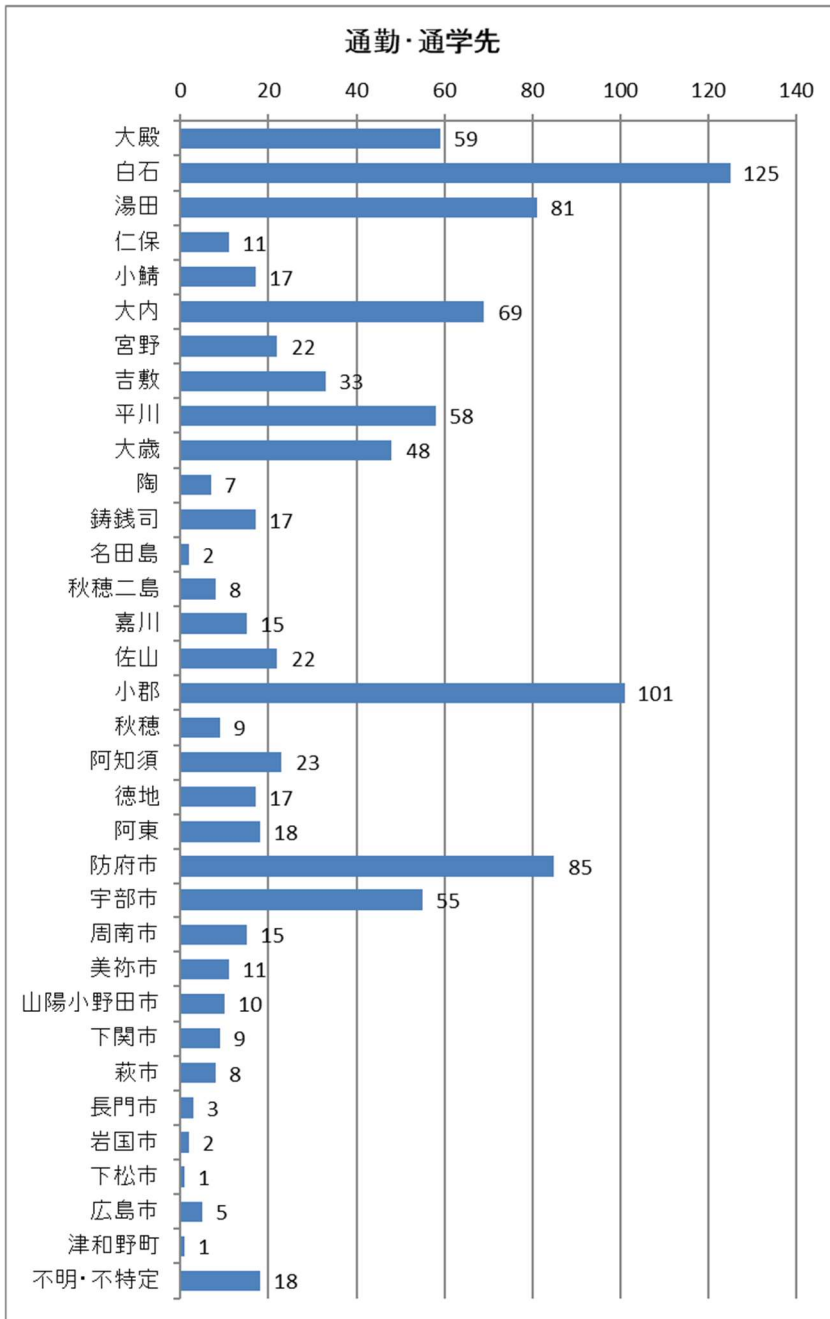
	300m未満	300～500m	500～1,000m	1～2km	2km以上	わからない	無回答
大殿	38.3%	27.2%	19.8%	6.2%	2.5%	3.7%	2.5%
白石	40.7%	30.6%	18.5%	7.4%	0.9%	0.9%	0.9%
湯田	34.8%	25.9%	14.3%	11.6%	0.0%	3.6%	9.8%
仁保	28.6%	22.9%	11.4%	14.3%	11.4%	0.0%	11.4%
小鯖	21.6%	24.3%	10.8%	13.5%	21.6%	2.7%	5.4%
大内	35.1%	26.0%	15.9%	6.7%	8.7%	4.8%	2.9%
宮野	18.5%	25.3%	24.0%	18.5%	7.5%	2.7%	3.4%
吉敷	27.7%	34.6%	22.3%	7.7%	4.6%	2.3%	0.8%
平川	14.3%	25.2%	22.4%	22.4%	10.2%	4.1%	1.4%
大歳	21.1%	27.2%	29.8%	15.8%	0.9%	3.5%	1.8%
陶	11.5%	26.9%	19.2%	11.5%	19.2%	3.8%	7.7%
鑄銭司	16.7%	3.3%	36.7%	30.0%	10.0%	3.3%	0.0%
名田島	28.6%	21.4%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%
秋穂二島	23.8%	19.0%	9.5%	23.8%	19.0%	0.0%	4.8%
嘉川	31.1%	16.4%	18.0%	19.7%	4.9%	4.9%	4.9%
佐山	22.9%	20.0%	34.3%	17.1%	5.7%	0.0%	0.0%
小郡	17.1%	19.9%	35.0%	19.5%	5.7%	0.8%	2.0%
秋穂	46.8%	25.8%	16.1%	3.2%	4.8%	0.0%	3.2%
阿知須	2.3%	21.6%	40.9%	17.0%	11.4%	1.1%	5.7%
徳地	39.0%	27.1%	11.9%	8.5%	11.9%	1.7%	0.0%
阿東	32.8%	23.4%	17.2%	12.5%	10.9%	0.0%	3.1%
不明	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%

また、地域別に見ると、バス停または駅までの距離について、500m 未満と回答した方が半数に満たない地域は、小鯖、宮野、平川、大歳、陶、鑄銭司、秋穂二島、嘉川、佐山、小郡及び阿知須で、500m より遠いと回答した割合が特に高かった地域は鑄銭司(76.7%)、阿知須(69.3%)、小郡(60.2%)でした。

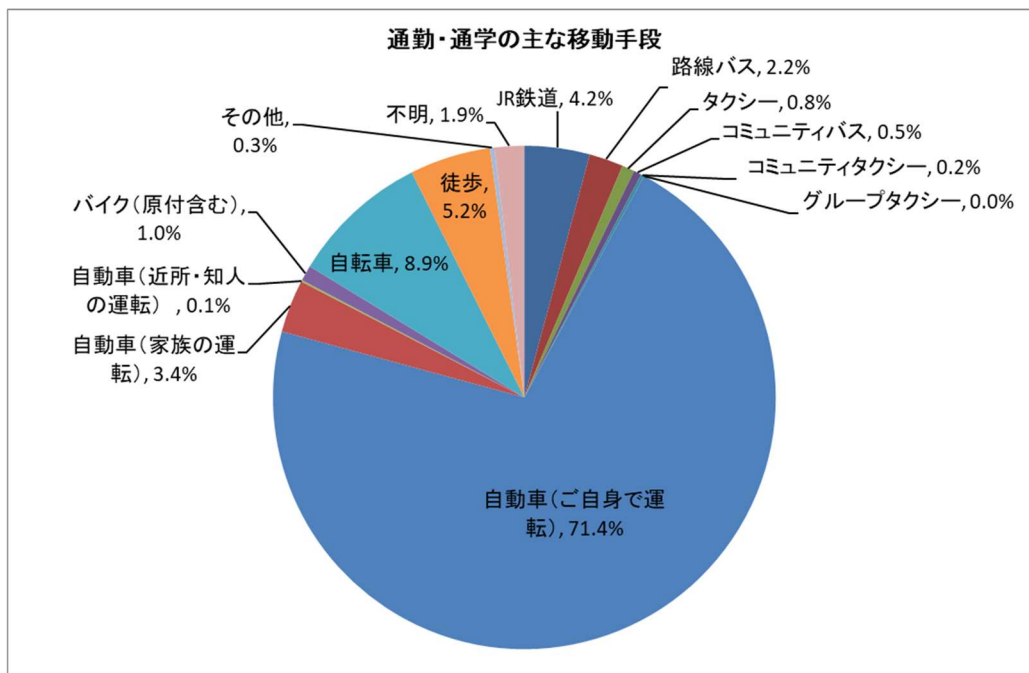


5.通勤・通学のための外出状況について・・・問 3

通勤・通学のための外出状況について、通勤・通学先を地域別に区分すると、以下のとおりとなり、行先について市内においては、白石、小郡、平川の順に多く、また、防府市、宇部市など市外への通勤・通学者も多いといえます。



また、通勤・通学の手段については、自動車(ご自身で運転)が 71.4%、次いで、自転車 8.9%、JR 鉄道 4.2%となっています。



<その他の回答>

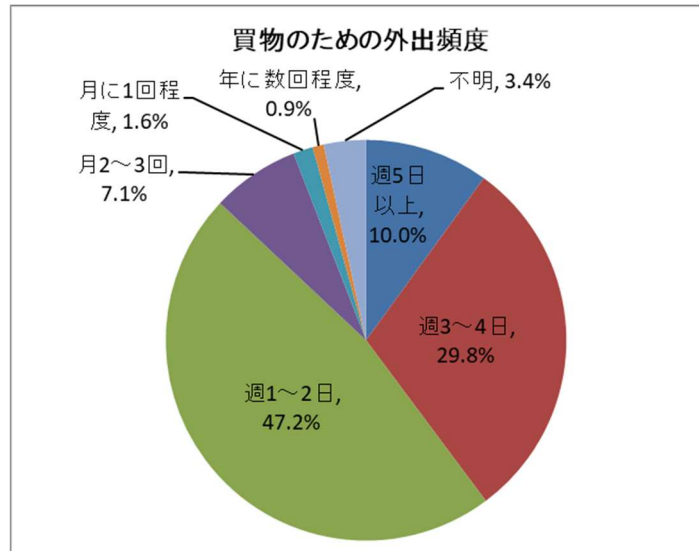
・送迎バス

6.食料品や日用品の買い物のための外出状況について・・・問 4

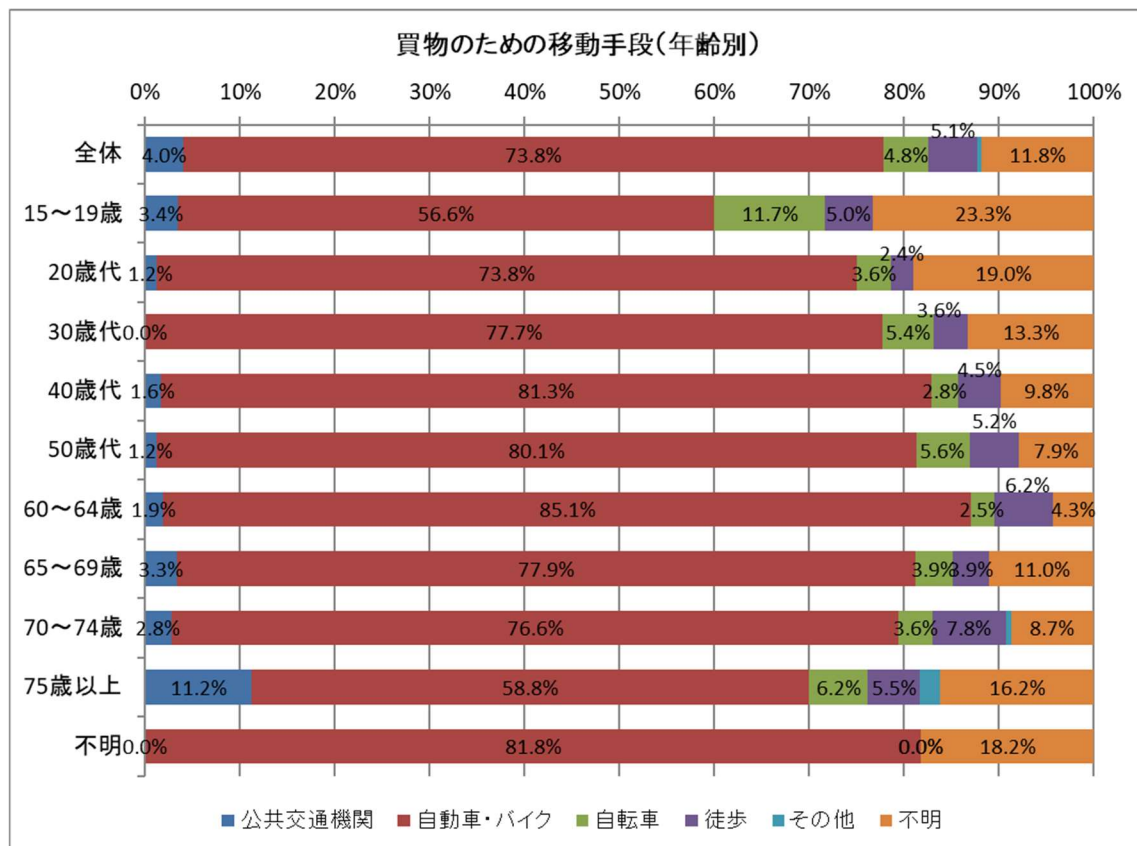
食料品や日用品の買い物のための外出状況について、頻度は、「週 1～2 日」(47.2%)が最も多く、その次に「週 3～4 日」(29.8%)となっています。

【頻度】

	回答数	割合
週5日以上	183	10.0%
週3～4日	545	29.8%
週1～2日	863	47.2%
月2～3回	130	7.1%
月に1回程度	29	1.6%
年に数回程度	17	0.9%
不明	63	3.4%
合計	1,830	100.0%



【主な移動手段】



食料品や日用品の買い物のための外出状況について、移動手段は、全体で自動車・バイク(73.8%)となり、自転車(4.8%)、徒歩(5.1%)とあわせると、8割を超えています。公共交通機関の利用は、4.0%であり、内訳としては、JR鉄道(0.4%)、路線バス(1.7%)、タクシー(1.3%)、コミュニティバス(0.4%)、コミュニティタクシー(0.1%)、グループタクシー(0.1%)となっています。

	JR 鉄道	路線 バス	タク シー	コミュ ニティ バス	コミュ ニティ タクシ ー	グル ープタク シー	自動 車(こ 自身で 運転)	自動 車(家 族の運 転)	自動 車(近 所・知 人の運 転)	バイ ク(原 付含む)	自転 車	徒 歩	そ の 他	不 明
全体	0.4%	1.7%	1.3%	0.4%	0.1%	0.1%	63.2%	9.0%	0.7%	0.9%	4.8%	5.1%	0.5%	11.8%
15～19歳	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%	48.3%	1.7%	0.0%	11.7%	5.0%	0.0%	23.3%
20歳代	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	2.4%	0.0%	19.0%
30歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.3%	4.2%	0.0%	1.2%	5.4%	3.6%	0.0%	13.3%
40歳代	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	78.5%	2.4%	0.4%	0.0%	2.8%	4.5%	0.0%	9.8%
50歳代	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	76.7%	1.5%	0.0%	1.9%	5.6%	5.2%	0.0%	7.9%
60～64歳	0.0%	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	81.4%	3.1%	0.0%	0.6%	2.5%	6.2%	0.0%	4.3%
65～69歳	1.1%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	68.5%	7.7%	0.0%	1.7%	3.9%	3.9%	0.0%	11.0%
70～74歳	0.0%	1.4%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	65.1%	9.6%	1.4%	0.5%	3.6%	7.8%	0.5%	8.7%
75歳以上	0.0%	5.0%	4.4%	1.4%	0.2%	0.2%	40.3%	16.0%	1.6%	0.9%	6.2%	5.5%	2.1%	16.2%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%

年齢別では、75歳以上となると、公共交通機関の利用される方の割合は、11.2%と他の年齢層に比べて、高くなっていますが、一方で、自動車・バイク(58.8%)、自転車(6.2%)、徒歩(5.5%)とあわせると、70.5%となります。

また、75歳以上の方の利用する公共交通機関の内訳としては、路線バス(5.0%)、タクシー(4.4%)、コミュニティバス(1.4%)、コミュニティタクシー(0.2%)、グループタクシー(0.2%)となっています。

<その他の回答>

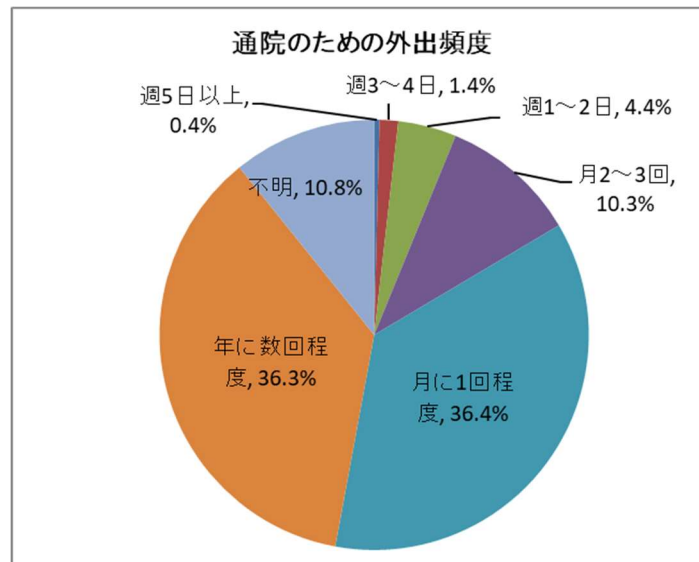
- ・車椅子
- ・電動車椅子
- ・送迎車
- ・お買い物サポートカー

7.通院のための外出状況について…問 5

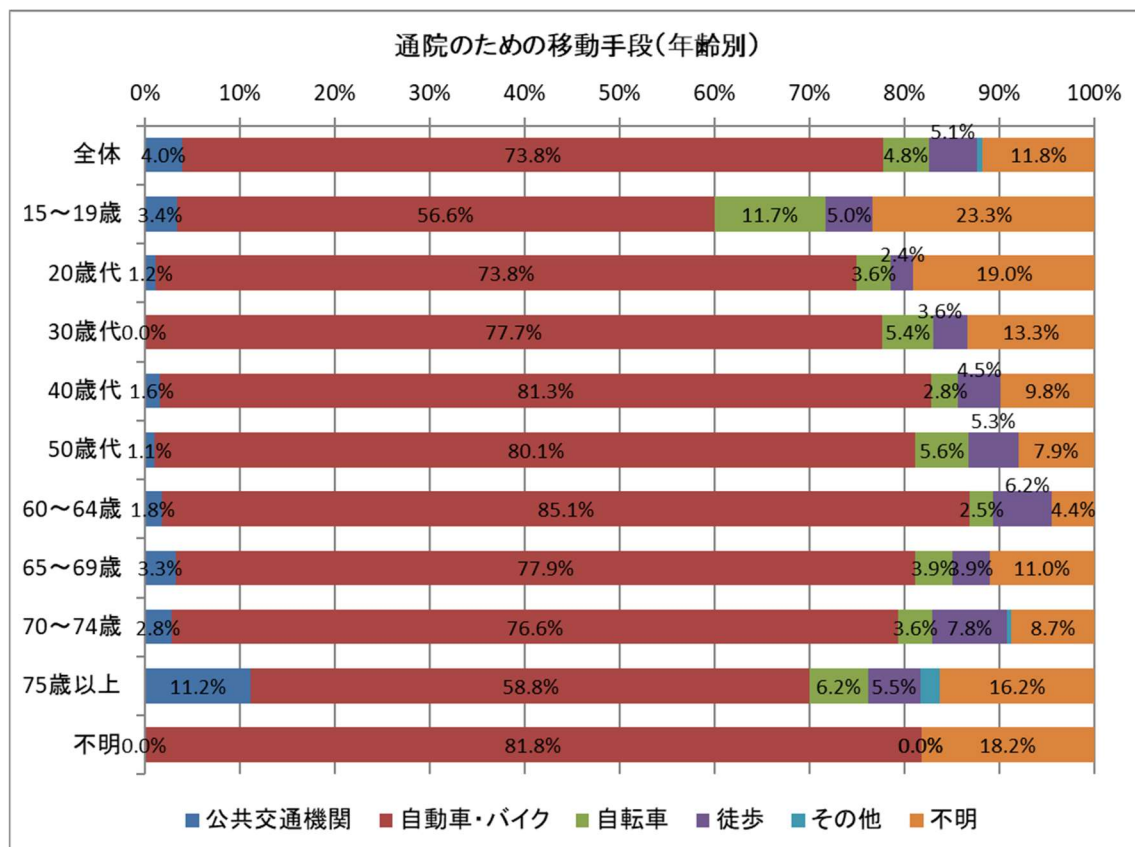
通院のための外出状況について、頻度は、「月に 1 回程度」(36.4%)が最も多く、その次に「年に数回程度」(36.3%)となっています。

【頻度】

	回答数	割合
週5日以上	7	0.4%
週3～4日	26	1.4%
週1～2日	80	4.4%
月2～3回	189	10.3%
月に1回程度	666	36.4%
年に数回程度	665	36.3%
不明	197	10.8%
合計	1,830	100.0%



【主な移動手段】



通院のための外出状況について、移動手段は、全体で自動車・バイク(73.8%)となり、自転車(4.8%)、徒歩(5.1%)とあわせると、8割を超えています。公共交通機関の利用は、4.0%であり、内訳としては、JR 鉄道(0.4%)、路線バス(1.7%)、タクシー(1.3%)、コミュニティバス(0.4%)、コミュニティタクシー(0.1%)となっています。

	J R 鉄道	路線バス	タクシー	コミュニティバス	コミュニティタクシー	グループタクシー	自動車(ご自身で運転)	自動車(家族の運転)	自動車(近所・知人の運転)	バイク(原付含む)	自転車	徒歩	その他	不明
全体	0.4%	1.7%	1.3%	0.4%	0.1%	0.1%	63.2%	9.0%	0.7%	0.9%	4.8%	5.1%	0.5%	11.8%
15～19歳	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%	48.3%	1.7%	0.0%	11.7%	5.0%	0.0%	23.3%
20歳代	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	2.4%	0.0%	19.0%
30歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.3%	4.2%	0.0%	1.2%	5.4%	3.6%	0.0%	13.3%
40歳代	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	78.5%	2.4%	0.4%	0.0%	2.8%	4.5%	0.0%	9.8%
50歳代	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	76.7%	1.5%	0.0%	1.9%	5.6%	5.3%	0.0%	7.9%
60～64歳	0.0%	0.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	81.4%	3.1%	0.0%	0.6%	2.5%	6.2%	0.0%	4.4%
65～69歳	1.1%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	68.5%	7.7%	0.0%	1.7%	3.9%	3.9%	0.0%	11.0%
70～74歳	0.0%	1.4%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	65.1%	9.6%	1.4%	0.5%	3.6%	7.8%	0.5%	8.7%
75歳以上	0.0%	5.0%	4.4%	1.4%	0.2%	0.2%	40.3%	16.0%	1.6%	0.9%	6.2%	5.5%	2.1%	16.2%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%

年齢別では、75歳以上となると、公共交通機関を利用される方の割合は、11.2%と他の年齢層に比べて、高くなっていますが、一方で、自動車・バイク(58.8%)、自転車(6.2%)、徒歩(5.5%)とあわせると、70.5%となります。

また、75歳以上の方の利用する公共交通機関の内訳としては、路線バス(5.0%)、タクシー(4.4%)、コミュニティバス(1.4%)、コミュニティタクシー(0.2%)、グループタクシー(0.2%)となっています。

<その他の回答>

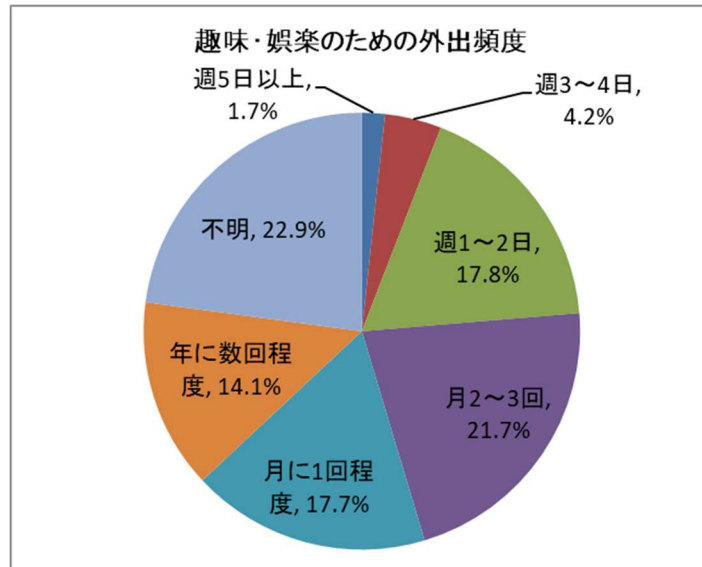
- ・車椅子
- ・介護タクシー
- ・送迎

8.文化活動・娯楽のための外出状況について・・・問 6

文化活動・娯楽のための外出状況について、頻度は、「月 2～3 回」(21.7%)が最も多く、その次に「週1～2 日」(17.8%)、「月に 1 回程度」(17.7%)となっています。

【頻度】

	回答数	割合
週5日以上	31	1.7%
週3～4日	76	4.2%
週1～2日	326	17.8%
月2～3回	397	21.7%
月に1回程度	323	17.7%
年に数回程度	258	14.1%
不明	419	22.9%
合計	1,830	100.0%

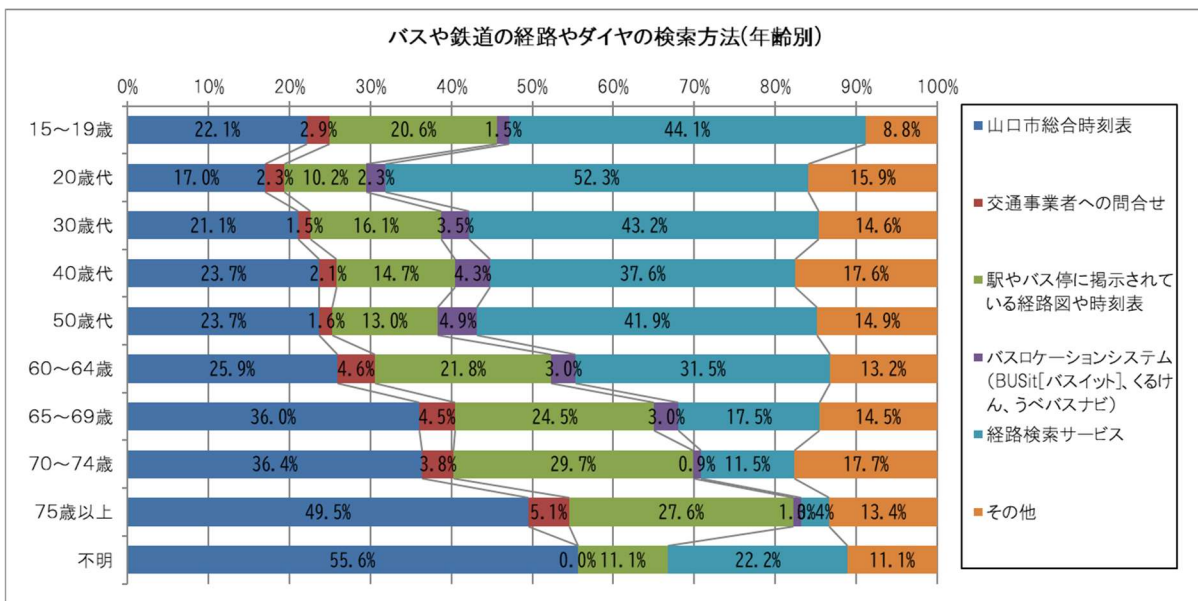
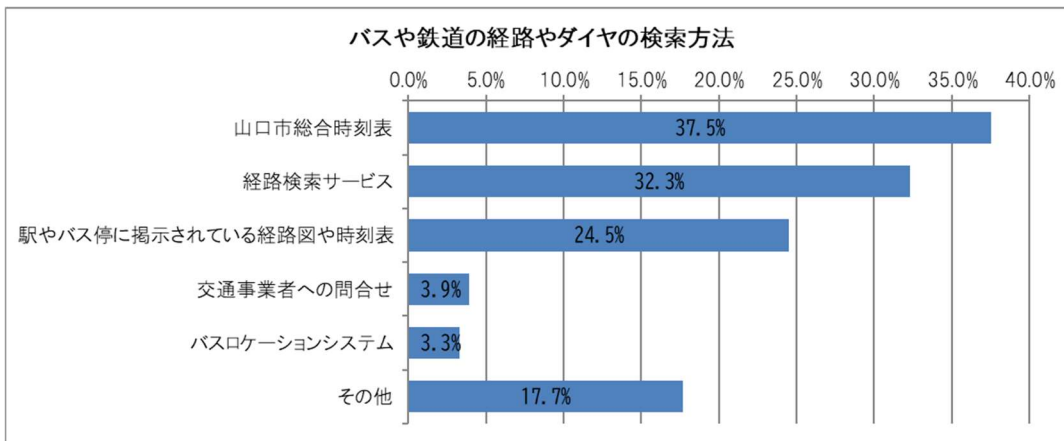


9.バスや鉄道の経路やダイヤの検索方法…問7

全体としては、「山口市総合時刻表」の割合が高く、特に75歳以上の方では約5割を占めています。20歳代では、「経路検索サービス」の割合が5割を占めています。

	回答数	割合
山口市総合時刻表	618	37.5%
経路検索サービス	533	32.3%
駅やバス停に掲示されている経路図や時刻表	404	24.5%
交通事業者への問合せ	65	3.9%
バスロケーションシステム	55	3.3%
その他	292	17.7%

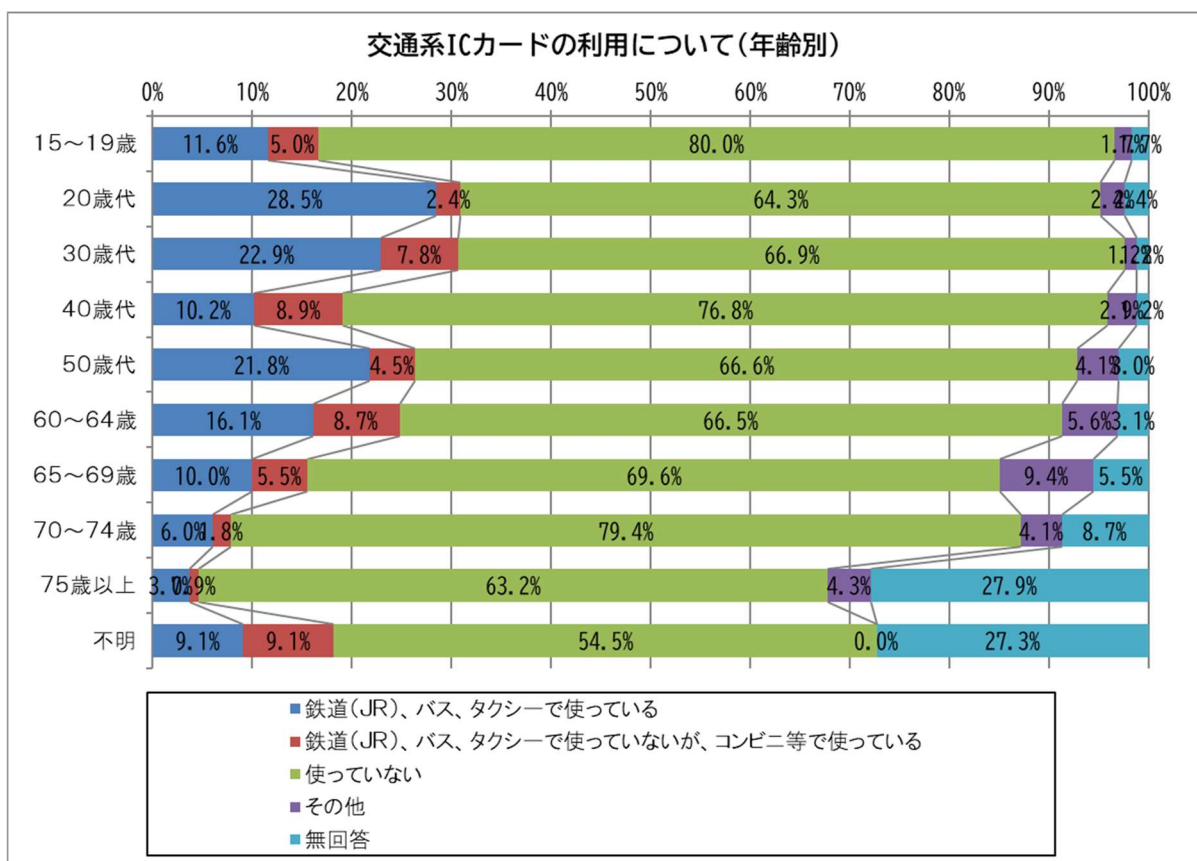
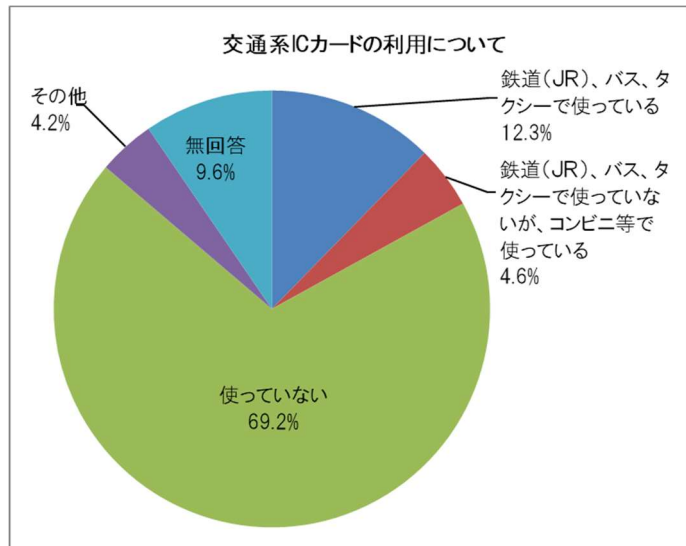
※割合については、複数回答のため、回答者数(1,649人)を分母としています。



10.交通系 IC カードの利用について…問 8

交通系ICカードを「使っていない」方が約7割を占めています。年齢別では、20歳代の3割の方が公共交通機関で利用されています。

	回答数	構成比
鉄道(JR)、バス、タクシーで使っている	226	12.3%
鉄道(JR)、バス、タクシーで使っていないが、コンビニ等で使っている	85	4.6%
使っていない	1,267	69.2%
その他	77	4.2%
無回答	175	9.6%
合計	1,830	100%



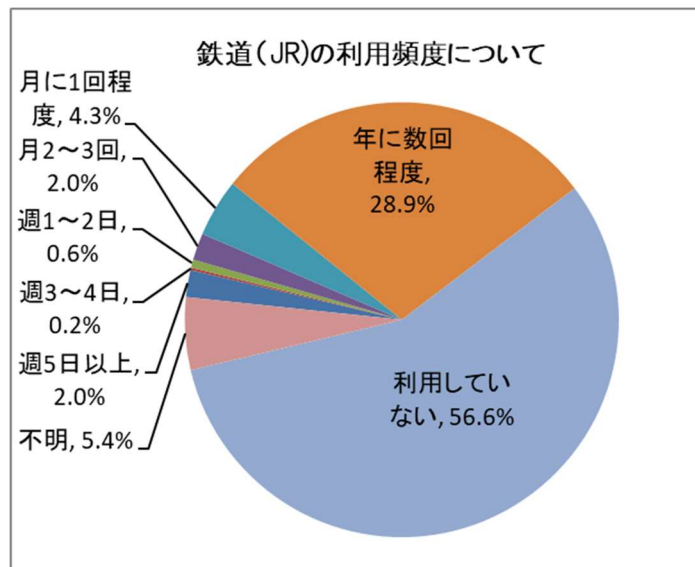
11.鉄道(JR)の利用頻度について・・・問 9

鉄道(JR)の利用頻度については、利用される方の頻度で最も多かった利用頻度は、「年に数回程度」(28.9)で、次いで、「月1回程度」(4.3%)でした。

一方で、「利用していない」方は、半数を超える割合となっています(56.6%)。

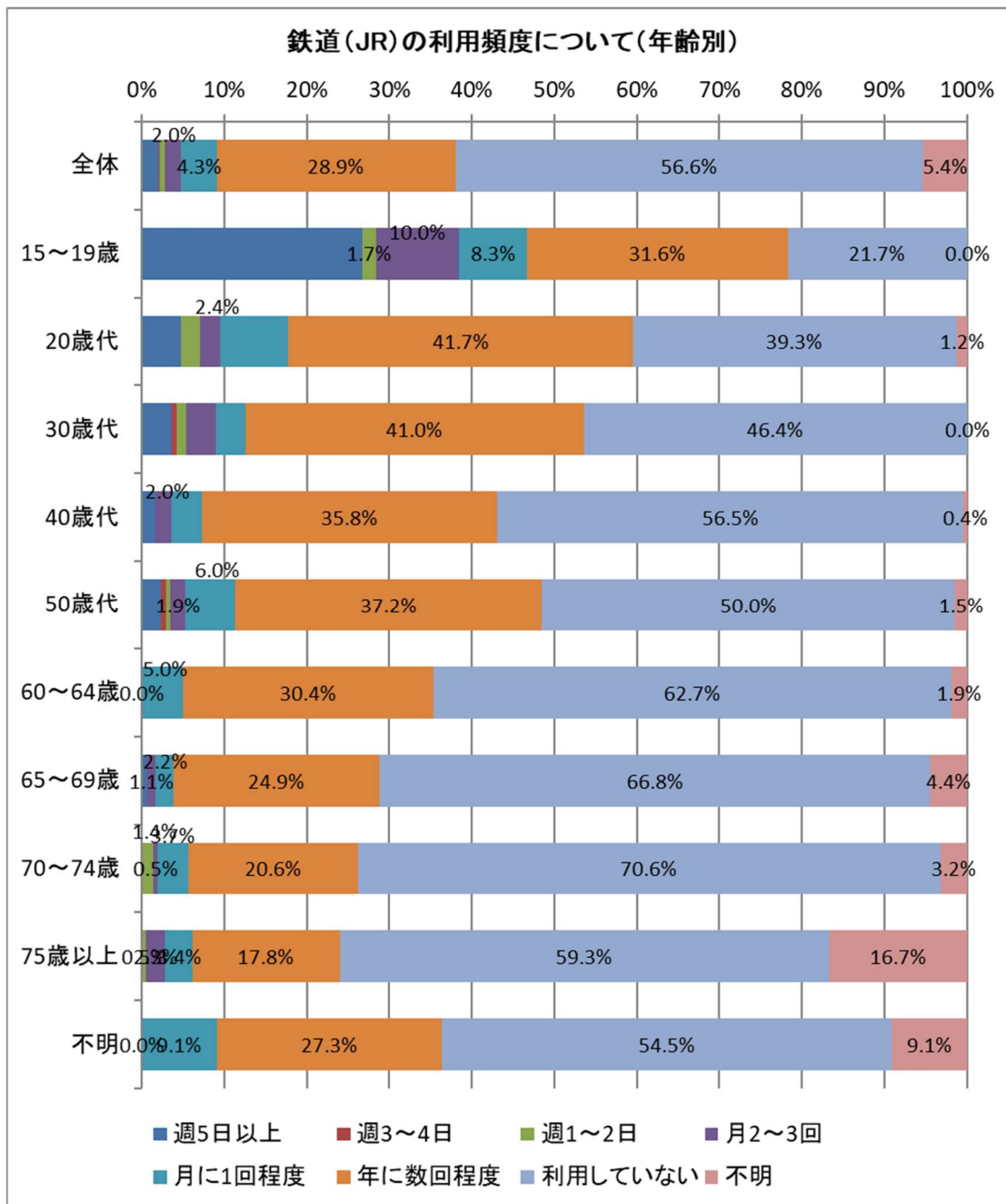
【頻度】

	回答数	割合
週5日以上	37	2.0%
週3～4日	3	0.2%
週1～2日	11	0.6%
月2～3回	37	2.0%
月に1回程度	79	4.3%
年に数回程度	529	28.9%
利用していない	1,036	56.6%
不明	98	5.4%
合計	1,830	100.0%



【年齢別】

	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3回	月に1回程度	年に数回程度	利用していない	不明	合計
全体	2.0%	0.2%	0.6%	2.0%	4.3%	28.9%	56.6%	5.4%	100%
15～19歳	26.7%	0.0%	1.7%	10.0%	8.3%	31.6%	21.7%	0.0%	100%
20歳代	4.7%	0.0%	2.4%	2.4%	8.3%	41.7%	39.3%	1.2%	100%
30歳代	3.6%	0.6%	1.2%	3.6%	3.6%	41.0%	46.4%	0.0%	100%
40歳代	1.6%	0.0%	0.0%	2.0%	3.7%	35.8%	56.5%	0.4%	100%
50歳代	2.3%	0.7%	0.4%	1.9%	6.0%	37.2%	50.0%	1.5%	100%
60～64歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	30.4%	62.7%	1.9%	100%
65～69歳	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%	2.2%	24.9%	66.8%	4.4%	100%
70～74歳	0.0%	0.0%	1.4%	0.5%	3.7%	20.6%	70.6%	3.2%	100%
75歳以上	0.0%	0.0%	0.5%	2.3%	3.4%	17.8%	59.3%	16.7%	100%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	54.5%	9.1%	100%



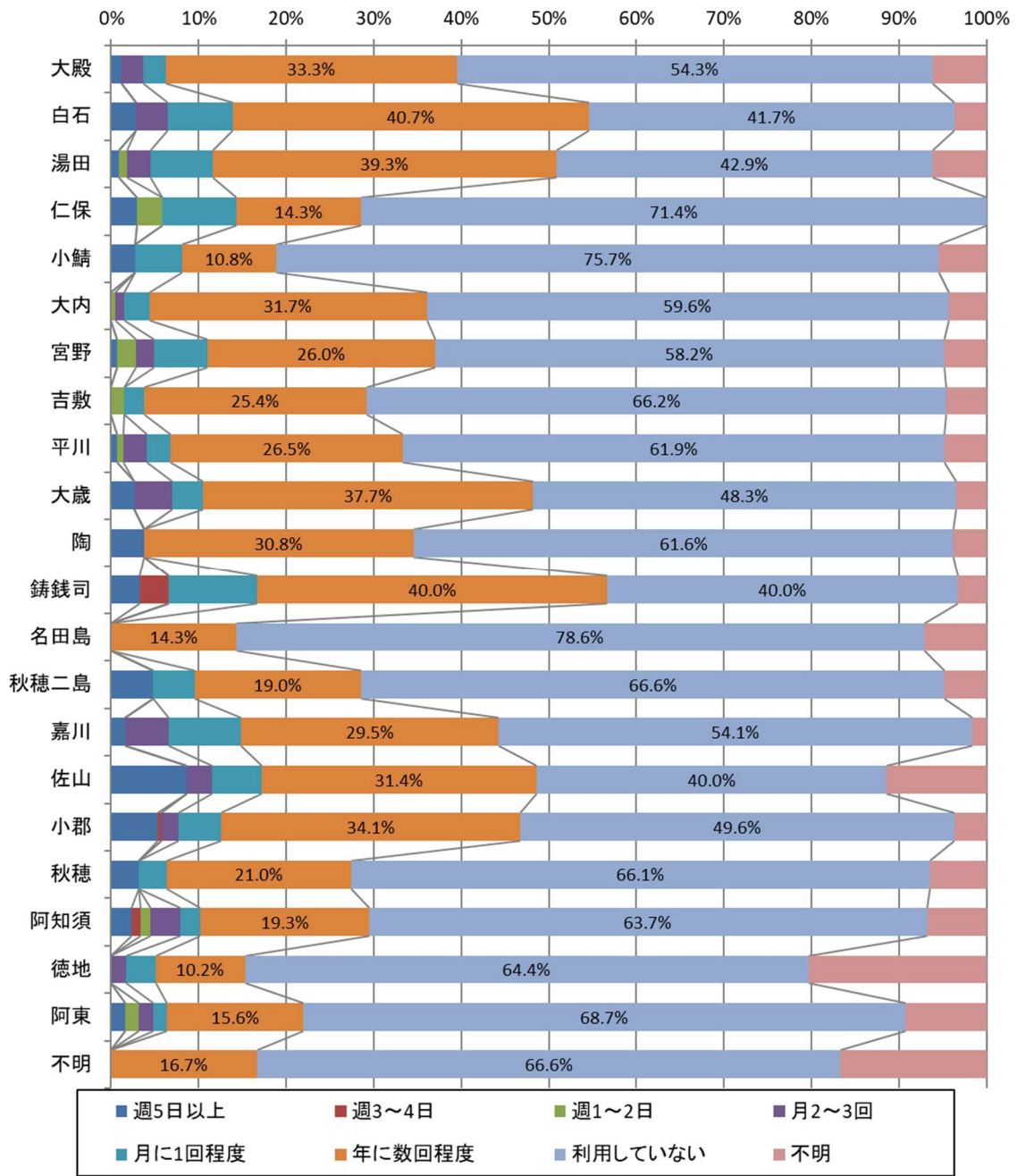
年齢別に見ると、高年齢層ほど、鉄道の利用頻度は減っており、「利用していない」割合も増加傾向にあります。

鉄道(JR)の利用頻度について、地域別に見ると、月に1回以上利用される方の割合が多いのは、佐山(17.2%)、鑄銭司(16.7%)、嘉川(14.8%)の順となり、一方で利用していない方の割合が多いのは名田島(78.6%)、小鯖(75.7%)、仁保(71.4%)の順となっています。

【地域別】

	週5日以上	週3~4日	週1~2日	月2~3回	月に1回程度	年に数回程度	利用していない	不明
大殿	1.2%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	33.3%	54.3%	6.2%
白石	2.8%	0.0%	0.0%	3.7%	7.4%	40.7%	41.7%	3.7%
湯田	0.9%	0.0%	0.9%	2.7%	7.1%	39.3%	42.9%	6.2%
仁保	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	8.5%	14.3%	71.4%	0.0%
小鯖	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	10.8%	75.7%	5.4%
大内	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.9%	31.7%	59.6%	4.3%
宮野	0.7%	0.0%	2.1%	2.1%	6.1%	26.0%	58.2%	4.8%
吉敷	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	2.3%	25.4%	66.2%	4.6%
平川	0.7%	0.0%	0.7%	2.7%	2.7%	26.5%	61.9%	4.8%
大歳	2.6%	0.0%	0.0%	4.4%	3.5%	37.7%	48.3%	3.5%
陶	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	61.6%	3.8%
鑄銭司	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	10.1%	40.0%	40.0%	3.3%
名田島	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	78.6%	7.1%
秋穂二島	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	19.0%	66.6%	4.8%
嘉川	1.6%	0.0%	0.0%	5.0%	8.2%	29.5%	54.1%	1.6%
佐山	8.6%	0.0%	0.0%	2.9%	5.7%	31.4%	40.0%	11.4%
小郡	5.3%	0.4%	0.0%	2.0%	4.9%	34.1%	49.6%	3.7%
秋穂	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	21.0%	66.1%	6.5%
阿知須	2.3%	1.1%	1.1%	3.4%	2.3%	19.3%	63.7%	6.8%
徳地	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%	10.2%	64.4%	20.3%
阿東	1.6%	0.0%	1.6%	1.6%	1.6%	15.6%	68.7%	9.3%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.6%	16.7%

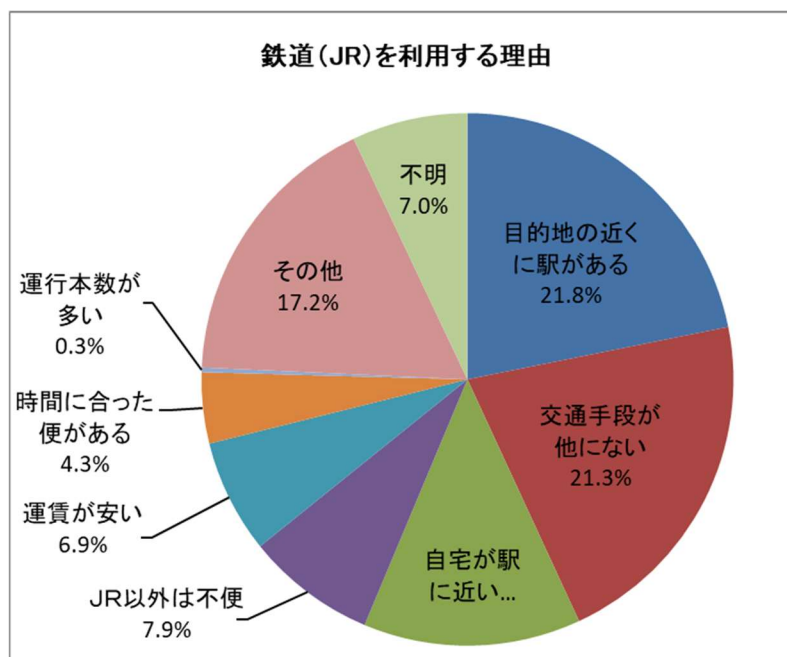
鉄道(JR)の利用頻度(地域別)



12.鉄道(JR)を利用する理由・・・問 10

鉄道(JR)を利用する理由については、「目的地の近くに駅がある」(21.8%)が最も多く、次いで、「交通手段が他にない」(21.3%)となっています。

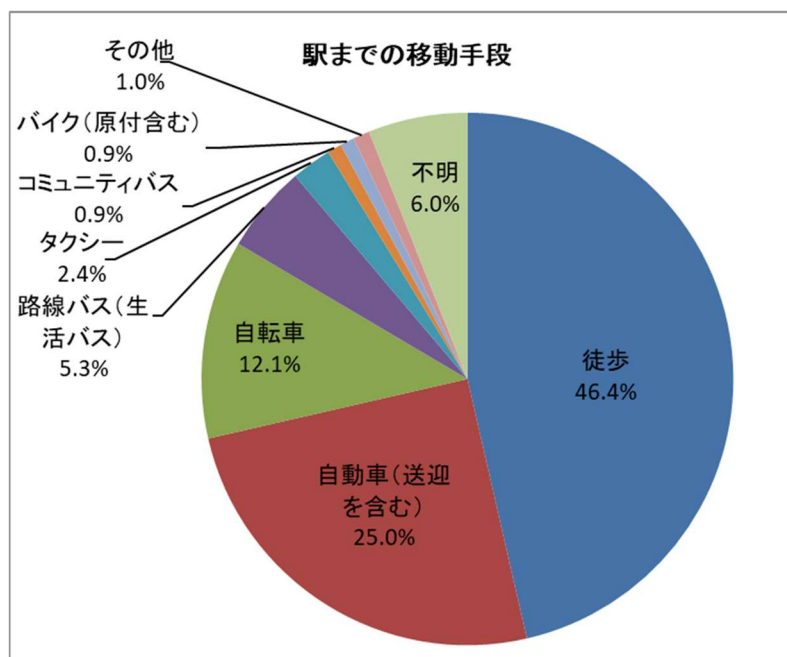
	回答数	割合
目的地の近くに駅がある	152	21.8%
交通手段が他にない	148	21.3%
自宅が駅に近い	92	13.2%
JR以外は不便	55	7.9%
運賃が安い	48	6.9%
時間に合った便がある	30	4.3%
運行本数が多い	2	0.3%
その他	120	17.2%
不明	49	7.0%
合計	696	100%



13.駅までの移動手段…問 11

駅までの移動手段については、「徒歩」(46.4%)が最も多く、次いで、「自動車(送迎を含む)」(25.0%)となっています。

	回答数	割合
徒歩	323	46.4%
自動車(送迎を含む)	174	25.0%
自転車	84	12.1%
路線バス(生活バス)	37	5.3%
タクシー	17	2.4%
コミュニティバス	6	0.9%
バイク(原付含む)	6	0.9%
その他	7	1.0%
不明	42	6.0%
合計	696	100%



14.鉄道(JR)を利用するにあたって不満に感じること…問 12

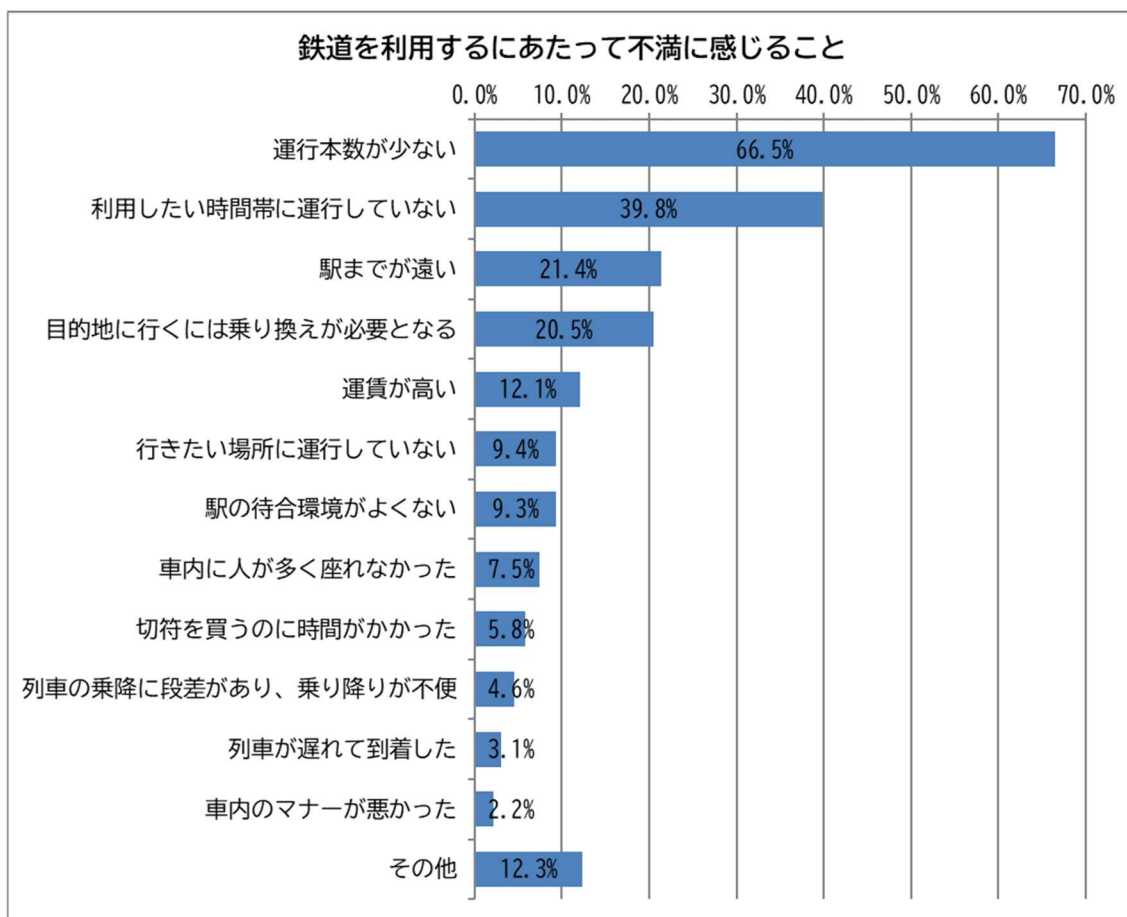
鉄道(JR)を利用されている方に、不満に感じることを回答していただいたところ、不満を感じることの多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
運行本数が少ない	445	66.5%
利用したい時間帯に運行していない	266	39.8%
駅までが遠い	143	21.4%
目的地に行くには乗り換えが必要となる	137	20.5%
運賃が高い	81	12.1%
行きたい場所に運行していない	63	9.4%
駅の待合環境がよくない	62	9.3%
車内に人が多く座れなかった	50	7.5%
切符を買うのに時間がかかった	39	5.8%
列車の乗降に段差があり、乗り降りが不便	31	4.6%
列車が遅れて到着した	21	3.1%
車内のマナーが悪かった	15	2.2%
その他	82	12.3%

※割合については、複数回答のため、回答者数(669人)を分母としています。

<その他の主なご意見>

- ・妊娠中に通勤のため利用したが、満員でほとんど座れなかった。また、譲ってもらえることもなかった。
- ・乗り継ぎの待ち時間が長過ぎる。
- ・運休が多い。
- ・交通系 IC カードが使えない。
- ・券売機での購入が難しい、IC カードが使えない駅がある。



15. 鉄道(JR)を利用しない理由・・・問 13

鉄道を利用されていない方に、利用されていない理由を回答していただいたところ、多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
自動車移動できる	827	82.5%
駅が遠い	187	18.6%
バスの方が利用しやすい	44	4.4%
自転車移動できる	42	4.2%
送迎がある	36	3.6%
その他	93	9.3%

※割合については、複数回答のため、回答者数(1,003人)を分母としています。

<主なその他のご意見>

・子どもが小さく手荷物が多いため。

16.鉄道(JR)を利用されるとしたら、不安なことや躊躇することの理由・・・問 14

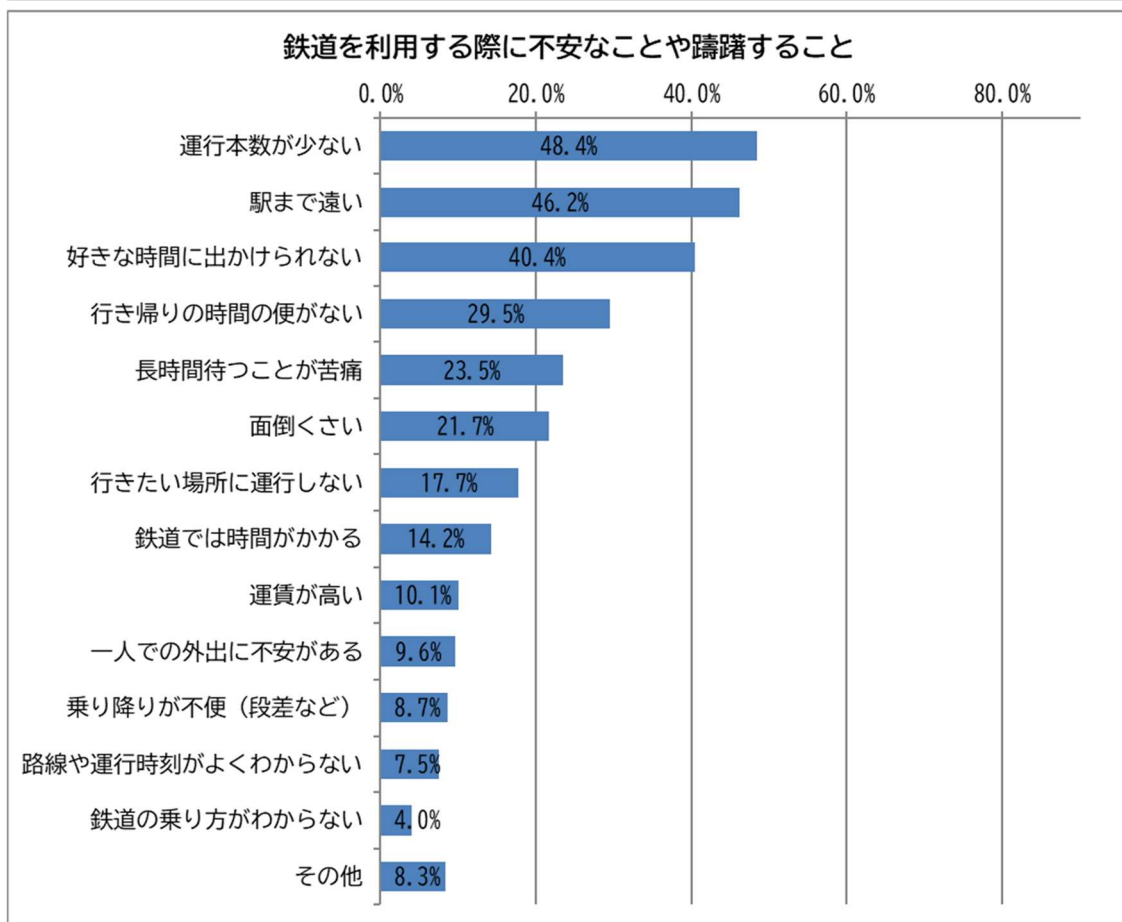
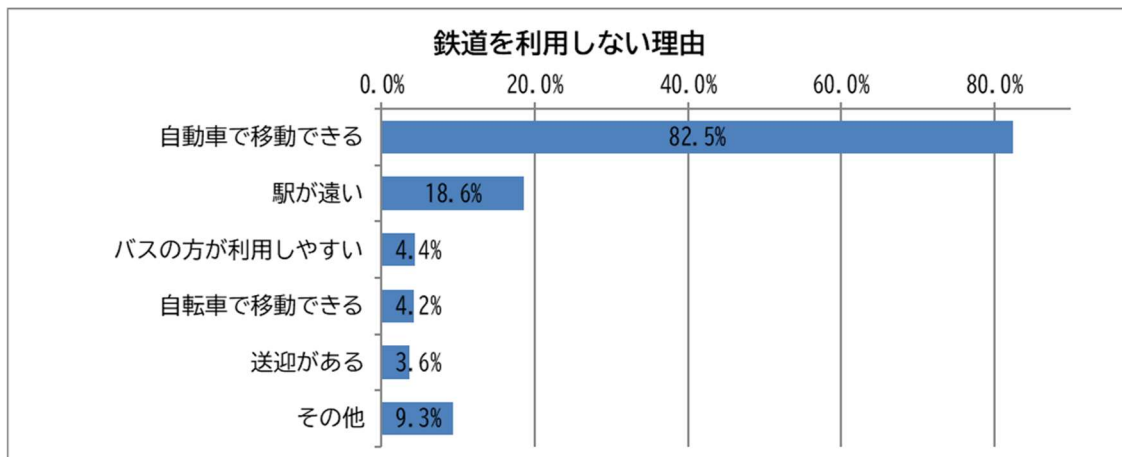
鉄道を利用されていない方に、鉄道を利用されるとしたら、不安なことや躊躇することの理由を回答していただいたところ、多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
運行本数が少ない	470	48.4%
駅まで遠い	449	46.2%
好きな時間に出かけられない	392	40.4%
行き帰りの時間の便がない	286	29.5%
長時間待つことが苦痛	228	23.5%
面倒くさい	211	21.7%
行きたい場所に運行しない	172	17.7%
鉄道では時間がかかる	138	14.2%
運賃が高い	98	10.1%
一人での外出に不安がある	93	9.6%
乗り降りが不便(段差など)	84	8.7%
路線や運行時刻がよくわからない	73	7.5%
鉄道の乗り方がわからない	39	4.0%
その他	81	8.3%

※割合については、複数回答のため、回答者数(1,253 人)を分母としています。

<主なその他のご意見>

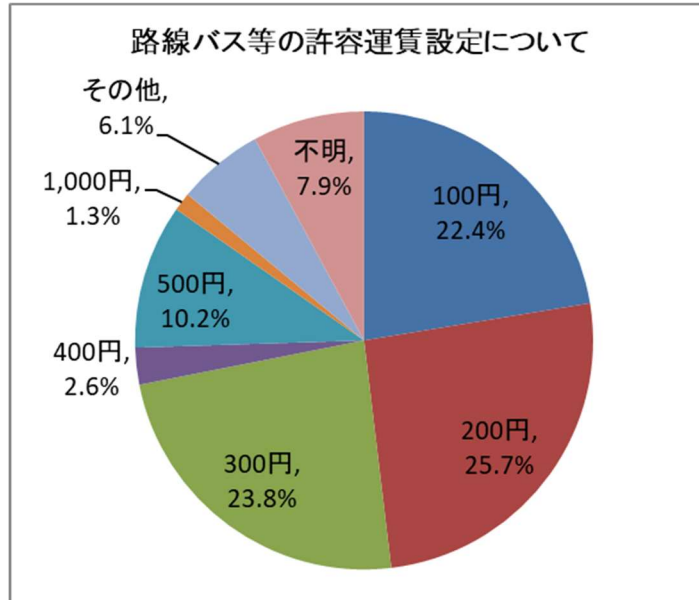
- ・今はコロナ禍に慣れてしまって動かなくなっている。
- ・ドアが開く場所と開かない場所があるので下車する時に困る、駅員さんのいない駅があるので聞きたいことが聞けない。
- ・車両と駅とのすき間が大きいのが心配になる事がある(子どもを連れている時)。
- ・雨天運行の中止がよくある為。



17.路線バス等の運賃の許容範囲・・・問 15

路線バス等の片道運賃の許容範囲については、「200 円」(25.7%)が最も多く、次いで「300 円」(23.8%)、「100 円」(22.4%)となっています。

	回答数	割合
100円	410	22.4%
200円	470	25.7%
300円	436	23.8%
400円	47	2.6%
500円	186	10.2%
1,000円	24	1.3%
その他	112	6.1%
不明	145	7.9%
合計	1,830	100.0%



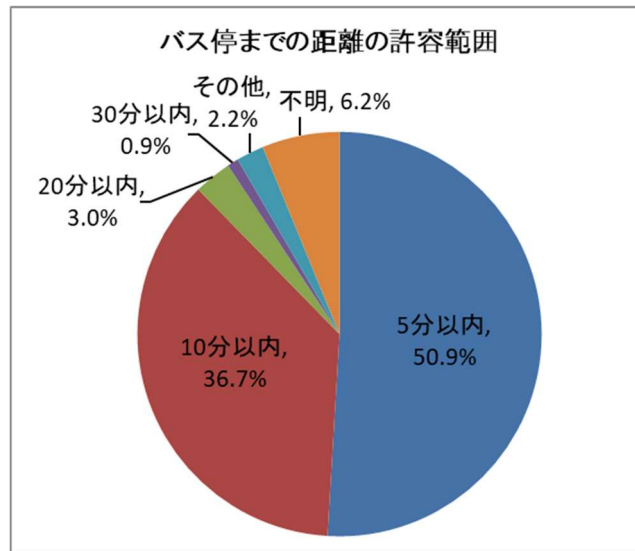
<その他の主なご意見>

- ・利用しないので、わからない。
- ・利用しようと思わない。
- ・他の交通機関より運賃が安い。
- ・もし本当に必要なら運賃は関係ない。
- ・運賃で決めようと思っていない。
- ・無料

18.路線バス等のバス停までの距離の許容範囲・・・問 16

路線バス等のバス停までの徒歩での所要時間の許容範囲については、「5 分以内」(50.9%)が最も多く、次いで「10 分以内」(36.7%)となっています。

	回答数	割合
5分以内	932	50.9%
10分以内	672	36.7%
20分以内	54	3.0%
30分以内	17	0.9%
その他	41	2.2%
不明	114	6.2%
合計	1,830	100.0%



<その他の主なご意見>

- ・利用しない
- ・歩行困難
- ・15 分

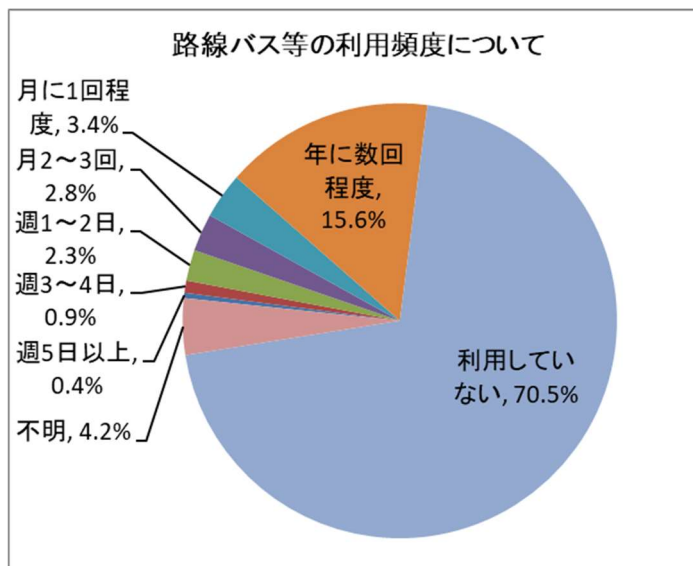
19.路線バス等の利用頻度について・・・問 17

路線バス等の利用頻度については、利用される方で最も多かった利用頻度は、「年に数回程度」(15.6%)で、次いで、「月1回程度」(3.4%)でした。

一方で、全く「利用していない」方の割合は、約7割となっています(70.5%)。

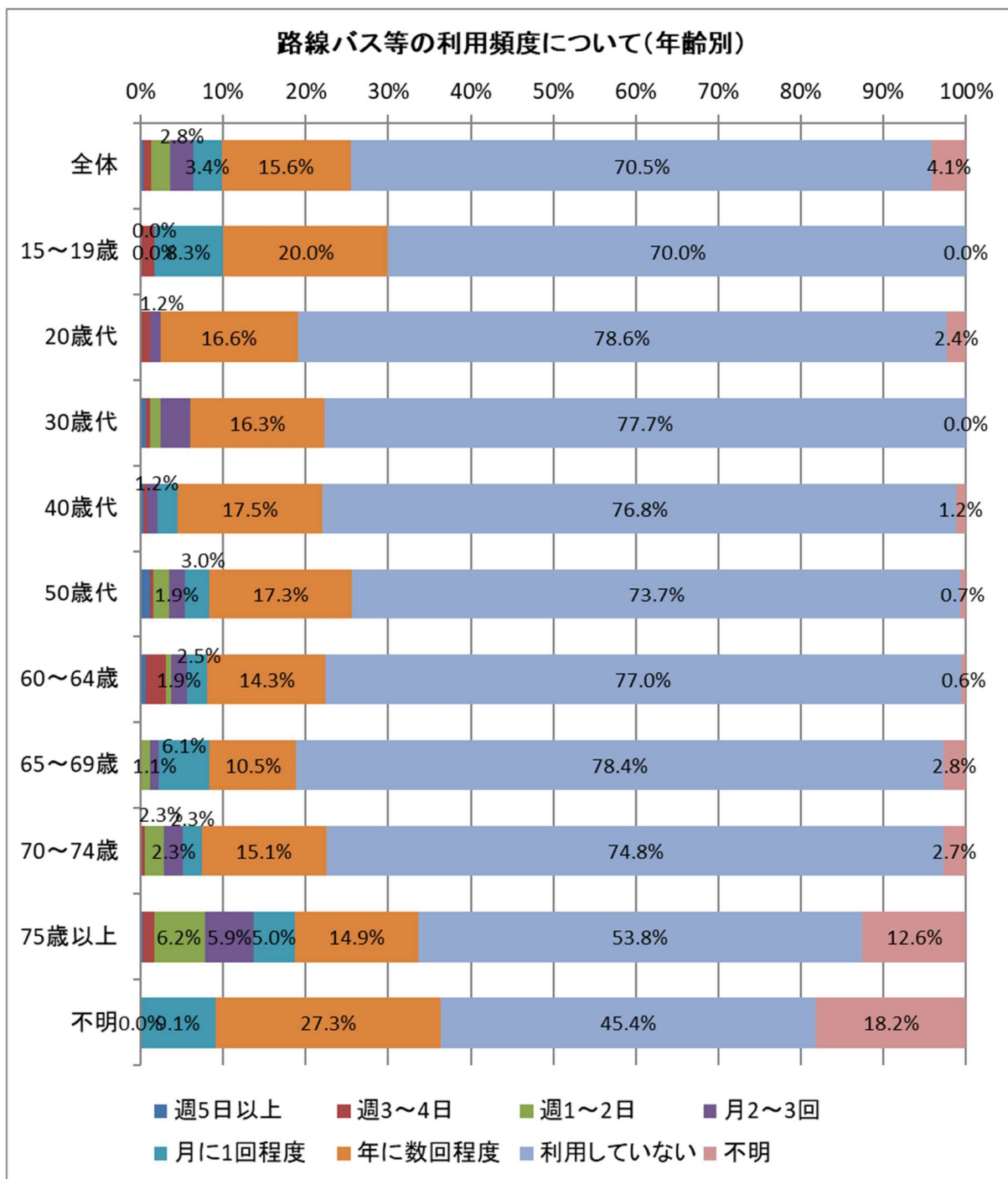
【頻度】

	回答数	割合
週5日以上	7	0.4%
週3～4日	16	0.9%
週1～2日	42	2.3%
月2～3回	51	2.8%
月に1回程度	62	3.4%
年に数回程度	285	15.6%
利用していない	1,291	70.5%
不明	76	4.2%
合計	1,830	100.0%



【年齢別】

	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3回	月に1回程度	年に数回程度	利用していない	不明
全体	0.4%	0.9%	2.3%	2.8%	3.4%	15.6%	70.5%	4.1%
15～19歳	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	8.3%	20.0%	70.0%	0.0%
20歳代	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	16.6%	78.6%	2.4%
30歳代	0.6%	0.6%	1.2%	3.6%	0.0%	16.3%	77.7%	0.0%
40歳代	0.4%	0.4%	0.0%	1.2%	2.5%	17.5%	76.8%	1.2%
50歳代	1.1%	0.4%	1.9%	1.9%	3.0%	17.3%	73.7%	0.7%
60～64歳	0.6%	2.5%	0.6%	1.9%	2.5%	14.3%	77.0%	0.6%
65～69歳	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	6.1%	10.5%	78.4%	2.8%
70～74歳	0.0%	0.5%	2.3%	2.3%	2.3%	15.1%	74.8%	2.7%
75歳以上	0.2%	1.4%	6.2%	5.9%	5.0%	14.9%	53.8%	12.6%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	45.4%	18.2%



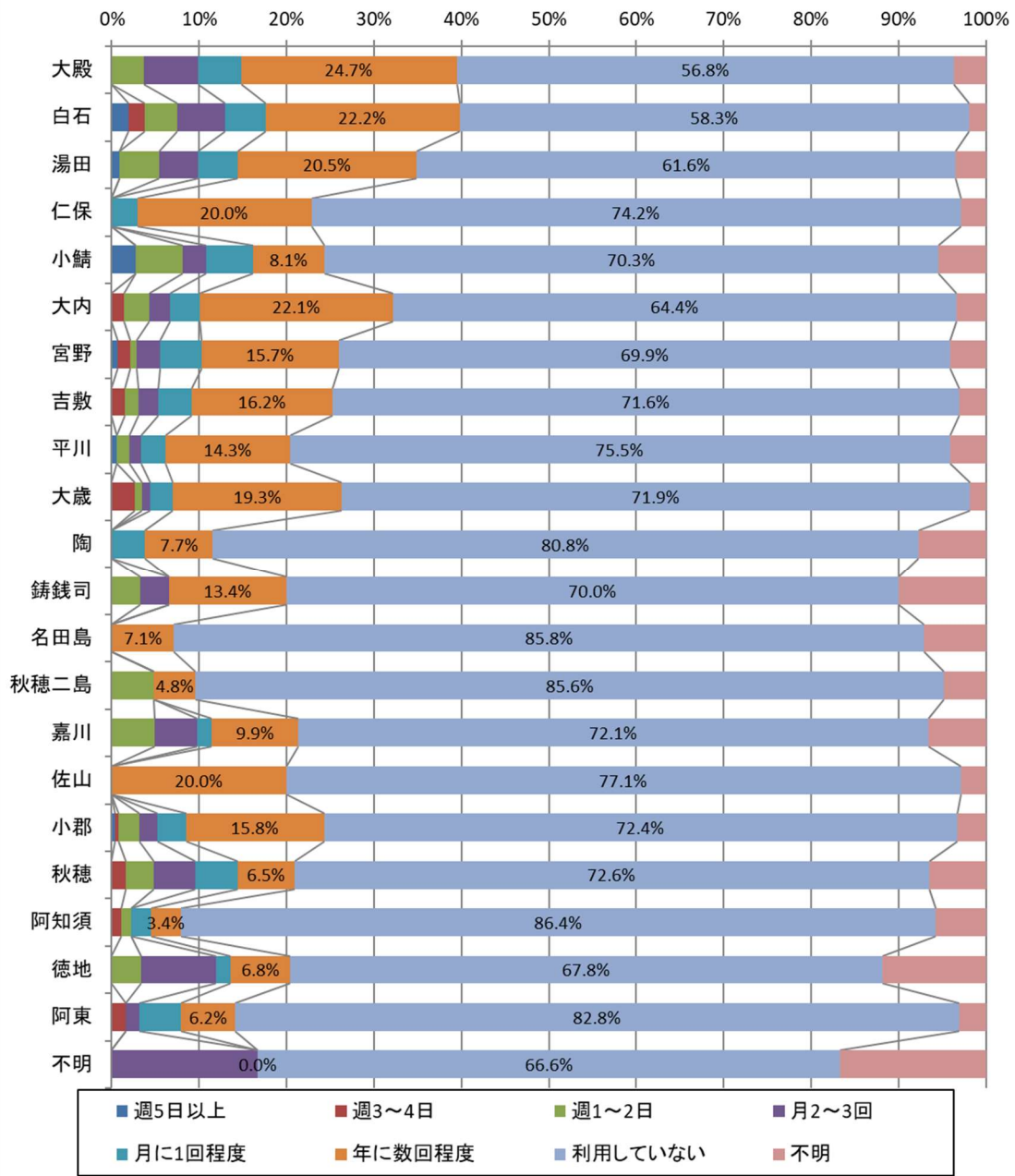
年齢別に見ると、高年齢層ほど、路線バスの利用頻度は増えるとともに、「利用していない」割合は減少傾向にあります。それでも75歳以上の約半数(53.8%)の方が、路線バス等を全く利用されていません。

路線バス等の利用頻度について、地域別に見ると、月に1回以上利用される方の割合が多いのは、白石(17.6%)、小鯖(16.2%)、大殿(14.8%)の順となり、一方で利用していない方の割合が多いのは阿知須(86.4%)、名田島(85.8%)、秋穂二島(85.6%)の順となっています。

【地域別】

	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3回	月に1回程度	年に数回程度	利用していない	不明
大殿	0.0%	0.0%	3.7%	6.2%	4.9%	24.7%	56.8%	3.7%
白石	1.9%	1.9%	3.7%	5.5%	4.6%	22.2%	58.3%	1.9%
湯田	0.9%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%	20.5%	61.6%	3.5%
仁保	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	20.0%	74.2%	2.9%
小鯖	2.7%	0.0%	5.4%	2.7%	5.4%	8.1%	70.3%	5.4%
大内	0.0%	1.4%	2.9%	2.4%	3.4%	22.1%	64.4%	3.4%
宮野	0.7%	1.4%	0.7%	2.7%	4.8%	15.7%	69.9%	4.1%
吉敷	0.0%	1.5%	1.5%	2.3%	3.8%	16.2%	71.6%	3.1%
平川	0.6%	0.0%	1.4%	1.4%	2.7%	14.3%	75.5%	4.1%
大歳	0.0%	2.6%	0.9%	0.9%	2.6%	19.3%	71.9%	1.8%
陶	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	80.8%	7.7%
鑄銭司	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	13.4%	70.0%	10.0%
名田島	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	85.8%	7.1%
秋穂二島	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	85.6%	4.8%
嘉川	0.0%	0.0%	4.9%	4.9%	1.6%	9.9%	72.1%	6.6%
佐山	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	77.1%	2.9%
小郡	0.4%	0.4%	2.4%	2.0%	3.3%	15.8%	72.4%	3.3%
秋穂	0.0%	1.6%	3.2%	4.8%	4.8%	6.5%	72.6%	6.5%
阿知須	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	2.3%	3.4%	86.4%	5.7%
徳地	0.0%	0.0%	3.4%	8.5%	1.7%	6.8%	67.8%	11.8%
阿東	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	4.7%	6.2%	82.8%	3.1%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.6%	16.7%

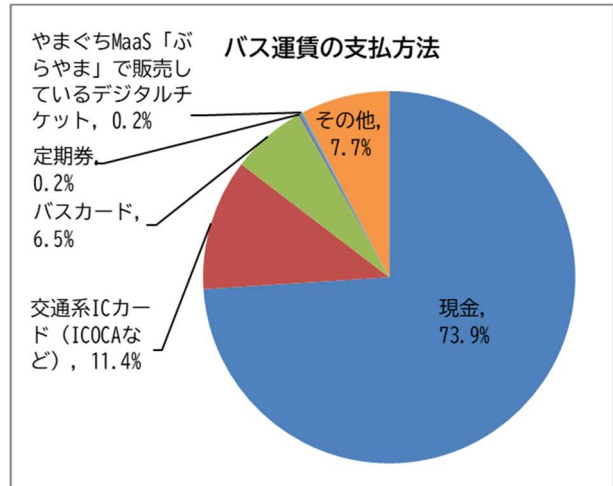
路線バス等の利用頻度(地域別)



20.バス運賃の支払方法・・・問 18

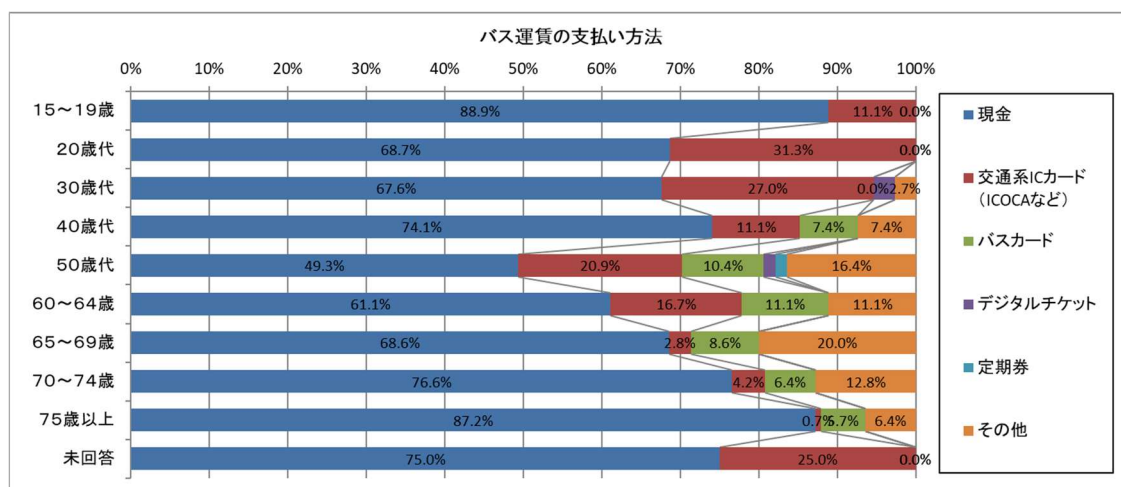
バス運賃の支払方法については、7割以上の方が現金で支払われています。年齢別にみると、20歳未満と75歳以上の方は現金での支払い方法が9割近くとなっています。

	回答数	割合
現金	297	73.9%
定期券	1	0.2%
交通系ICカード (ICOCAなど)	46	11.4%
バスカード	26	6.5%
やまぐちMaaS「ぶらやま」で販売しているデジタルチケット	1	0.2%
その他	31	7.7%
合計	402	100.0%



<その他の主なご意見>

- ・障がい者手帳
- ・福祉優待バス乗車証
- ・のる得きっぷ



21.路線バス等を利用するにあたって不満に感じること・・・問 19

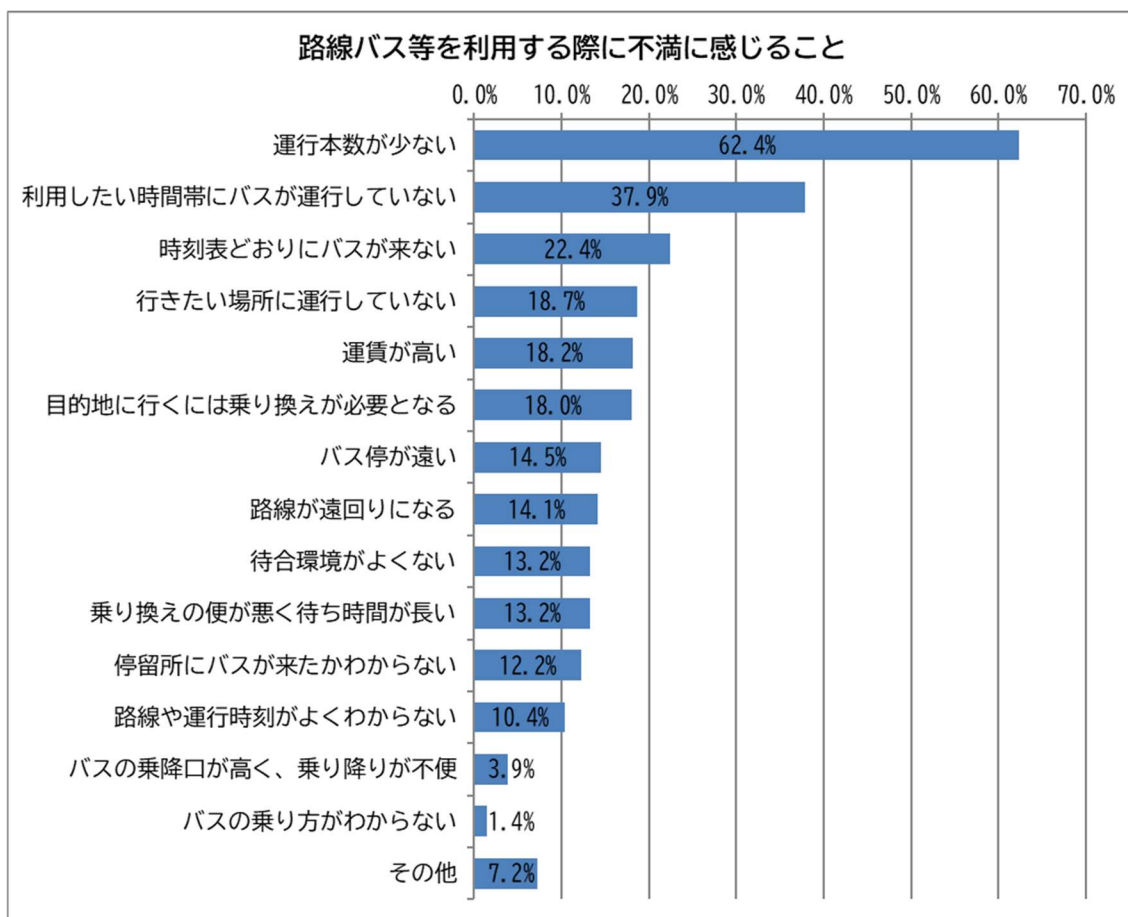
路線バス等を利用されている方に、不満に感じることを回答していただいたところ、不満を感じることの多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
運行本数が少ない	270	62.4%
利用したい時間帯にバスが運行していない	164	37.9%
時刻表どおりにバスが来ない	97	22.4%
行きたい場所に運行していない	81	18.7%
運賃が高い	79	18.2%
目的地に行くには乗り換えが必要となる	78	18.0%
バス停が遠い	63	14.5%
路線が遠回りになる	61	14.1%
待合環境がよくない	57	13.2%
乗り換えの便が悪く待ち時間が長い	57	13.2%
停留所にバスが来たかわからない	53	12.2%
路線や運行時刻がよくわからない	45	10.4%
バスの乗降口が高く、乗り降りが不便	17	3.9%
バスの乗り方がわからない	6	1.4%
その他	31	7.2%

※割合については、複数回答のため、回答者数(433 人)を分母としています。

<その他の主なご意見>

- ・バスが通っていない。
- ・鉄道、バスの接続が悪い。
- ・最終便が早い。
- ・障がいがあるので、利用できない。
- ・支払方法の選択肢。
- ・満員であることが多い。
- ・バス停に屋根が欲しい。



22. 路線バス等を利用しない理由・・・問 20

路線バス等を利用されていない方に、利用されていない理由を回答していただいたところ、多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
自動車移動できる	1,077	84.1%
バス停が遠い	171	13.3%
自転車移動できる	117	9.1%
鉄道の方が利用しやすい	89	6.9%
送迎がある	64	5.0%
その他	128	10.0%

※割合については、複数回答のため、回答者数(1,200人)を分母としています。

<主なその他のご意見>

- ・小さな子どもがいるので、車の方が便利。
- ・障害があるので、困難。

23.路線バス等を利用されるとしたら、不安なことや躊躇することの理由…問 21

路線バス等を利用されていない方に、路線バス等を利用されるとしたら、不安なことや躊躇することの理由を回答していただいたところ、多いものから順に以下のとおりとなっています。

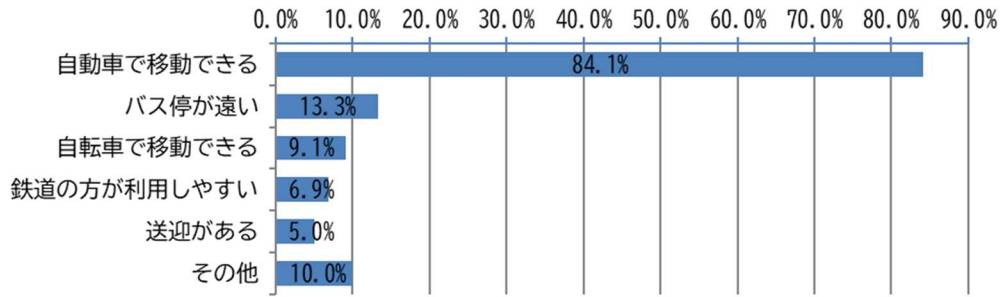
	回答数	割合
運行本数が少ない	686	54.7%
好きな時間に出かけられない	558	44.5%
行き帰りの時間の便がない	408	32.6%
行きたい場所に運行しない	340	27.1%
停留所まで遠い	329	26.3%
路線バス等では時間がかかる	302	24.1%
長時間待つことが苦痛	282	22.5%
路線や運行時刻がよく分からない	269	21.5%
運賃が高い	260	20.8%
面倒くさい	238	19.0%
バスの乗り方がわからない	87	6.9%
一人での外出に不安がある	85	6.8%
乗り降りが不便(段差など)	61	4.9%
その他	82	6.5%

※割合については、複数回答のため、回答者数(1,253 人)を分母としています。

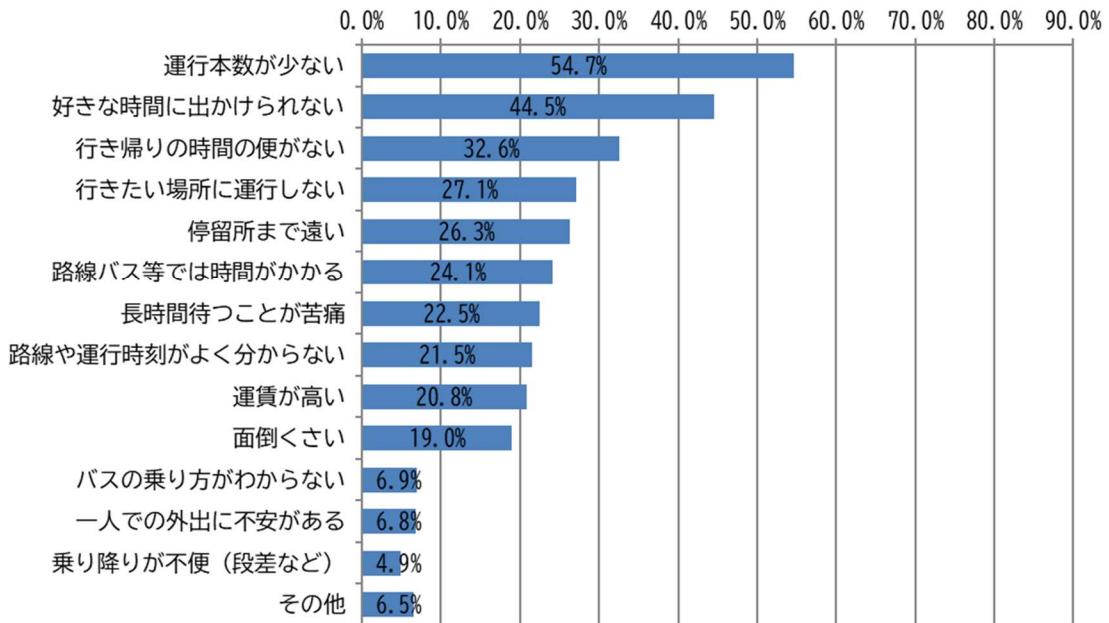
<主なその他のご意見>

- ・買い物した荷物が重い。
- ・バス停まで車で移動し、バス停近辺で駐車場が欲しい。
- ・定時に来ない、渋滞になることがある。
- ・車酔いする。

路線バス等を利用しない理由



路線バス等利用の際に不安なことや躊躇すること



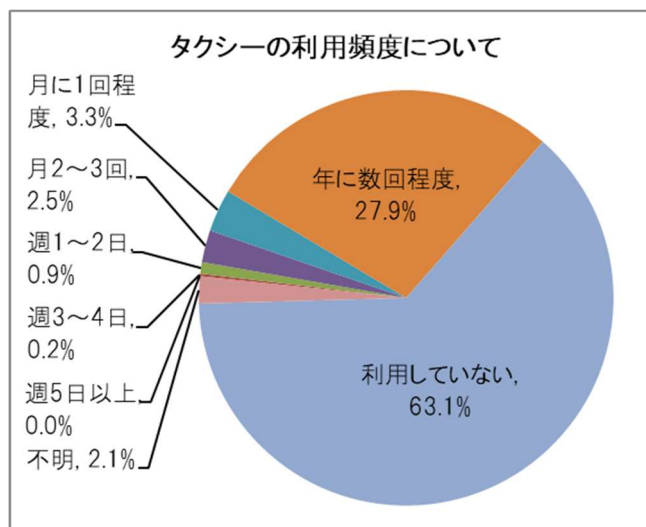
24.タクシーの利用頻度について・・・問 22

タクシーの利用頻度については、利用される方で最も多かった利用頻度は、「年に数回程度」(27.9%)で、次いで、「月1回程度」(3.3%)でした。

一方で、全く「利用していない」方の割合は、約6割となっています(63.1%)。

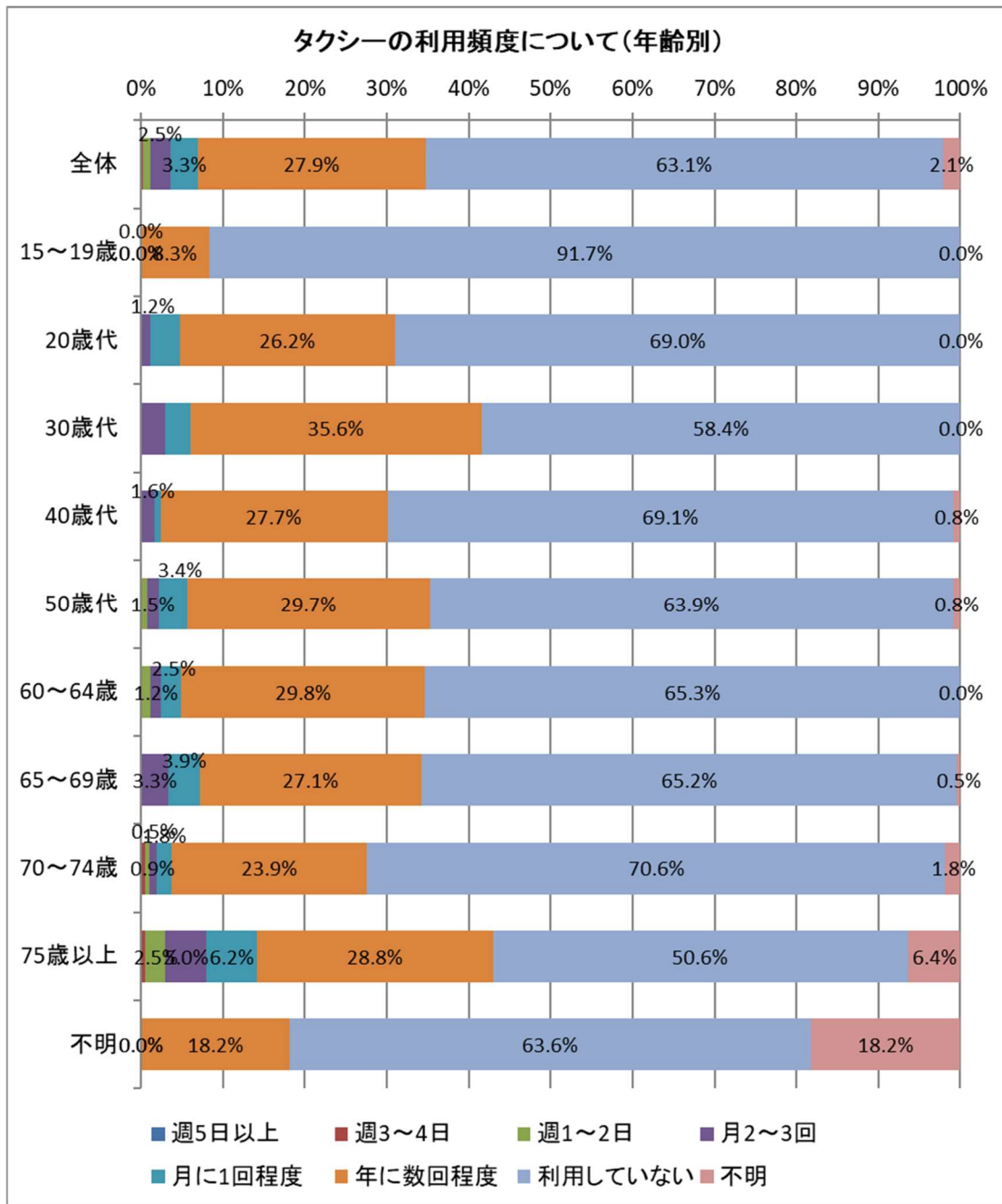
【頻度】

	回答数	割合
週5日以上	0	0.0%
週3～4日	3	0.2%
週1～2日	16	0.9%
月2～3回	46	2.5%
月に1回程度	61	3.3%
年に数回程度	510	27.9%
利用していない	1,155	63.1%
不明	39	2.1%
合計	1,830	100.0%



【年齢別】

	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3回	月に1回程度	年に数回程度	利用していない	不明
15～19歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	3.6%	26.2%	69.0%	0.0%
30歳代	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	3.0%	35.6%	58.4%	0.0%
40歳代	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.8%	27.7%	69.1%	0.8%
50歳代	0.0%	0.0%	0.7%	1.5%	3.4%	29.7%	63.9%	0.8%
60～64歳	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	2.5%	29.8%	65.3%	0.0%
65～69歳	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	3.9%	27.1%	65.2%	0.5%
70～74歳	0.0%	0.5%	0.5%	0.9%	1.8%	23.9%	70.6%	1.8%
75歳以上	0.0%	0.5%	2.5%	5.0%	6.2%	28.8%	50.6%	6.4%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	63.6%	18.2%



年齢別に見ると、「年に数回程度」の利用も含めて、75歳以上が43.0%、30歳代が41.6%の順で利用割合が高くなっています。

25.タクシー利用の際に不安なことや躊躇することの理由・・・問 23

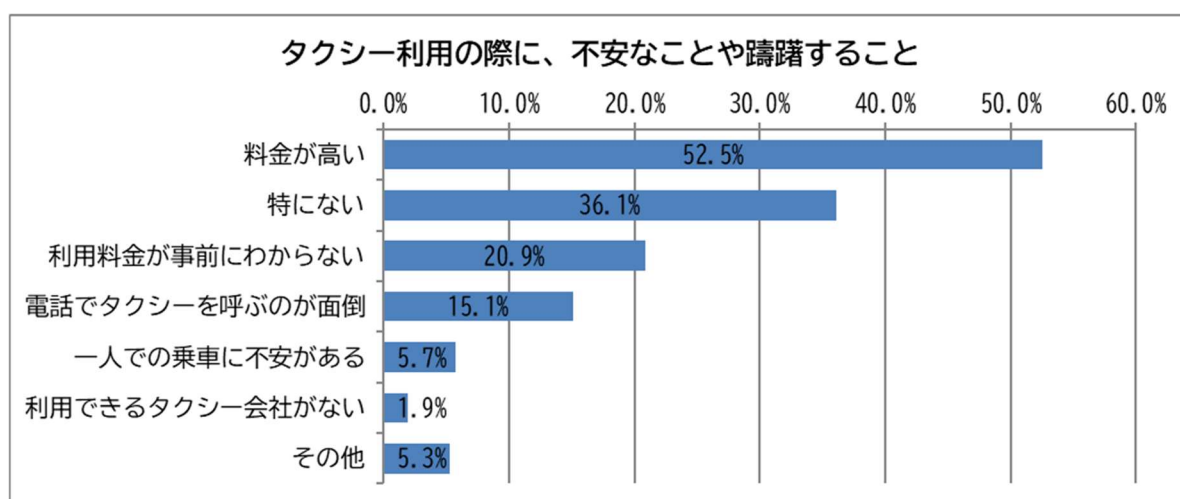
タクシー利用の際に不安なことや躊躇することの理由を回答していただいたところ、多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
料金が高い	875	52.5%
特にない	602	36.1%
利用料金が事前にわからない	348	20.9%
電話でタクシーを呼ぶのが面倒	252	15.1%
一人での乗車に不安がある	95	5.7%
利用できるタクシー会社がない	31	1.9%
その他	88	5.3%

※割合については、複数回答のため、回答者数(1,667人)を分母としています。

<主なその他のご意見>

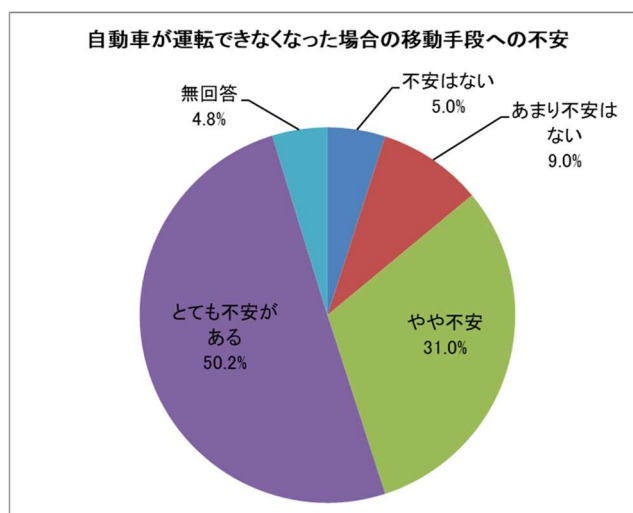
- ・タクシーがつかまらない。
- ・呼んでもすぐに来れず待たされる場合がある。
- ・夜遅くになるとつかまらない。



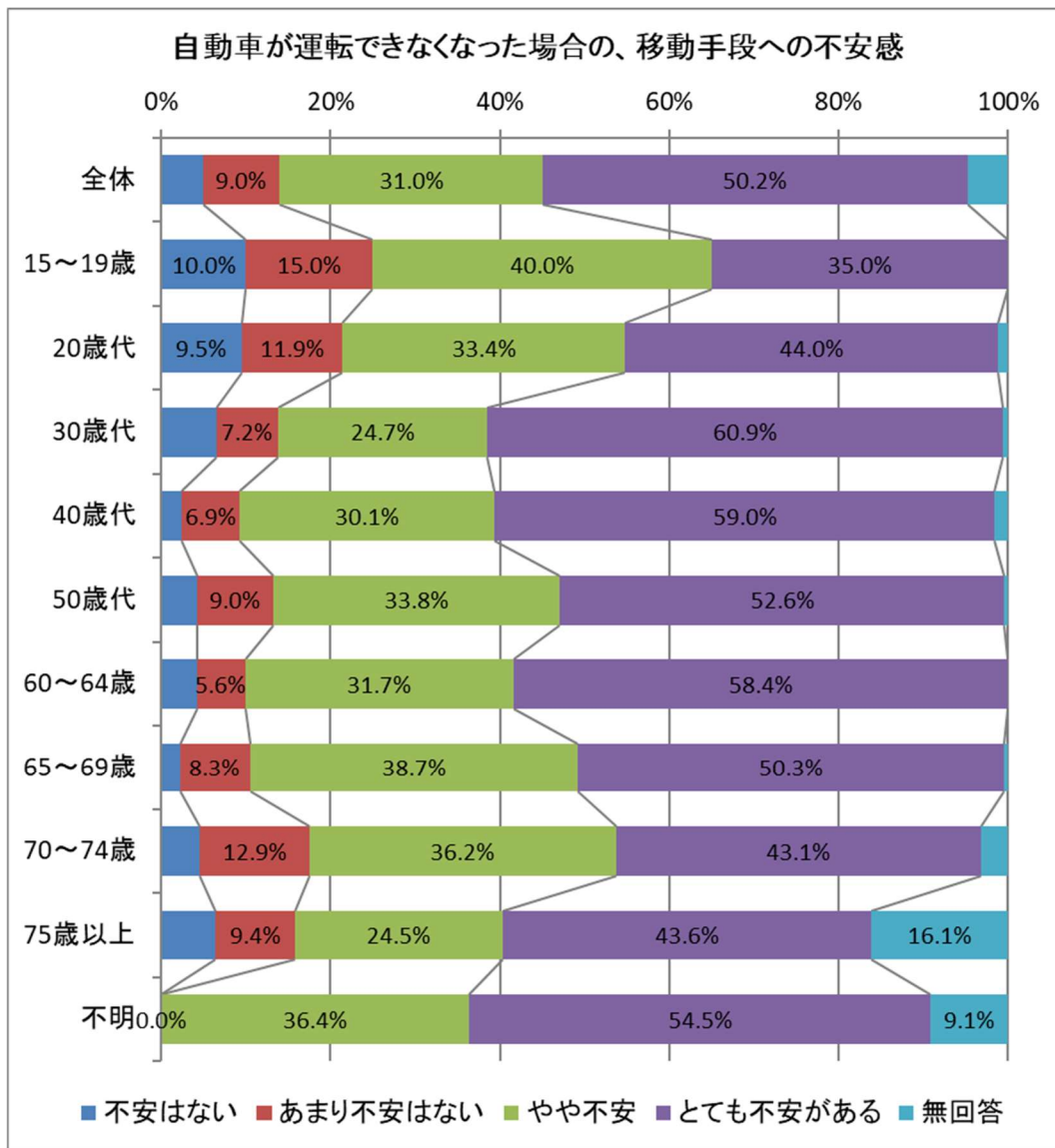
26.自動車等が運転できなくなった場合の、移動手段への不安感・・・問 24

自動車等を運転できなくなった場合の移動手段への不安感については、「とても不安がある」(50.2%)、「やや不安」(31.0%)をあわせると、81.2%となっています。

	回答数(人)	構成比
不安はない	91	5.0%
あまり不安はない	165	9.0%
やや不安	568	31.0%
とても不安がある	919	50.2%
無回答	87	4.8%
合計	1,830	100%



	不安はない	あまり不安はない	やや不安	とても不安がある	無回答
全体	5.0%	9.0%	31.0%	50.2%	4.8%
15～19歳	10.0%	15.0%	40.0%	35.0%	0.0%
20歳代	9.5%	11.9%	33.4%	44.0%	1.2%
30歳代	6.6%	7.2%	24.7%	60.9%	0.6%
40歳代	2.4%	6.9%	30.1%	59.0%	1.6%
50歳代	4.2%	9.0%	33.8%	52.6%	0.4%
60～64歳	4.3%	5.6%	31.7%	58.4%	0.0%
65～69歳	2.2%	8.3%	38.7%	50.3%	0.5%
70～74歳	4.6%	12.9%	36.2%	43.1%	3.2%
75歳以上	6.4%	9.4%	24.5%	43.6%	16.1%
不明	0.0%	0.0%	36.4%	54.5%	9.1%

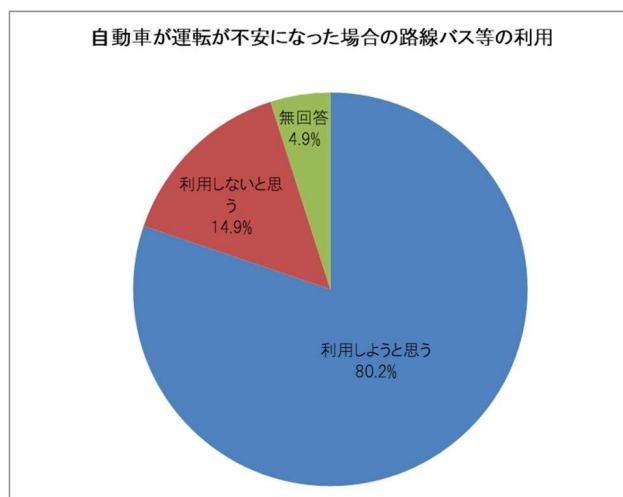


30歳代から高齢者までの幅広い世代で、将来の移動手段への不安を感じておられます。

27.自動車等の運転が不安になった場合の、路線バス等の利用意向・・・問 25

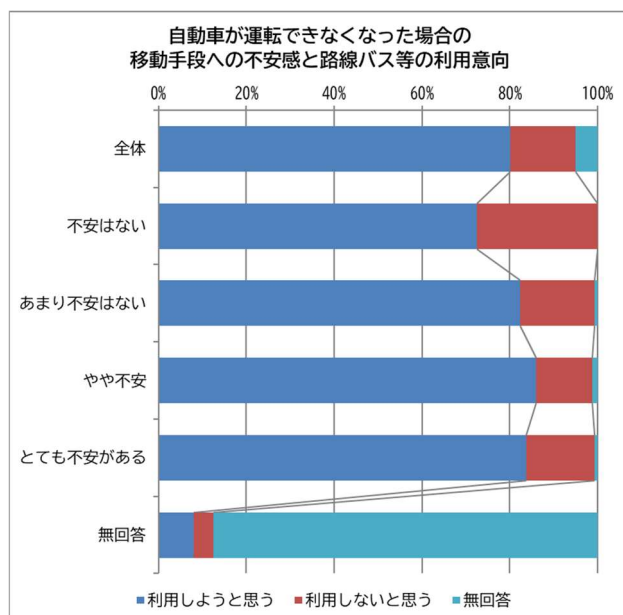
自動車等の運転が不安になった場合の、路線バス等の利用意向については、「利用しようと思う」が、80.2%、「利用しないと思う」が 14.9%となっています。

	回答数(人)	構成比
利用しようと思う	1,468	80.2%
利用しないと思う	272	14.9%
無回答	90	4.9%
合計	1,830	100%



しかしながら、問 24 で自動車等を運転できなくなった場合の移動手段への不安感について、「やや不安」と回答した方のうち、12.7%が路線バス等を「利用しないと思う」と回答し、「とても不安がある」と回答した方でも、15.6%の方が路線バス等を「利用しないと思う」と回答しています。

	利用しようと思う	利用しないと思う	無回答
全体	80.2%	14.9%	4.9%
不安はない	72.5%	27.5%	0.0%
あまり不安はない	82.4%	17.0%	0.6%
やや不安	86.1%	12.7%	1.2%
とても不安がある	83.8%	15.6%	0.6%
無回答	8.0%	4.6%	87.4%



28.公共交通の維持・確保のための費用負担のあり方・・・問 26

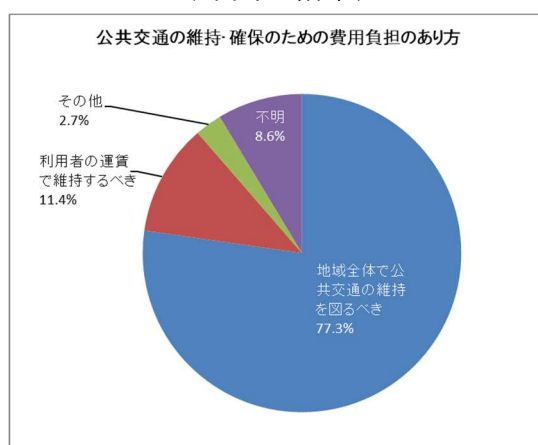
公共交通の維持・確保のための費用負担のあり方については、「地域全体で公共交通の維持を図るべき」が77.3%と最も多く、平成18年度及び平成28年度に実施したアンケート結果に比べ約5ポイント増加しています。

	回答数	割合
地域全体で公共交通の維持を図るべき	1,414	77.3%
利用者の運賃で維持するべき	208	11.4%
その他	50	2.7%
不明	158	8.6%
合計	1,830	100%

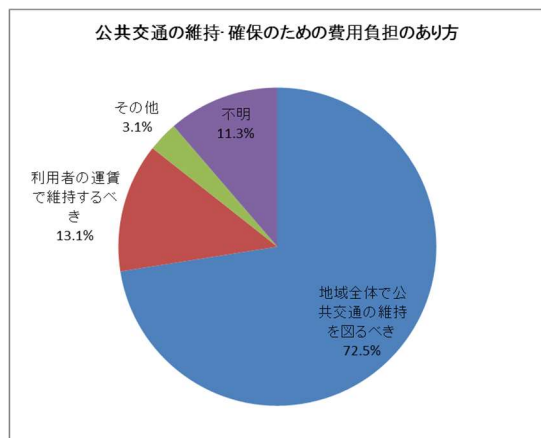
<主なその他のご意見>

- ・民間の相乗りタクシーの充実など。
- ・コンパクトシティを進めインフラの効率化を図る。
- ・広告収入(例えばレノファのラッピングバスとか、観光地をもっとPRするようなラッピングバス)、クラウドファンディングなど。

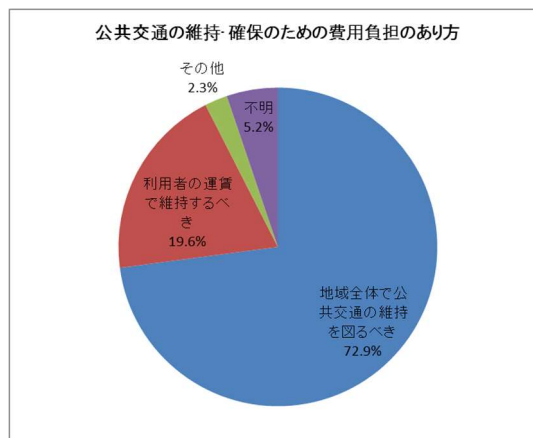
(今回の結果)



平成28年度実施アンケートの結果



平成18年度実施アンケートの結果

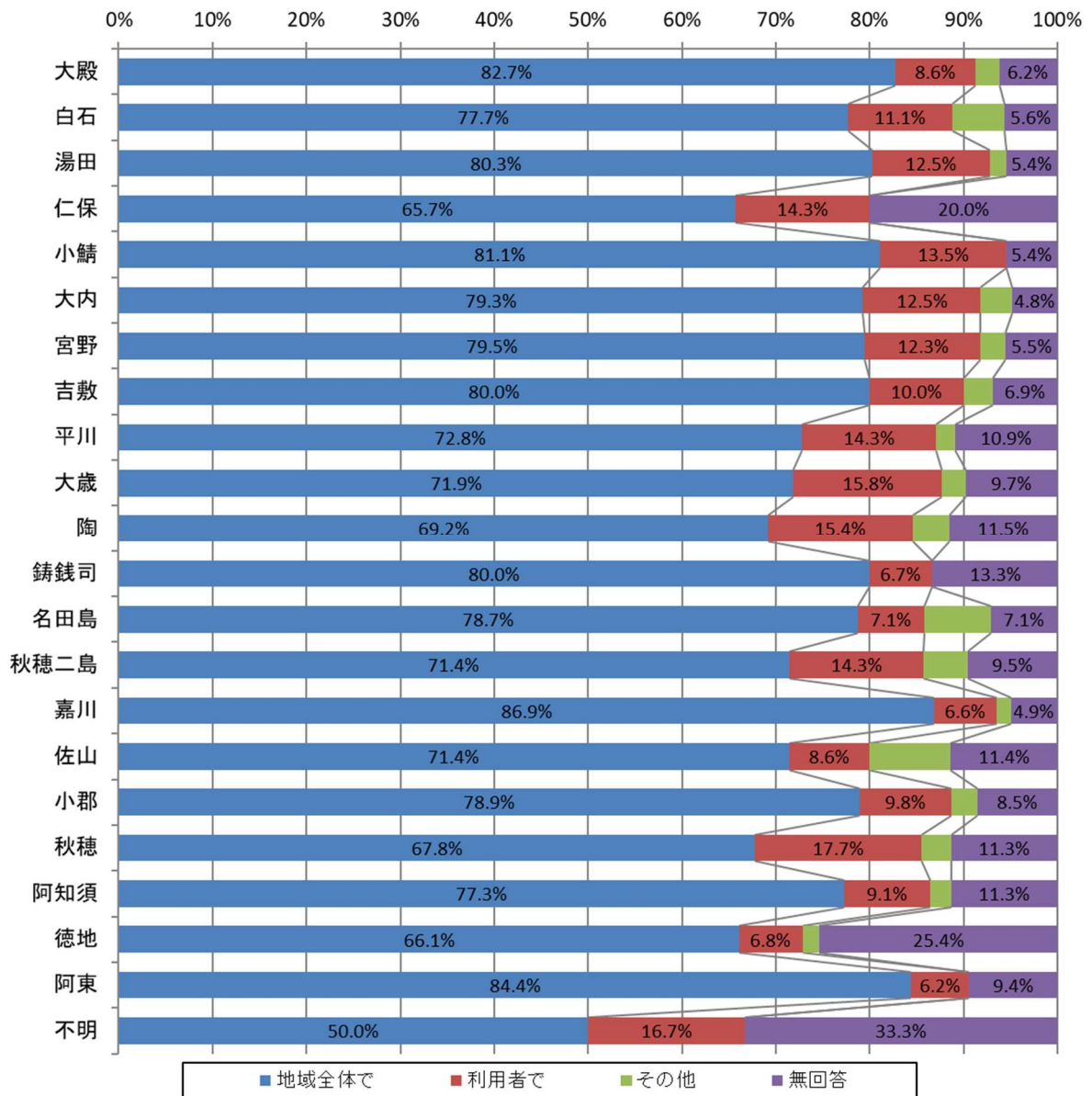


公共交通の維持・確保のための費用負担のあり方について、地域別にみると、「利用する・しないに関わらず、地域全体で公共交通の維持を図るべきである」と回答した方が 7 割以上を占める地域が 17 地域あり、「利用者の運賃で維持すべきであり、利用者が減少すればサービスの低下や路線の廃止も止むを得ない」と回答した方が 2 割を超える地域はありませんでした。

	地域全体で	利用者で	その他	無回答
大殿	82.7%	8.6%	2.5%	6.2%
白石	77.7%	11.1%	5.6%	5.6%
湯田	80.3%	12.5%	1.8%	5.4%
仁保	65.7%	14.3%	0.0%	20.0%
小鯖	81.1%	13.5%	0.0%	5.4%
大内	79.3%	12.5%	3.4%	4.8%
宮野	79.5%	12.3%	2.7%	5.5%
吉敷	80.0%	10.0%	3.1%	6.9%
平川	72.8%	14.3%	2.0%	10.9%
大歳	71.9%	15.8%	2.6%	9.7%
陶	69.2%	15.4%	3.9%	11.5%
鑄銭司	80.0%	6.7%	0.0%	13.3%
名田島	78.7%	7.1%	7.1%	7.1%
秋穂二島	71.4%	14.3%	4.8%	9.5%
嘉川	86.9%	6.6%	1.6%	4.9%
佐山	71.4%	8.6%	8.6%	11.4%
小郡	78.9%	9.8%	2.8%	8.5%
秋穂	67.8%	17.7%	3.2%	11.3%
阿知須	77.3%	9.1%	2.3%	11.3%
徳地	66.1%	6.8%	1.7%	25.4%
阿東	84.4%	6.2%	0.0%	9.4%
不明	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%

※表中、「地域全体で」は、「利用する・しないに関わらず、地域全体で公共交通の維持を図るべきである」と回答した方の割合、「利用者で」は、「利用者の運賃で維持すべきであり、利用者が減少すればサービスの低下や路線の廃止も止むを得ない」と回答した方の割合を示しています。

公共交通の維持・確保のための費用負担のあり方(地域別)

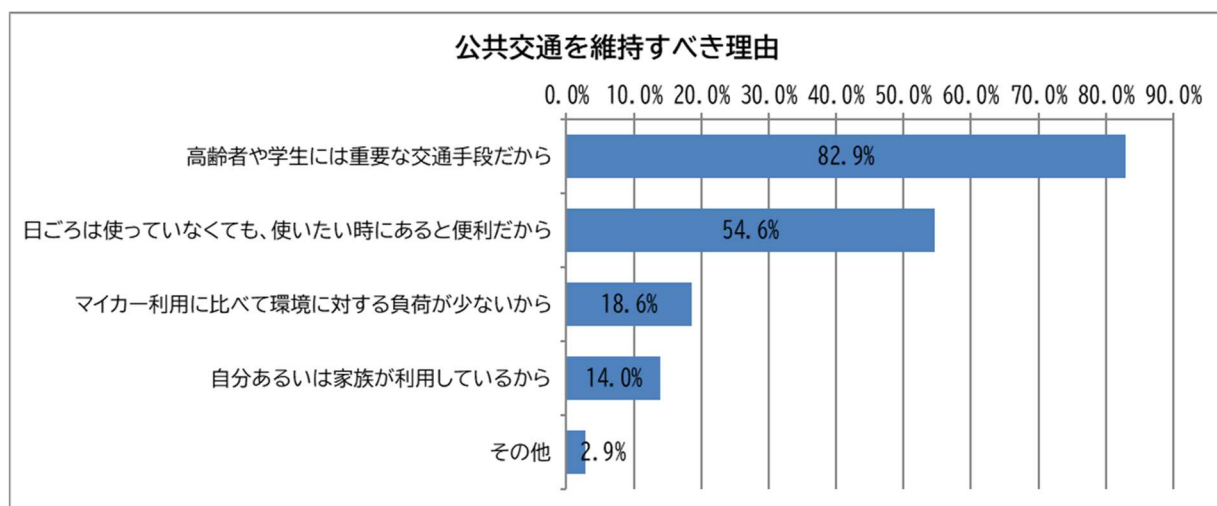


29.公共交通を維持すべき理由・・・問 27

問 26 で、地域全体で公共交通の維持を図るべきと回答された方に、その維持すべき理由を尋ねたところ、多いものから順に以下のとおりとなっています。

	回答数	割合
高齢者や学生には重要な交通手段だから	1,080	82.9%
日ごろは使っていないなくても、使いたい時にあると便利だから	711	54.6%
マイカー利用に比べて環境に対する負荷が少ないから	243	18.6%
自分あるいは家族が利用しているから	182	14.0%
その他	38	2.9%

※複数回答のため、割合は、回答者数(1,303 人)を分母としています。



<その他の主なご意見>

- ・自分もいずれ高齢者になるから。
- ・地域全体で支え合うことで、コミュニティの維持に繋がるから。
- ・地域の衰退につながるから。
- ・公共交通が発達すれば渋滞、交通事故も少なくなる。

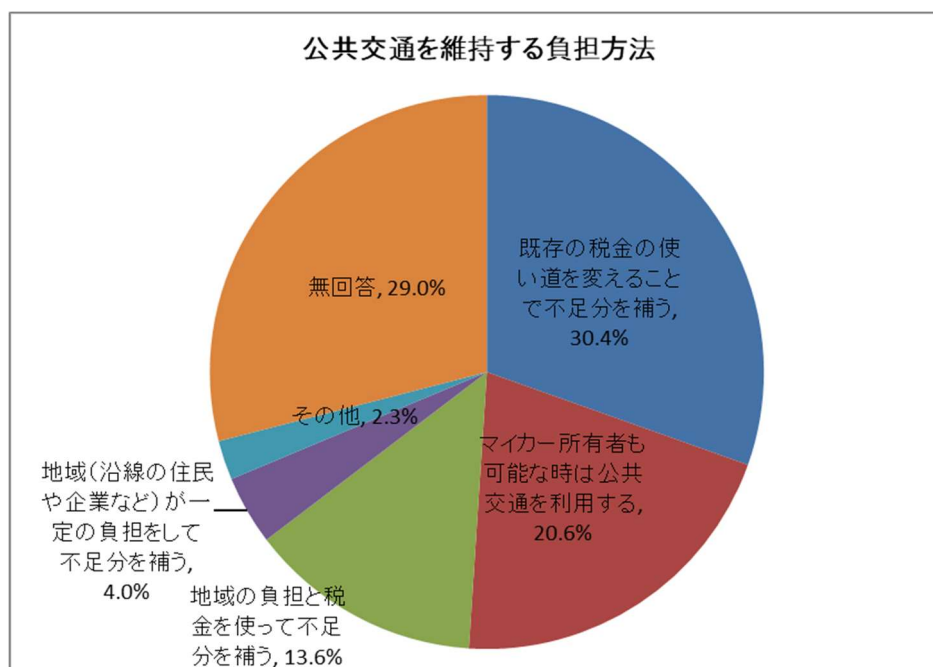
30.公共交通を維持する負担方法・・・問 28

問 26 で、地域全体で公共交通の維持を図るべきと回答された方に、公共交通を維持する負担方法を尋ねたところ、以下のとおりとなりました。

	回答数	割合
既存の税金の使い道を変えることで不足分を補う	557	30.4%
マイカー所有者も可能な時は公共交通を利用する	377	20.6%
地域の負担と税金を使って不足分を補う	249	13.6%
地域(沿線の住民や企業など)が一定の負担をして不足分を補う	74	4.0%
その他	42	2.3%
無回答	531	29.0%
合計	1,830	100%

<その他の主なご意見>

- ・車両数を時間に合わせて減らす。
- ・商業施設、医療機関、学校の近くにバス停を置く、置いたところに一部負担してもらう。
- ・車両を小さくして燃費の節約。



31.公共交通(鉄道、バス、タクシー)について日頃から感じていることや、ご意見、ご提案(自由記述)・・・問 29

鉄道/運賃

佐山地区を廻るコミタクはありますが、新山口駅まで行こうとすると、国道すじのバス停までコミタクで出て、乗り換え新山口駅までいかなければなりません。JRが通っている所に住んでいて、バス停に出るより近いので高齢者も少し割引があると利用しやすいです。

鉄道/ダイヤ

山口線のダイヤが使いづらい。現行設備でも工夫すれば30分間隔の運転ができるとおもいます。新山口駅～山口まで電化されれば徳山、下関に乗換なしで行けるようになります。逆に山陽本線の列車を(新型)気動車にしても直通運転できます。

大雨などの時に電車が動いているのかがわからなくて、通学帰宅にとっても困る。両親も働いており、動いていないなら他の手段を考えなくてはいけないので、きちんとして欲しい。

学生が帰る時間に 鉄道の時間が無い。

大雨の影響で運行できないのは仕方ないが、着いた厚狭駅で1時間待たされたのが本当にどうにかしてほしかった。

運行本数が少ないため不便で使用する選択肢にならず車を使用することが多い。阿知須駅の終電が早いのが1番の不満。

マナー改善求む、終電の時間をもう少し伸ばしてほしい、新山口駅とローカル線の接続をよくしてほしい

鉄道/便数

学校への通学で電車を利用するにあたって自分の乗りたい時間帯の電車が通ってないことが多いので4時台、5時台の電車を増やしてほしい。

鉄道やバスが不便である。市内中心部にかなり近い宮野地区でさえバスや電車が毎時0～2本で、近距離の利用には不便。

利用客の多い新山口～宮野で、ICカードを全線で対応させ、山口～宮野の本数を新山口～山口とほぼ同じくらいにはすべきであると思う。

鉄道バスがいずれも毎時3本くらいで、かつバスの運賃がもう少し安ければ積極的に利用すると思う。ただ、山口線の始発繰り上げ、終電増発に関しては高く評価している。

電車の本数、車両の量を増やしてほしい。

高校生の頃からJRを利用しています。電車の本数が少ないため、授業が1コマ目からでも2コマ目からでも同じ時間の電車に乗らなければならないのが少し不便です。全体の公共交通機関の利用者が少なくなっており、維持費や経費の問題などあると思いますが、利用する必要がある人達や、駅近の店舗の需要なども考えると、駅の廃止やこれ以上の電車の本数の削減はするべきでは無いと思います。電車は天気以外で遅延や運休をすることがほとんどないので助かっています。これからも、より利用しやすい公共交通機関を作っていって欲しいです。

とにかく、不便と感ずることが多いです。通勤の時間に最も需要があるのも分かりますが、17時台から1時間に1本しかないと言うのはさすがに不便すぎるかと。せめて18時台だけでも18:30くらいにもう1本あるととてもありがたいです。列車にぎりぎり間に合わない人を数秒なら待つてあげるのは山口

の列車のいいとこだと思います。

以前、久しぶりにJRを利用したら、乗り換えに30分以上待って、車の方が早いと思いました。特に山口は駐車料金も安いので。東京や広島市に住んでいた時は、時刻表を見なくてもスムーズに乗り換えが出来ていたのも、その感覚で利用すると不便を感じます。

山口線の本数が少なすぎて待ち時間が異常に長くなるが多々あります。とても時間の無駄ですし、不便すぎるのでもう少し昼間から夕方にかけての山口線の本数を増やしていただきたいです。

本数をもっと増やして欲しいです(*´д`*)。電車で、新山口で乗り継ぎをする時の待ち時間が長すぎます?学生には料金が高くて負担です??

鉄道の路線が少ないし、本数がすくなく、待ち時間が長い。

私は外出する時は車イスですが、新山口駅は昔から比べるときれいになり、エレベーターもエスカレーターがつかいましたが運行の本数をみると、出かける気にはなりません。同居人もとても不便に感じております。なかなかむずかしいとは思いますが、宜しくお願い致します。

JR 新山口～宮野間。ホームを増やして、全駅ですれ違い可にして便数を増やす。

山口市全負担で公務員の通勤は公共交通機関の定期支給に変更。宮野駅以降廃線。

いつも国道9号線が月～金、8時～8時30分、17～18時は混み合ってしまう。山口県は道路が他県に比べてきれいであったり、いろいろな道ができていて便利とうたっているのに、もう何年も何年もこの苦情、不満を解決する気があるのか疑ってしまうほど。宇部興産ですら専用道路を作って渋滞緩和につとめているのに、市職員県庁職員はどう思っているのか?このままでいくのか?宇部線が止まるのは仕方ないが山口線も本数が少なく大変不便。不満しかない。若者がよりつかない理由の1つ。

1時間い1本は電車があると思っていたら、何時間も電車がこないことで、困ることがあった。学生には電車が必要なので、町中だけ何本もあるより、1時間に1本でも、電車があると助かります。いなかには不便です。

JR、朝と夕方の便が混雑している。1時間に2本程度しか便がない。朝と夕方だけでも、便が増えてくれると、乗りやすい。バス、シートベルト着用が義務付けられていないのに不安がある。もっと声かけしてほしい、バス広告も利用したらいいと思う

鉄道／接続

新幹線と在来線との接続が良くなれば利用しやすい。

JR 乗換の接続が新幹線以外は悪く、新山口駅は長時間待つことが多く不便(新山口駅に到着すると乗換先が10分前に出ていた等)。運行本数が少ないこともあり、気軽に利用できない。30分間隔程度で運行してほしい(山口線山口駅⇔新山口駅や宇部線等は特に不便。)

鉄道／駅・バス停までの距離

列車と場所の連絡が悪い

鉄道／分かりやすく

本数が少ないし、5月にいちど久しぶりに電車に乗ったのだが バスみたいな仕様が変わっていて、全く料金の支払い方がわからなかったアナウンスも何を言っているのか全く聞き取れなかった。

普段使っていないので、切符を買う場所、切符を渡す場所などがわからず、探すので時間をロスした

り、モタモタして後ろの人を待たせたりするのが嫌で、利用がおっくうになります。

鉄道の時刻表がないので、スマホを持ってない者には、不便である。

鉄道／利用しやすく

山口駅を両側から乗られるようにする

県外からの移住者ですが、ICカードが使えない駅があることに驚きました。山口線沿線に住んでいるので、もっとICカードが使える駅を増やしてほしいです。また基本的に自動車移動ですが、たとえば維新ホールでのイベントなど公共交通機関での来場が推奨される場合にはなるべくそうしたいと思っています。しかし駅に駐車場がなく(あっても月極のみだったりして)断念することもあります。もっとパークアンドライドができるように、駅に(できれば無料の)駐車場を増やしてほしいです。

山陽本線以外の地方路線は使いにくいと思います。運転見合わせによる代替は自動車しか使えないのです。タクシー代替は高価ですし、バス路線は時間の都合で使い辛いです。

駅まで遠いのと、自家用車を気軽に置ける駐車場を多くしてほしい。

主要駅が無人化することで不便なので利用しない

JR 山口線で益田まで行こうと思ったが、車内にトイレがないと聞いた。高齢者には必要だと思うし、道中の無人駅にもトイレの整備が十分でないと思う。検討していただきたい。

山口線の座席は対面式の箱型で、一人では座りにくい。知らない人と向かい合って座りにくい。

山口線はなぜ接続が悪いのか。これが一番利用者の低下を招いている。複数人だと車の方が安いのも車を選ぶ理由である。家族割を提案する。駅に電車利用者用の無料駐車場があると良い。新幹線より飛行機に乗る方が多いが、それも理由にある。公共交通機関は子供の社会勉強の場となるため、廃止にするのは究極の選択に近い。

JR 西日本関係者へ。JR 西日本の経営環境が大変厳しいことは事実だが、それだけにもう少し県民・市民が JR 西日本を使いたくなるサービスを踏まえて経営方針を考えるべきではないですか。その第一歩として車両の更新やハイブリッド化、水素燃料による車両導入を急ぐことを望みます。

鉄道／維持して欲しい

大内地区の県道 21 号線の渋滞によりバスの定時運行ができなくなっているため、渋滞の緩和策を要望する。特に、農業試験場跡地の施設に人が集まれば更に渋滞が悪化するので多くの来訪者が生じる施設の建設は断固反対する。

JR は一部路線の収支を根拠に地方路線の廃止を狙っているが、鉄道路線の多くは国が建設したもので、公共の財産であり、国全体で負担し維持すべきである。公共放送である NHK は半ば強制的に国民から負担を強いている点に比べると、公共交通に対する国民全体の支援は非常に乏しいと考える。山口線の一部区間の廃線協議に応じることなく、維持に向けた方策に絞って検討してほしい。

抗うつ剤を服用しているため、車の運転が不可能なのでこれ以上電車の本数が減ると就業が厳しいため減らさないで欲しい。

とにかく、公共交通機関の維持はしていくべき。税金投入してでも、自動車を運転できなくなるのは、誰にも訪れる。しっかりと、応援すべき。自治体として、JR とかは、不採算部門を切り捨てる気、満々です。山陽本線は、この春から、ワンマンカーになりました。多くの駅が、無人駅になってます。みどりの窓口も多くの駅で廃止されています。山口市の JR 関係の施設、路線も機会があれば、廃止されます。利用者数の減少や不採算を理由に。それを防ぐ意味でも、抜本的な支援、改善が必要です。自治体、住民がオールで応援しないと、いけません。一度廃止されたり、縮小されたら元に戻ることはありません。しっかりと、認識してください。

JR(山口線)は維持してほしい。バスは走っているのを見てもほぼ人は乗っておらず(時間帯かもしれない)、ムダ使い(金もエネルギーも)。

昨年までは、通学のため毎日 JR を利用していた。学生にとっては、なくてはならない移動手段なので維持して欲しい。

廃線なきようお願いいたします。

山口駅について「みどりの窓口プラス」に代わってから、待ち時間が格段に長くなってしまった。コロナの関係が非対面かと思うが、待っている人が多ければその分密になってしまう。山口線や山陰線等、赤字路線で存廃の対象になっているかと思うが、地域のため(学生・高齢者)には必要である。もしこのまま廃線になると地域の人口減少に拍車をかけると感じる。

例えば、美祿線のように災害があったことや利用者が少ないことを理由に廃線にすれば、高齢者の移動機会を奪うことになるので、皆が助け合って、これを維持するべきである。(募金寄付金等)

鉄道/DX の活用

宇部にも大学キャンパスがあるのに、JR 新山口⇄宇部地域で IC カードがいまだに使えないなんて遅すぎる。(山口市内に導入されたのも十分遅すぎた。)

もっと ICOCA が使える駅などを増やしてほしい。

ICOCA が矢原駅で使えず不便です。通学で利用者が多い駅で使えると便利。

JR・みどりの窓口がなくなって(利用する駅)不便。IC カードが山口線全線で使えないから、利用者が少ないのでは。(バスも)福岡と広島には含まれた県なので、IC カードの全路線利用は是非導入して欲しい。利用者増えるのでは？！

車両が2車両というのはありえない。IC カードが使える駅が少なすぎる。せめてもよりの学校がある駅では導入すべきだ。

JR で無人駅が多いが IC カード導入することで無賃乗車する人が減るのではないか。学生は本当に IC 系がないとか使えないとかありません。

鉄道/行政の交通政策

駅にリーズナブルに使える駐車場を併設する。県が整備する。鉄道を維持するためには、上記が必要と考えます。

鉄道/まちづくり

駅前ビル(ショッピングモール)を新山口駅につくってください。そうしたら公共交通を使う人もふえると思います！

山口線(新山口駅から津和野間)にできるだけ桜の木を植えて名所をつくれれば SL と桜で春・秋と観光客が増えるのではないかと思います(少し時間がかかるとは思いますが)

鉄道／その他

鉄道の乗客のマナーが、都会に比べて悪いように思う。整列乗車しない、座席に荷物を置く、混雑しても座席を詰めない、等。

宇部線がすぐ止まるので不便(子供に通学で)

今回の大雨でとったJRの行動、美祢線です！代行バスもださず、厚保地区は孤立状態といっしょ！
県市はもっとJRに対して、強く申し入れて、ほしい！

数年前、自分と同じ姓と同じ名前の駅を訪れたことがある。単線で1～2時間に1本しか電車は来ない、駅周辺で10分くらい写真をとった後、次は1時間以上待ち、アプリで折り返しの電車がくることが分かっていた(20分くらい)ので計画を立てられた。単線や廃線になりそうな各駅でも停車時間を5分くらいにして少し駅でゆっくりできれば多少は観光客にとって便利になるのでは。(通勤通学時間は除く)。どっちにせよ本数が少ないのだから各駅で時間をとっていいのでは(山口線でいえば長門峡駅等)

山口駅舎が地味すぎる。古い。県庁や市役所があるし、観光客が最初に降りる顔ともいえる駅なのに、このままではダメだと思う。新山口駅ばかりに力を入れていて、山口駅は見離されてると感じていて、さみしいです。

真夏の猛暑時の待っている人達が体調を崩す待ち合所。なにかしなければ。ミストやエアコン等。よく救急車が来ていますね。駅に時間をつぶせる飲食店(マクドナルド、ミスド、その他カフェ)があるといいかもかもしれません。山口駅の上にある「山口駅」の文字も古くて、こわれている風に見えて悲しいです。行きたくなるような名所になるようなステキな山口駅に生まれ変わってくれたら嬉しいです。よろしくお願いします。期待しています。

新山口駅からの接続が良くないようで、待ち時間が長かったり、その間の時間を有効活用する場所も(店舗含む)なく、若者は 勿論、旅行者の方々も次回ここを利用しようとか、山口に行こうなどの希望が持たれない。在住の私でさえ感じることもある。駅=素通り=が残念です。

JR 山口線 災害に強い路線にし不通の少ない路線にしてほしい。サイクルレーンを常設にして、益田までの便を増やし、県外からの集客に務めてほしい。山口県では自動車燃料消費が日本でTOPクラスと聞きます。高齢者での車の事故も多いです。列車の利用はベストですが、駅からの移動も大変です。サイクルレーンの利用で駅までのそして駅からの移動もしやすくなるのでは。新山口からのサイクリストの便をはかり山口方面への増入をはかった方が新山口から益田まで途中観光できる所が多数あります。地方の便利性と利益を考えればこれも「あり」と思われますが。イベント列車ではなく定時常設として。

JRの赤字路線は廃止し、バスにて対応し、JRと同様のバスの価格にしたらいいと思います。しかし、貨物便もあるため、山陽本線と山口線は必要。

バス／運賃

バスの運賃が鉄道と比較し、異常に高額。

徳地→防府間のバス運賃が高すぎて、子供が使いたいという際、往復2千円かかるためどうしてもちゅうちょしてしまい

車での送り迎えになってしまう。せめて往復千円以内ですめば助かるのだが・・・

バス/ダイヤ

バス利用時、時刻表通りに来ないのが困る。何度も新幹線に乗り遅れています！
バスについては渋滞にすぐ影響をされると思う。これだけマイカー利用者が多い世の中なのに、道は1本、混む時はほんとに混む。みんな代替手段がないからマイカーで動くしかない。不便で仕方がない。
バス JR 防府-山口を利用していますが、防府からのバスは時間がいつも遅れて、20分も遅れることがある。夕方は防府行きも遅れる。全体的にJRバスは、いつも遅れる。
バスをもっと遅い時間に運行して欲しいです
朝の通勤は良いが、帰りが遅くなるとバスが運行していないので、結局車となる。
山口大学前から新山口駅までの間は土・日にバスの運行をしていないので、不便に感じている人がいるのではないかと思います。
バス 時間をふやしてほしいです。
最近、バスを利用する事があった。30分間隔で動いており、とても便利だと思ったが、土日祝日の夕方以降の便が無いのにびつくりした。利用者が少ないと思うが夏時間で20時台があればいいと思った。
一時期、バス通勤を考えた事もあったが、時間的に帰りのバスの時間がなく、(30分位待つ)これなら歩いた方がいいと、利用をやめてしまった。コミュニティバスを見かけたが、これは将来的には良いアイデアだと思います。
時間帯によって、利用客がないような場合や非常に多い場合があるので、時間帯によってバスの本数を考えたら良い。
利用者減少には、廃止だとこまるので、曜日で対応したり、アンケートをとって利用時間帯を割り出し減便などで維持を図ってほしい。

バス/ルート

バス路線の検討が必要。循環型の路線を検討すべき。
電車に乗るまでバス乗り継いでも面倒臭い。大内小京都から山口大学までバスが欲しい
山口駅 防府駅間に直通の路線を作って欲しい。新山口駅経由では料金が高すぎるし時間がかかりすぎる。
国道262号大内長野から宮野恋路間のバス路線新設を希望します。
平川にもコミュニティバスのような、今あるバス路線の間を走るバスがあるといいと思う。乗りやすければ買い物など公共交通機関を利用したいと思う。
大内地区は飲食店が少なく、飲食で湯田温泉を利用する人は多いと思います。大内から湯田温泉ルートがあれば利用者が増えると思います。また子供が通学に自転車を利用しますが、大内アルク～柴田病院～ザビックまでの歩道がデコボコすぎて本当に運転しにくいです。私も子供と一緒に自転車で通るまで気がつきませんでした。これは高齢者や児童生徒の安全に関わる問題なので公共交通機関よりも最優先するべきだと思います。的外れな意見になると思いますがこの機会を利用して是非ご検討下さい。何十年も同じ状態です。私も見るだけではわかりませんでしたので実際に自転車で運転して確認してみして下さい。

バスについて。新山口から県庁までの国道9号線直進ルートを増やして欲しい。また、新山口からゆめタウン山口への乗り換え無しルートを作って欲しい。
新しい店舗や施設は大内や吉敷に増えているが、住宅地からそこを経由するバス路線がない。旧来のバス路線が集中する地域では買い物などの用事を済ませることができない。そのため高齢で運転に不安を持っていてもマイカーが手放せない。特に新しい国道を全くバスが通らないのはおかしいと感じる。住んでいる場所と病院、スーパー、大内や吉敷の大型商業施設や家電量販店などを結ぶバス路線ができ、1時間に1本でもいいので安定して運行してくれれば買い物や生活の不安を少しでも解消でき、高齢者の免許返納もできるはずだ。
いつもバスが誰も乗ってない。中央病院、駅などに直通にしてほしい。行き帰り1回でもやってほしい。防府駅でも本当に少ない。
AからBに直通で行くとき、CDEFと回っていくようなバスには乗りたくない。
大型バスではなく、コミュニティバスが良いと思う。バス停だけでなく、老人施設なども回れば、病院や買い物にずいぶん助かるのではと良く思っている。
今はマイカーで移動が多いですが、今後車を重ねるとやがて運転できなくなる時が来ると思います。阿知須地区に住んでいると旧山口市内に行く時に、バスも電車も新山口で乗りかえとなり、とても不便です。病院、買物等も宇部市内の方に行くことが多くなります(今もそうですが、車に乗らなくなると今以上に宇部方面にいくと思います。) 新山口での乗りかえなしに山口市の中心部に行けるといいと思います。(特にバス)高齢者で車に乗れない方や非課税世帯の方には、宇部市営バスの全路線が無料又は¥100くらいで乗れるといいと思います。
山口市のホテルサンルート国際のある四ツ角に、日赤側より運行するバスが、左折専用レーンにあるバス停にとまり、そのまま、横断するように県庁へ向う、右折レーンに進路変更しますが、そんなに、急に曲がる必要があるのか、バス停の位置の調整ができないのか、車を運転していて、その光景をみると、いつも思います。
バス路線が出来ると良いですね。
大内殿河内に住んでいますが、まもなく免許返納をと考えていますが、次の足が見えないので考えています。 事故をするまでにJRバス等の整備をお願い致します。
妻がよく山口へ行くのですが小郡で乗り継ぐのに新山口までJRで行き足が悪いのに階段があり大変らしい。JRは料金が高く(高齢者割引なし)JRでなくバスの直行が欲しい。
県立大学の新キャンパス前にバス停が必要。
バスの既存路線を維持するだけでなく、環境の変化に対応する運営をしてほしい。来年度には、山口県立大学の事務棟も完成する。北キャンパスに全てが統合されるので、9号線の大学に近い所に、停留所を新設してほしい。
以前は宮野奥湯田温泉着・発だったのですが、近年はスポーツの森着・発が何便かあります。この間2Km位だと思いますが・・・利用者が少ないことはわかりますが、この間のバス停を利用していた者にとってはとても残念です。私はまだ元気ですので、20~30分かけて歩いてスポーツの森まで行きますが、暑い時はとても大変です。スポーツの森止めでなく宮野奥湯田温泉まで延長できないでしょう

か。
子供が県大に通っているが、朝の通学時間帯のバスのよい時間帯がない。マイカーを共有している為、子供がマイカーでいくと親が乗ることが出来ない(泉町から県大方面のバスの時間帯 8:00台の検討)。学生が多い街なので、バス時刻と停留所の位置。←県大前…値段(バス代)も、手頃な学割などがあると助かります。
バスの起点が JR 山口駅ではなく県庁になっているため利用しにくいと思う。JR 各駅とバスの乗り換えがスムーズになると山口線の利用者もバスの利用者も増えるのではないかな。
山口地域と宇部新川方面の直通バスがほしい(乗換なしのバス)。山あいにある公共施設(不燃物中間処理センター等)にはバスがなく、移動できない。公共施設でも一般人が行く可能性のある場所は車のない市民でも利用できるよう、最低限の運行はしてほしい。
新山口駅の南側に路線バスの運行がない。高齢者に不便を感じている。本数は少なくてよいが、南口側にも停留所が欲しい。

バス/便数

バスに時々乗るが、以前は、大抵、貸切状態(乗客が1人)だったので申し訳ないな、潰れないかなと思うことが多かったけれど、最近はそうでもないの、少し嬉しい。個人的なことだが、江良のバス停の運行本数を増やしてほしい。
小郡から県庁への大きい通りで 1日運行2便だけとか利用は難しい。ハローワークがある通りです。利用者が少ないから仕方ないかもですが
より本数や停留所などが増え、便利になるといいなと思います。
秋穂地域のバスは路線が2本に別れる事から、便数が少ない。雨天時など屋根がない為、停留所で待つのが不便。
都会に比べてバスの利用度が少ないと思う。バスの運行を活発化させるのはどうでしょうか。日赤前、済生会など病院の近くにバス停があるけれどバスの本数が少ないのは勿体ないです。病院だけでなく、スーパー娯楽施設へもバスを利用できるように増便すると良い。山口は車がないとどこへも行けない雰囲気。公的機関の良さをアピールするのは難しいのでしょうか。
公共交通運営者の方には感謝しています。通院でバスを利用する時もありますが、今の運行数では、行きたい時帰りたい時に、タイミングよく利用できない。運行数をふやすと利用者が少ないのだから、バス会社は経営が成り立たない状況は理解できます。車を安く手に入れて簡単に乗り回せることが良いのか悪いのか?行政担当者の方には苦勞をおかけします。
バスに乗りたいです。小鯖からのバスの便をもう少し増やしてほしいです。
防府、山口方面行きは小型バスでも回数増加を望む
JRもバスもとにかく便数が少なく利用するには不便である。
バスは便が少ない 止む得ないと思うが(利用者が少ない)
日曜、土曜日のバス便が少なく不安を感じる
この先、自動車運転免許返納した後、徳地から山口に行き帰りが出来るバスの時間が多くなるといいと思います。
徳地は、今より人口減少になるので難しいとは思いますが。

バス／接続

乗り換えの路線の連絡を考えて欲しい。例えば A 防府⇄秋穂線と秋穂⇄新山口線。B 防府⇄秋穂線と秋穂⇄阿知須線の連絡ができるだけ少ない待ち時間で連絡が取れる運行を午前中に 2 便、午後 2 便くらい計画してほしい。よろしくお願いします。

主に医院、病院へ行く時に利用していますが、特に秋穂(大海側)から阿知須、秋穂(大海より)～小郡、山口停留所の待ち合わせが長い。小郡より帰り道、秋穂より防府のバスも待ち、時間がなく待つタクシーで帰る。

小郡から大道について、大道より秋穂のバス 後ろが見えて出てしまう。もう2分待ってくれたらバスにのれるのに??たびたび思う。

バスが通るのは大変嬉しいと思っています。感謝です。今、欲を言えば、連絡を取ってほしいと思います。特に医療センターはいつ終わるか判らないので防府へ出てもバスがなく、とても残念に思います。どうぞよろしくお願いします。

JR バスと防長バスとのりつぎの時間調整が必要と思います。

バス:便数の増加、接続(のりかえ)の不便さの解消。これが少しでも解消されれば不便さが少しぬぐえます(高齢家族が利用しているので...)。

例)大海小周辺の人が新山口駅まで行きたい場合。大海小 7:06 発一下村7:12 着、下村 8:19 発一新山口8:45 着、⇒下村のバス停でおよそ1時間の待ち時間が発生する。他の交通機関とのかねあいもあるので大変難しいことも承知しておりますが...

バス／駅・バス停までの距離

近くにバス停ができれば利用したいです

自宅が坂の上の団地の為、利用するには駅、バス停まで行くのに(帰りも)体力が必要なので、団地の中にバス停があれば気軽に利用できるのにと常々思っています。タクシーは料金が高くて、利用できません。

今は幸いなことに自力で移動していますが、一人暮らしでもあり、自動車の免許を返納するようになったら、公共交通機関を使いたいと思っています。しかし、JR は上りあるいは下りが階段で、荷物をもっては難しくなると思います。バスはバス停まで田の中の道を暑くても寒くても 15 分くらい歩くのは大変です。今でも100円で宇部や小郡に出られると知っていてもバス停まで歩くのは気候や天候のよいときとなるとやはり使っていません。

コミュニティバス(タクシー)も佐山地区内だけなので、使うようになった時に、阿知須まで広げてもらえると使い勝手がよくなると思います。銀行や図書館、大型スーパーなど近くにあるので生活の質を下げないためにもお願いしたいことです。

山口の街中や小郡の街中に比べ、周辺部は 100 円でバスに乗るのも不便です。せつかくの制度も活用しにくいと日々感じています。

駐車場が近い所があればいいなと思います。

バス停まで行かなくても何か目印の様な物を出して乗れるとありがたいと思います。

町に出るのに近くにバス停なし。

バス／車両の小型化

都会になればなるほど公共交通機関が充実し過疎高齢化になるほど脆弱になる。儲からないとか維持出来ないとかは資本主義国家だから仕方がないのだろうけど、バスは時間と曜日によって小さい7人乗りぐらいで十分だと思うけど。1人ぐらいしか乗ってないバスを、よく見かける。 たくさんの乗客が乗っているバスなんて、見た事がない。
大きな車ではなく小型でバスを動かして欲しい、平川から山口駅に行くバスを作って欲しい。
乗っている人がほとんどいないバスをよく見るので、時間帯によったら、10人程度の電気自動車にしたらいいと思う
乗る人が少ない時間帯、誰も乗ってない大きなバスが走っていることに残念な気持ちです。
コミュニティバス程度の大きさに統一して、少ない人数でも利用しやすい本数にするといいと思います。年寄りには、小さなバスのほうが乗り降りしやすいと思います。
小さい路線バスで良い
タクシーの代金がたかすぎると思う。バスも、あまり乗る人がいないのに大型バスを使用するのはもったいないと思うので少人数用の小型バスなどを使用したらいいと思う。【再掲】
バスを見て思っているんですが、大型バスに乗っている人は2〜3人 小型のバスでも良いのでは。
子供の頃は市のバスは赤バスと言って乗る時はすごく嬉しかった思い深い市バスです。維持されるのは大変と思いますが今の大型のバスではなくコミュニティー市バスではいかがですか。いつ乗っても2〜3人多い時でも7〜8人これで大型ではと思います。時折になりますが、新山口まで西京橋から乗って上郷駅まで貸し切りでした。運転手さんに申し訳なく思いました。運転手は誰も乗ってもらえなくても動かすので大丈夫と笑っておられました。上郷で乗られた人は途中で下りられて新山口まで1人でした。たまたまかも分かりませんが、ムダだ、小型でいいのとも思います。乗った人を調べて小型にすればと思います。
高齢者なので100円で乗せて頂いて感謝です。早い遅い時間はマイクロバスです！！最終バスももう少し遅いのがあればと思います。
お願い…。新山口に着く時間を6:00着があればと思います。新幹線の6:36分に向かうので、旅行(ツアー)でも6時30分集合が多いのでお願いします。
バスは無人で動いている(運転手のみで)のをよく見かける。コミュニティーバスの様に小型化し、本数を朝と夕のみにしぼる。車の利点として行き先まで家から行けて荷物も運ぶのが楽なので、歳をとればとるほど車を手放すのが難しい。
利用者が少ない路線は、小型化に変更する等
地域全体、利用者での負担が必要。大型バスからマイクロバス等への変更・利用料金の定額性。検討、実験が必要。
高齢者の足として、バスは残していくべき。路線バスは大型でなくて、全てコミュニティバスのサイズで良いと思う。
バスの小型化を進めていく費用負担を図る。
バスを小型化にすれば良いかと思いますが…
日中の利用者が少ない時間帯は、大きなバスではなく、コミュニティバスのような小さめのサイズにし

<p>て運行間隔を狭くしてくれると利便性があがると思います。</p>
<p>バスはマイクロバスでいいと思う。大型バスは必要ない。朝の学生の通きん時間だけ大型でいいと思う。</p>
<p>路線バスがすごく大きく感じます。そんなにお客様は乗っていないのに。特にいなかは、朝夕の病院に行ったり帰ったりのお客様ぐらい バスを小さくするのも、又お金がかかるんでしょうけど</p>
<p>国道2号線の下関方面(上下線)にバスが通っていない(回数が少ない)バスの維持管理に費用がかかると思うので、全体のバスを小型化しては、どうでしょうか</p>
<p>大型のバスに乗客がいらないなあ、小型でもいいんじゃないかなあ、と見かける度に思います。</p>
<p>路線バスについて乗客が減っている現状では小型化の方向で検討すべきと考えます。世の中の状況変化(乗客の減少)に対して、対応状況が便数を減らす程度の対応にしか見えません。</p>
<p>料金をもう少し安くする。バスについては利用者が少ない時間帯は小型のバスにする。今は車でどこへでも出かけているが、運転ができなくなった時、公共交通を利用し、外出して生活を楽しまたいと思う。日常のスーパーへ行く、病院へ行くことも外とのつながりが保てるのでよいことだと思う。</p>
<p>路線バスの利用が少ないのにバスが大きい。料金を安くして、小さいバスにするべき。細い道路をバスで通っているのではなおさら小さなバスが便利だ。</p>
<p>バスの小型化も考えてスーパーの中に入れることも考えて欲しい。バスでなくても小型の車定期の数を多くする。特にスーパーに行く時間帯を考える。高校の通学も不便なところは生徒が乗る時間帯を考えて。</p>
<p>日頃運行するバスは朝以外は小型バス(コミュニティバス)のみの運行で良いのではないのでしょうか。大型で空席が多いのは気の毒だと思うから</p>
<p>①公共交通は市民全体のもので、必ず必要。②路線バスの運行は時間帯によれば乗車人数が少数のため小型バス(例えばマイクロバス)にする。③小型バスにした場合は、路線の増加ができて小回りができるので老人には助かる。④上記のようにするには民間バス会社、公共交通者、運輸省と関係者で協議されたら良い案があると思います。よろしくお願い致します。</p>
<p>昼間は、バスの小型を運行して経費をおさえてはいかがですか?</p>
<p>山口に大型バスは必要ないと感じる。必要な場所に買ってもらい、コミュニティバスよりもっと小型な(10人乗りくら)バスを路線を多くしてもらいたい。</p>
<p>これから更に利用者は減少していくと思いますので、利用料金を維持、安くするためにも、バスの小型化を進めていくべきだと思います。先日、初めて利用した際には大型のバスに対して利用者は私を含めて3~4名でした。(ほぼ始点~終点まで)環境への配慮という観点からも有効と思われます。</p>
<p>昼間の路線バスを時折見かけると誰も乗っていないことが多々あります。あんな大きいバスでなくて、もう一回りくらい小さいバスで十分なのではと思います。コミュニティバスの大きさでいいのでは…。昼間であっても30分に一本くらいの本数が欲しいです。バス停もきれいな所もありますが、ベンチだけの所も多く、せめて雨や日よけになる屋根があった方がいいと思います。</p>
<p>バスが大型のまま運行している。コンパクトなサイズにして小回りのきく運行を考えたらどうか。一度の利用者もそこまで多くないと思うので、便を増やすことを考えたらどうか。大きな駅までは地域のコミュニティバスのような小さな車で運ぶなど、二段階の輸送で、はなれた地域から便の多い駅までのル</p>

一トの数を増やすことで遠くまで乗る機会を使いやすくなりませんか。

バス／福祉優待バス乗車証

年金が少ないので、タクシーで通院するのは、生活をして行く上で、大変です。いつも、バスで(100円)で行動が出来るのが、大変助かっておりますので続けて欲しいです。バス代をもう少し高くしても続けて欲しい！！

70才になったら、バス運賃が安くなるので、利用すると思う。便利な所に住んでいるので、どこに行くにもあまり費用がかからないので助かる(タクシー使っても)。田舎だと、バス停や鉄道の駅までが遠いので、年を取ると、病院等へ行くのも大変だと思う。

優待バスは、移動手段を持たない高齢者にとってはたいへん有難く、新山口である催しにも出掛けてみようという気になったりいたします。路線バスも時間の間隔もまあまああというところで、生活できております。これからも維持して頂きたい。

バス／分かりやすく

バスの乗り方をもっと分かりやすくすると利用しやすい。行き先や経由地そして運賃など明確に掲示してであると安心して利用できる

バスを利用したいと思った時に路線がホームページでも大変わかりづらい。非常にわかりづらい。もっと誰にでもわかりやすいホームページや冊子作成をしてもらいたいし皆さんへ周知する手段も今の若い方は SNS が必須ですからそちらでのアピールなども上手にされてはいかかかと思う。高齢者にもわかりやすい路線案内図を配布していただきたい。福岡等は複雑だが大変わかりやすい。以前子供がバスを利用したら変質者に遭遇して怖い思いをしたのでバスのシートの並びなどもいかがかかと思う。電話で路線をお尋ねしても冷たい対応であったり。そのような細かいと思われる部分でも人の気持ちは左右されやすいので改善や工夫があればと思う。環境を考えたら公共交通機関を使うべきと思うし利用はしたいと常々思うが駅が遠かったり路線がわかりづらいと利用が遠のくのが現状。

バスで移動しようとバス停に行くが時刻表がわかりにくい。時刻表に各バス停が書いてあるがそれがどこなのかもわからない。(仁保の井開田など)乗り慣れている人しかわからないのでは？

バスの運行の運行状況が非常にわかりづらいので、現状鉄道に頼らざるを得ない状況。公共交通がもう少し充実していれば、マイカーの所有も少なくて済む。

定期的に検査の為・済生会病院・佐々木外科に行く為・バスを良く利用します。行きは、良いが、目が悪いので、帰りがとても困る事が多い。バスが来ても、行き先の所が見えにくい為、バスのアナウンスだけがたより。平川方面行きは、下湯田からの平川方面に曲がるので・・・また、タイミング悪いと、1時間近く次のバスを待つ事になり、そうなるとタクシーで帰るしかない。

多方面に運行するバス路線ではバス停に経路図を標示してほしい

バス停の時刻表の文字をもう少し大きくわかりやすくお願いしたいと思います。

バス路線が複雑でわかりにくい。大内は旧道の細い道をバスが通るため危険を感じる

山口県の市なのにバスに乗った事が7年前にあり山口の中央に行きたいのにバス停が乗り継ぎになっていて、乗りかえるバス停がわからなかった。それから1度も乗っていない。今は、バス停が近くはなっているみたいですが。

バス・バスが何社かあるが、一目でわかる路線マップが欲しい。コミュニティバスも行き先(〇〇まわり)など分かりにくい。

まず山口市のバスは市の職員が通勤に山口市役所まで利用、あるいはそこから自宅へ帰ってみればそのデタラメが良くわかると思う。宇部市と比較してみても、利用者の目的地の重要項目たとえば山口市営なら市役所、宇部市営は市役所でも大学病院でも、そのちがいは大きすぎる。時刻表の表示でも停留所の位置でも差は大きい。さらに路線バスが、その目的地の中に入る(中に停留所等がある)、同じ路線でも上り・下りでは停留所・乗降場所は異なり大変複雑で特に山口市役所はわけがわからない。他にもバスの事、運行のシステムの事、丸投げのバス会社と市役所の関係等いっぱいありすぎる。

バス／利用しやすく

基本的に廃止はあり得ない。交通弱者(学生、お年寄り、身体障がい者)がさらに生きにくい環境となってしまう。少ないコストで利便性を向上し、新規顧客を開拓する必要がある。例えば、公共交通オープンデータ協議会(odpt)に参加するなど…。ここには、google、yahoo 含め主要経路検索サイト運営事業が参加している。臨時ダイヤや、ダイヤ変更した際も迅速に検索サイトに反映されるほか、新規検索サイトが生まれた際もいち早く反映される可能性が高い。先日もバス停で外国人が乗り方がわからず困っていた。これも、データをオープンにすることで、新規顧客が開拓できる可能性があがる。また、リアルタイム位置情報のアップロードする機能などもあり、BUsit を運営するより安価に汎用性の高い情報を提供でき、今後 JR などとのリアルタイム連携、最近ではレンタサイクルのオープンデータも開始したため、これらの連携などでも活用できると考えている。バスのオープンデータの作成も『その筋屋』などを使えばコスト0 でデータの作成ができます。

また、自動車利用世代がバスを使いたいと思える環境を整備する必要がある。例えば、レノファと連携(試合の合間や広告、バス利用と併せて試合のチケットを購入すると飲み物 1 杯付きチケットなどの販売を行うなど)し、試合の日のバスの利用を進めるキャンペーンをしてもらい当日の近隣渋滞を減らせるとともに、試合でお酒が飲めるようになり、客の支出単価が上がると共に親子共に楽しい時間が過ごせ winwin となる。

また、雨の日は車利用率が上がる傾向にあるため、この需要をうまく拾うことができれば収入が上がると考える。例えば、通勤通学の時間に通常運用していない塾のバスやスイミングスクールのバスなど民間のバス所有会社と協定を結びバス事業法に抵触しないよう、バスのみ活用する又は運転手も時間で雇用するなどすることが考えられる。限られた資源で持続可能な開発を行うには、官民共に不要を無くし、効率化していくことが重要です。

日本中の各地域でも同様の問題を抱えており、今回の調査もまるで滋賀県で行った調査と同様のように見受けられます。何もしなければ滋賀県が進んだ道を進んでしまうと思いますが、それは市民が心から求めているものではないと思います。

バスのサービス低下や廃止、費用負担を市民に求めるのではなく、費用をかけずまだまだ出来ることは沢山あると思います。少しでも住みやすい山口市を目指して頑張ってください。私も利便性が向上すればもっと利用したいと考えています。

もっとオリジナリティを出し他県ではできないチャレンジを期待しています。是非とも山口の底力を見せてください私は心より応援しております。頑張れ山口市！！

皆がバスを利用しやすいように、運用について大胆に見直して欲しいです。バスは時間通りに来ない。バスは車より時間がかかりすぎる。個人的にはバスの揺れがすごく気になる、車酔いしやすい。バスが少しでも早く来るようにバス専用レーンを作って欲しいです。次に来るバスがあと何分で来るかが分かるインターネット上の検索サービスを作ってほしい(どれだけ急げば間に合うかが知りたい)。次に来るバスが停まる予定のバス停が地図上で一見できるようなインターネット上の検索サービスを作ってほしい(時刻表はどうしても見にくい。バスを利用して目的地に行くために、色々と考えなければいけないことが多すぎ、考えるのが面倒でバスを利用したくなくなってしまうため。)

本当に公共交通機関が必要な人が住む場所まで、路線が引かれていないバスを多く見かける。利用頻度の高い場所をグルグル回っているが、その輪に入るには、まずはバスに乗らないと始まらないと思います。

山口市の公共交通機関は、路線、本数ともに不足しており、利用しづらい。そのためマイカー利用者が増え、悪循環となっている。鉄道を増やすことは現実的ではないが、バス路線を見直し、住民が利用しやすいものとするべきである。

車の修理中、ほぼ毎日バスで通勤しました。バスの中は寒いときでも暖かく、出勤前のホッと出来る時間でした。私もいつか免許証を返納する日がきてバスや電車に毎日お世話になる日が来ると思います。今よりも便利に使いやすくなって欲しいです。タクシーをアプリで呼べたり出来ると良いなと思います。

バスをタクシーと同じように、必要な時に連絡したら近くに来てもらうようにしては？

自宅(嘉川地区)から済生会病院に通院するのに宇部市営バスから防長交通バスに乗り換えが必要(新山口駅で)だが、どちらか一本でできないか。

とにかく本数とルートが少なすぎる。駅の近くに住んでいるのに(山口駅)そこから出るバスが少ないのには驚く。また空港行きのバスを復興してほしい。そうすれば飛行機の利用も増えるのでは。

帰りの便が少ない。停留所を近くして欲しい。道路工事後遠くになった。

バス停には日よけの屋根、ミストを付けると良いと思う。

回覧を利用し、もっと声を掛けていけば良いが、その時バス停のまわりに自転車置き場があるとか、どこにバス停があるとか書いてほしい。(新しく小郡に引っ越された人が多い。)

北九州予備校から、維新ホールにぬける橋を人と自転車が通れるようにしてもらえれば助かります。病院に行く為にバスを利用したかったがバス停に行くまでに、妻の足では30分では行けません。

年寄りにやさしい町作りを。大内の旧道を通るバスは、40年以上前から、仁保から大内に行く小学生の通学用バスで利用され、あとは、病院にいかれる人達で、便も少ない。土曜日、日曜日は乗客もなくガラガラ状態です。コミュニティバスは若宮病院から香山公園行きは、スーパーアルクやマルキを通り路線近くに住民は、便利だと思います。旧道沿いは、車がないと不便です。ユメタウン→アルク→ザ・ビッグ 旧道を通る小型循環バスを。免許返納しても、安心できるようになれば、老後を暮らせればと思います。

本数が少なすぎることや主要駅(新山口)に行くバス停が遠いので不便だと感じている。

〈バスについて〉①天候が悪い時、バスが来たのかどうか(遅れているのか、運行停止になったのか)がわからず、ずっと待っても来ずに、急いで家まで帰って自転車で会社時間ギリギリで行くことになった事があった。スマホ(インターネット環境)をもっていない者にもバスがどういう状況なのか(遅れている、中止している)がわかる表示がバス停にあれば良いと思う。

②家の近くにバス停が少ない。あっても、本数が少なかったり、目的地まで行けなかったりする。もっと、沢山のバス停ができればいいのと思う。(目的地まで行けるバス停が)遠くまで買い物に行きたい時、車が運転できないので、バスをもっと利用したいと思いは強いけど、あきらめることが多い。

JRバスの停留所が、奥にあるので、公共の道路から、中に入らなくては、ならないので、不便。人の通りの多い所へ入って行くよりまだ、入口(公共)の道にあった方がよい、乗りたくても、倍の時間がかかる。乗り場所もよく解らない。雨、風が降る時には、いる所がない。考えてほしい。年寄は、あの奥までは、行かれませんか、考えて下さい。

秋穂(大海地区)は、防府方面に出かけることが多く、山口市のサービスが有効に利用できていない気がしている。免許返納した後の小郡方面への通院に不安を感じている。

現在の住まいでは自分で車の運転ができなくなった場合、買い物や病院(とりあえず生きていくために必要な場所)には歩いて行ける距離ではないのでどうしていったらいいのか先のことだが心配はしている。バス停は割と近いので便利はいいがJRバスしかなく便も少ないことにも不安を感じている。またJRバスの乗車口は段差が高く高齢者にはきついと思う。最近はバスに乗ることがないので現在のJRバスの乗車口はどうか分からないが。

市の職員が、卒先にバスを利用して行かないと、市民は意識が薄くなる。バスを利用したくても、近くにバス停が無い。新しく路線を作って、バスを走らせて欲しい。矢原~大歳~維新公園~黒川。

防長バスのICOCA導入希望。山口駅⇄ゆめタウンの本数増やして欲しい(時間がもう少し遅い便を増やして欲しい。)

小郡地区に住んでるから、市内に(湯田や山口駅方面)に飲み会の時にJRバスを利用します。湯田は、だいたいホテル方面(上湯田、下湯田)が多いからその時はバスを利用。料金は高くても便利が良い方を利用します。長門方面で飲食お酒のみたくても便利が良いバス等ないので、土、日など運行していたら利用したい。小郡地区から山口方面のコミュニティーバスの(土、日など)あったら良いと思う。

高齢化の進む時代背景を考えると、公共交通の充実は絶対必要だと考えます。免許を手離す決断は大変難しく、その主理由の一つに利便性を失うことは大きい。と言うことは、免許を手離した方が利便性あるなら認識は変わって来るとも考えられる。例えば、オンデマンドバスに近い形ですが、小型バスを緻密なルートでぐるぐる廻ってもらい、そのルート上であれば、意思表示した人を乗せる、降ろすなど。(決まったバス停も設けた上で、さらにフレキシビリティを目指す)

料金設定はバスのルート上(あるいは近接)な場所に住む人が免許を返納したら維持するよりかなり安い。逆にある年齢以上で、同エリアで車を所持すると費用が割高になるなど、、大反発は必至でしょうが、今のままでは、運航費用も欠乏し、利便性も縮小の道しかないと思うので、何かしら思い切った策は必要と思います(アンケートで潜在的利用希望者多数ならですが)。若者世代が公共交通を使うとポイントバックがあるなど若い世代も取り込む方法も必要ですね。

バス／維持して欲しい

よく見かける美称方面のバスは、日中は特に利用者が少なく、運転手さんのモチベーション維持が大変だろうと勝手に思っています。ただ、時折、外国人観光客やお年寄りが乗られていて、大事な交通手段なのだと実感します。

祖母がバスをよく利用しています。行く時は便利ですが、帰りは予定の便を逃したら30分ほど待たないといけないのが大変とのこと。それでも、こうして公共機関を維持していただけているおかげで祖母は時刻表等を駆使してあちこちに移動できています。このまま維持していただけたらと思います。宜しくお願いします。

近所のお年寄りの方もバスを利用しておられるので、完全になくなると困られると思います。私も将来、車が運転できなくなった場合には、大変困ると思います。

外出する時に、どうしてもコミュニティバスと路線バスを利用していますので、とても助かっています。

人があまり乗っていないバスを見かけると経営は大丈夫なのか心配になります。100円バスを55才位からにしたらどうでしょう？

年に数回ですがJRバスを利用しますが、運転手さんは感じのいい方が多い様に思います。現在は、マイカーが主ですが高齢になったら、日々お世話になることと思います。また、子ども達が障害者のため毎日利用させて頂いています。そのことも含め、現状のまま、維持して頂くことを願います。

バス／乗務員の態度

山口の路線バスは他県の路線バスよりも乗客への対応が良い(座席に座るまで発車しないなど)のですが、長門峡や道の駅などは便が少なく不便で困ります。

防府行きのバスを利用して光円寺で下車する私です。光円寺は私知っていました。車内案内を聞いていなかったこともあり、運転手に光円寺で降りますと伝えましたら光円寺前のバス停はアルク大内店の溝でした。バス停があまりに離れていることを不思議に思いました。

バスの運転手さんの態度があまり良くないいつも思います。

バスの車内での両替が千円までのため、私もすっかりして1万円札しか入ってなくて大変こまりました。以後必ず100玉は忘れないように注意していますが、他県から来られた方が困っておられ両替したことがあります。その時に運転手の態度がバラバラで腹が立ちました。高額での両替は何とかなりませんか？

76才の女性です。時々福祉優待バス乗車証を利用して乗車していますが、降車の時の運転手さんの態度がすごく気になります。「お世話になりました」と言って100円投入するのですが、「ハイ」と言って笑顔で対応して下さる方もあれば、シーンとして無視される方もあり、降りてから、「あー、乗って良かった。ありがたいな」と思う時と、「もう乗るのよそうかな」と思うことと、色々あります。安く乗せてもらって、わがままかも知れませんが、、、「甘えるな！」と言われてそうですね！

運転手さんの笑顔に会えた日は一日気持ちのはれやかです。

バス／高齢者対応

高齢者になると、微々たる年金で公共交通を利用するのはなかなか大変だと思います。また、バスなどは、主に主要道路を走るので、少し奥まった場所に住んでる人には近くにバス停がないとかなり不便だと思います。

バスが高齢者が乗り降りしやすいようにノンステップバスだけでなく、バス停の整備(バスとバス停の間の段差が無いように)が必要と思います。また、運転手の方が少し手伝ってもらえると助かります。そうすることで、高齢者の方がバスを利用しやすくなると思います。高齢者の方は、バスの段差だけでなく、バス停の段差も障害になります。あと、R5年7月に久しぶりにコミュニティバスを利用した時に運転手さんに親切にしてください、嬉しいかったです。ありがとうございました。

病院へ通い暮らしですので、タクシーは目的地まで行くので、この年齢ではバスの利用が困難です。

お願い！！今の私にはバスへの乗降は無理ですが、年齢が少し前には、自分で行きたい場所、友人との出会いがしたい時期もありましたが、私が歩くことが不自由になった頃、市より無料のバス券をもらって、大変残念でした。残念ですが、早く市内を訪ねたかったこと、美術館へ行きたかった、そんな老人もいらっしやることと思うと、早く、何か起こしてもらいたいです。

バス/DXの活用

ルートを変えて、団地へ経ち寄る。スマホで、乗車予約し、バスのサイズを変えて経費を見直す。

ICOCAと福祉優待バス乗車証が利用出来れば良い。※「福祉優待バス乗車証」を提示して100円で利用出来なかった…現金100円で支払うように伝えられた。2000円の回数券は2300円分あり一番経済的である～ICOCAも同様な措置が欲しい～回数券(2000円)は続けて欲しい

防長バスも早くICカードは使えるようになってほしい。

バス/その他

朝の通勤時間帯のバスの停留所の場所、もしくは、時間を考えていただきたいと思います。混雑する中、バスの乗り降り時の待機場所が車との混雑を招いています。よろしく願います。

車が必要ない社会を創ることが早道かと。新山口駅から由良駅経由で、山口テクノパークまでの通勤バスを運行するのはどうか。市がその通勤バスを、一定人数を乗せて運行すれば収入が増える。山口テクノパークにある会社はいくらかの駐車場スペースを縮小でき、新たな建屋を建設できるので、ある程度の協力金を納めてもらう。山口テクノパークにある会社の従業員は、車を所有しない選択肢ができ、資産を増やせる。一度、対象企業の従業員にアンケートをとってみてはどうか。新山口までJRを利用する通勤者が増えると当然JRにお金が落ちる。将来的には、人口が減るので、駅を中心に各施設(できれば住居郡も)集約していくことが必要。そして、過疎地を減らしていく。

路線バスは防長バスを利用しているが、乗車率が低いわりに座席数が多いため、大柄な自分は窮屈な思いをしている。座席数を減らして十分なスペースを確保するべきと考える。

90歳前ではバスしか無い

バス停から少し距離はあるが、それを承知で家を建てたのであまり不満はないけれど、地下道を通らないとバス停に出られず、大雨の時は川の水があふれ引いても地下道に砂が積もり、何日も地下道が使えない。その様な時は道路を分離帯を横切りながら渡ります。自分でもすごく恐ろしい時がある。(終バス停を利用者)

バス全般に税金を使いすぎ、山口市内でも通勤時間以外はほとんど乗客はいない

どの位 赤字(不足分)が出ているか解っていません(勉強不足)。公共交通が無くては困る人が必ずいます(高齢者、学生等)通院、通学で使う場合経由で目的到着に時間がかかるのは、困ると思う。(直通便か周遊便か)需要の実態が分からない。大内では、金成団地、小京都、管内など便が無かったり、少なかったりする地域がある(どの位の需要希望があるのか分からない)。せっかく通っているバスも空で乗客がないのも見るともったいない気がする。需要調査をしてほしい。

コミュニティバス/運賃

年金生活のため、外出するのも週 1~2 回コミュニティバスを使っています。料金が高くなるのは困ります。タクシーは、料金が高すぎるので。

コミュニティバス/ルート

山大生の頃バスで山大~大内へ行こうと思うとかなりの遠回りになり、出発が1時間以上早まったことを記憶しています。ルートも選択肢があるとありがたいです。

コミュニティバスはありがたい存在だと思います。ただ、大内の裏側の細い道を走るのは、乗る人も少なく運転手さんも気苦労が多かろうと思います。細かくたくさん停留所があるより、多少ピンポイントで構わないので便が多い方がありがたいかもしれません。JR や防長バスではまかなえない部分をコミュニティバスでまかなうのでも良いのかな、と思います。

コミュニティバスは地域のためなら、路線を地域平等に配慮すべき。同じ市民税払っています。

ゆめタウンに行くのに(コミュニティバス)山口駅でおいてそれから市営バスに乗って行かなければならぬのでゆめタウンまで直通で行けるコミュニティバスがあればいいな一と思います。

新山口駅の新幹線側に住んでいるが、この地域にはバス路線がなく自分が高齢になった時に交通の不便を感じると思う。

駅までも歩いて 15~20 分かかるのでこの地域の方面に駅までのコミュニティバスを走らせてほしい。

平川地区に、コミュニティバスを通してほしい。学生は 300 円 70 才以上は 100 円程度の運賃。

転勤等で数ヶ所住みましたが、山口は年々不便になっているように思います。数も少ない、駅まで遠い、つまり、自分で運転できなくなるということは、公共交通を使うのはもっと困難になりそうです。むずかしい事ばかりと思いますが、もっとコミバスのようなものがふえたらいいと思いますが、むずかしいでしょうね、、、

地域巡回バスをもっと増やすべき。1 時間に 1 本、1 人 100 円~200 円で北回り、南回りとか。

コミュニティバスの運行通路を増やして欲しい

コミュニティバスが通らない所がある。奥の方の方で 75 才以上の方が多くおられる。バス停まで 1 キロ位あるのにとっても困っておられた事を何回も聞きました。

大歳地区もコミュニティバスを通してほしい、高齢者はバスが遠く利用しづらい、今後(高齢になって)利用する場合、現在も高齢者の利用は少ない

コミュニティバスの運行地域を多くし運行数も増す。

コミュニティバスが矢原まで来ない

毎月 1~2 回ゆめタウンを利用していますが、コミュニティバスが通らないので歩いて 20~30 分かけて行っています。食料品、衣料品、書籍、美容室と色々利用出来るのでコミュニティバスが通れば助かります。

コミュニティバスの運行範囲を広げて欲しい、バス停まで遠い
コミュニティバスを今の範囲より広げて運用してほしい。
バス停・駅が遠く不便。コミュニティバスをもう少し増やしてほしい(中心部ばかりではなく高齢者が多い地域に増やしてほしい)
義理の母親が足が悪く長く歩けないため、コミュニティバスを利用したいと市に連絡したら、平地はまわらないと言われタクシーを使っているが、料金がかさむため、なんとかならないかと言ってます。高地の住宅街もちろんそうですが平地にいる老人の方たちもたくさんいるので、利用できるといいなと思います。
コミバスのルートを延長し、台道駅(JR)につなげると便利に利用できる。利便性がよくなると今後も乗らないつもり。ぐるぐるルートを廻り、時間をかけて、乗りかえて山口や防府に出るには少しづらい。
コミュニティバスが少し離れた所にバス停があります。そのバス停に頑張っ行って、大回りで目的地へ行くようになります。皆が都合よくというのは、難しいので、それは仕方ないなと思っています。現在は自由に車を運転して動いているのでもう少し先の問題だと思っています。
都会でしたら、人口、交通網の充実で年配者も利用しやすいでしょうが、山口市では希むべくもなく、しかたがないと思います。無駄を承知で、各方面の利用度や要望などデータを取り、それにそった方法など、費用面も大きな問題でしょうし、かなりむずかしい問題だと思います。その点コミュニティーバスなど一つの解決策だと思っていますが、よりきめ細かい路線があればと思います。
山口市コミュニティバス吉敷・湯田ルートについてのお願い。吉敷交流センターまで回ってほしい。自家用車の一時停車も出来、家族に送迎も頼みやすい。高齢者の外出の楽しみも多くなるのでは。ぜひお願いいたします。地域の皆さんとよく話しております。
今、自分が困ってない為、余り利用の仕様がわかってないが、その前に色々友達とかに聞いてみたいと思います。色々試してみたいと思います。私もよくわかりませんが、勘違いかも？JRの駅行きのコミュニティバスはむづかしいのでしょうか？スーパーとか病院とかは行きますが、コミュニティの主旨がちがってくるかも？やはり公共交通に乘車するべきでしょう。これから、色々勉強したいと思っています。
名田島は停留所が遠い所が多いので、コミュニティバスのじゅん回があれば便利になると思います。

コミュニティバス／便数

買物、病院の場合にコミュニティバスを利用しておりますので、コミュニティバスの回数をもう少しふやしてほしいです。
コミュニティバスをもっと増やして欲しい

コミュニティバス／駅・バス停までの距離

コミュニティーバスが通って欲しい道がある。利用しにくい。(停留所が遠い)
コミュニティバスに多目的路線をもうける。路線にあわせてバス停をふやす。山口市が車の移動しかない所なので県および市が真剣に取り組むこと。真剣に考えないと、これからの高齢化社会に取り残される。

地域が一定の負担とゆうのは？糸米地区に長く住んでいます。回るバスが廻ってくれればと永年希望しています。大通りの便のいい所にはバス停がありますが、住宅地までのばしていただけたらと望んでいます。

コミュニティバス吉敷湯田ルート停留所の件。防長バス204号線の葵停留所下車して吉敷方面に行くのにコミュニティバスの停留所が幸町も大橋団地入口もどちらも遠いので不便である。

矢原地区に居住しています。矢原地区は最近家が多くなった為か大変道が狭い割に車が多く、車のすれ違いにも大変困っています。市営住宅があります。せめてマイクロバスでも良いので配車していただければ大変助かります。困っている人は多いと思います。今コミュニティバスがある停留所までは足の悪い私にはとても不安で行けません。検討していただければとてもうれしく思います。

コミュニティバス／車両の小型化

コミュニティバスはもう少し小さくても良いのではないかと思います(ハイエース程度)。もしくは狭隘な生活道路の運行は見直すべきではないかと思います。

市内コミュニティバスについて、①小型自動車にして小回り・ローコストで回数を増加。現状は大きすぎる。②路線を分かり易く、単純化すること。

コミュニティバス／分かりやすく

不確かな記憶ですが何かの都合でコミュニティバスを利用した時にバスの中から外が見えないので降りる場所がわからず放送の声がバスの中から外が見えないので降りる場所がわからず放送の声が(バス停を知らせる)聞こえなくてビクビクとして困った事があり年齢的な事だと思うのですが言葉をはっきりとして下さると安心です。

コミュニティバスの路線や使い方がわからない

コミュニティバスの路線図や時刻が、今の表示だとわかりにくい。もう少しわかりやすく書けないものか。

コミュニティバス／利用しやすく

地域によってコミュニティバスは通っていないしバスの便も少ない所がある

免許の返納の時がだんだん近づいてきました。コミュニティバスに乗るようになると思います。その時、便利なバスとして期待しています。以上。

コミュニティバスの運行区間(路線)を増加すれば利用回数も増すと思います。又、JR 駅への立ち寄りもあれば利用者も増すと思います。

コミュニティバス／維持して欲しい

コミュニティバスは大変有効なもの。引き継ぎ継続してほしい。

市バスのコミュニティも停車しています。感謝です。西光寺

コミュニティバスを利用していたこともあるが、非常に助かった。団地の近くにバス停があり、それも助かる。高齢者もご利用されており、継続した方が良い。

コミュニティバスのお陰で大変助かっています。続く事を切望します。91 才女性

コミュニティバス、お安い金額で利用させて頂いて大変ありがたく思います。続けていただけると、大変助かります。利用される方が多いと良いのですが。

70才以上100円でバスが利用できるのは、ずいぶん助かってます。
特にコミュニティーバスは歩いて行ける範囲等にバス停があり
すごく便利で利用させてもらってます。先で免許返上になりますから
いつまでもコミュニティーバスを継続してほしいです。

バス停が近くにあるのが嬉しい。コミュニティーバスはありがたい。無くなったらとても不便。心配になる。
交通安全フェスタに毎回コミュニティーバスを利用して参加しています。家族交流できるイベントが増え
ると、活性化にもつながると思う。年配になると、公共交通機関の有難みがとても分かるようになると思
う。必要性大です！！

コミュニティーバス／その他

外の見えないのりものには不安を感じる。(運転席からは当然見えたが、一番前に座っていたので)
何の為に外が見えないようにされたのか知りたい。宣伝(絵)のため？

生活バス／維持して欲しい

生活バス等は今後も維持される事。

私は生活バスがなくなると病院に行けなくなります

コミュニティー交通／ルート

免許返納した場合、公共交通機関の利用となる。鑄銭司は、東西にのみバス・汽車が利用できる
が、南北の連絡がないので、不便である。タクシーが考えられるが、コミュニティーバスの運行をお願い
したい。

嘉川コミタクについて、本数が少なく、新山口駅まで利用できない。新山口駅までつながっていない
ことで、利用者が少ないと考えらる。

高齢者や運転困難者のために目的地までのコミュニティーバス、シャトルバスみたいなのが、地域ごと
にあるといいなと思う。

コミタクについて。宮野に在中していますが、地域にある病院まで必要だと思いますが、老齢の方々
は、大きい病院に行くことも多く、せめて日赤口まで利用出来たら、とてもありがたいです。度々タクシ
ーでは年金生活者には日々の生活にかかわり、足が遠くなり、体の不調が進む事を悲しくなります。
鉄道利用は駅まで自分で行く事が出来ません。残念です。高齢とはこの様なものなののでしょうか。夫
の空き時間を利用させてもらうしかありません。

コミュニティー交通／便数

吉敷地区で買物にコミタクを利用し大変幸せしているが、できれば、午後も運行して欲しい。

コミュニティー交通／接続

この問1にも書いておりますが、コミュニティータクシーとJRバスの時刻がずれて来るので、けっきょく
帰りにJRバスをおりたのち、タクシーで帰らないといけなくなるのでこまります。コミュニティータクシー
とJRバスの時刻の連携がうまく行けば、赤字になることも、ふせげるのではないかとつねづね思っ
ております。よろしくお願い致します。

コミュニティ交通／分かりやすく

阿知須はコミュニティータクシーがあるので、とても助かると思います。私も車の免許を返したあかつきには是非利用したいと思っております。今までの公共交通の乗り方がわからない人がいると思います。路線のこととかわからない場合、詳しく説明してくれる人がいると助かります。(目的地に行く場合等、どこで乗りかえるかとか不安があると思うので…)

※例えばわかりやすく書いてある地図とか。

コミュニティ交通／高齢者対応

JR やバスは必要と思うが、高齢者には地域で支えあうコミュニティタクシーなどの仕組みを考えていくことが有効

コミュニティ交通／行政の交通政策

コミュニティバスが廃止され高齢者は困っているはず。定時の運行は利用者減少で無駄があるので、税金を活用し、高齢者のタクシー運賃を補助するなどの仕組みを考えてあげてほしい。免許返納などの一助になるため、80 歳からでも良いと思う。

コミュニティ交通／その他

共助タクシーを地域で設立して高齢者の見守りにつなげる

昔は自家用車もなく、学生の頃は、バスや JR を利用していた。高齢者は足腰に不安があり、バスを利用するのは不安がある。地域で乗り合いタクシー(バス)を利用して、学生や老人に利用しやすい公共交通を考えてもらいたい。

地域で乗り合いバスがあると、これからの高齢化する中で、買い物や病院などバス停から歩かずに行ければ、荷物も多なくても負担なく買い物等楽しめお金のじゅんかんにもつながるのではないかと？地域ごとに日時を決めたり、利用出来る日をみなに周知することが出来たら利用する人もいるかも？！年をとってから出かけやすい県になって欲しい。他の県に比べ非常に交通の便が悪いと思う。

タクシー／運賃

タクシーの代金がたかすぎると思う。バスも、あまり乗る人がいないのに大型バスを使用するのはもったいないと思うので少人数用の小型バスなどを使用したらいいと思う。

自宅が坂の上の団地の為、利用するには駅、バス停まで行くのに(帰りも)体力が必要なので、団地の中にバス停があれば気軽に利用できるのにと常々思っています。タクシーは料金が高いので、利用できません。【再掲】

車の運転ができなくなるとタクシー利用が主となりそうな気がする。1 カ月に固定料金を前払い(会員制)して、市の補助とあわせて、いつでも(予約可)どこまでも(上限あり)利用できる制度があると便利。タクシー会社にも月に固定料金が入るのでメリットがあるのではないのでしょうか。

タクシー料金がバス料金位に安くなればたくさん利用したいと思います…

ローカル線にゆられて、のんびり旅をしたい歳になりました。新たな発見等もあって楽しいかもしれないですね。

もっとタクシーを利用することで料金も安くなりドアトゥドアがで便利になる

タクシー料金が高い

バス停も駅も遠く使いづらい。本数も少なく時間にこまる。タクシーの料金を老人には安くしてほしい。

高齢者(75才以上)の食品の買い物、病院への往復に月2回とかで良いのでタクシーが半額で利用できるとうれしい。

タクシー：現行の運転卒業証制度のタクシー支援について。タクシー1割引の割引に引き上げる、または秋穂・二島地域にもコミュニティタクシーをつくってほしい。(結局行き先は小郡方面になり、秋穂・二島地域限定の区間での利用者がどれだけいるか、という話になるとは思いますが…)。タクシーの回数券の配布：免許返納時にタクシー1割かコミュニティタクシー運賃100円かタクシーの回数券かを選べるようにして費用削減。

タクシー／利用しやすく

高齢者はタクシーを呼ぶにも手間がかかるため、簡単な方法があれば良い。

タクシーの数が少なくすぐに利用できない。

タクシーの予約がなぜとれないのでしょうか。朝7時前にかかるようタクシー会社に言われます。

タクシーも思う時になかなか乗れない。運転手の方が少ないようです。

昔と比べてタクシーの台数が減った気がします。先日、土曜日の夕方、湯田でタクシーを探したがダメでした。

私は高齢者(70才)と疾病のため、戸口から戸口への移動のためタクシーを利用する機会が多く近頃は運転者不足で、少々不便である。

タクシーが必要な時にいない(山口駅)。あてにできないので、利用しない状態。

柚野地区でもタクシーがあれば便利だと思います。鉄道(JR)の駅まで(名草)2km以上。路線バス停留所(9号線)まで2km以上

買い物先は徳佐、病院先は地福・徳佐・山口など。

車を運転出来なくなった人の為に、もっと気軽に利用出来るタクシーの方が幸せる。バス停までの徒歩が大変になると思う。

タクシー利用について、今後ますます要求が増加するし、便利度がよいからこのタクシー制度を検討し充実する必要あり。自己負担(適切な)は当然必要です。

タクシー／維持して欲しい

タクシーは、骨折等大怪我をしたときは大変便利で、通院等高齢の親に付き添えないときも目的地まで安心してお願いできる交通手段だ。民間経営で高齢化が進み存続も危うい。税金等優遇措置があってもいいのでは。

今は、マイカーですが、そのうちは、バス停が遠いし、タクシーを利用し、出かけた時、に生活用品も買って帰ることになると、タクシーかなと思います。

人口が減少している状況で、公共交通機関を維持する事はたいへん難しい事だと思います。山口県の場合、高齢になり、自家用車の利用ができなくなった場合、私は、タクシーを利用すると思います。

タクシー／乗務員の態度

自宅近くに大阪から観光に来られていた方がタクシーを呼んで場所を伝えても分からないと来てくれなかった、と言います。

駅まで(遠い)歩くから教えてくれないかと声を掛けられたことがあり、その時は夫が駅まで送りました。目印のない辺鄙なところではないので、行きは来れたのに帰りはタクシーが来られないというのはどういふことなのかなと思いました。

利用したことはないですが陣痛タクシー(女性ドライバー)があるそうで、それぜひ続けていただきたいなと思いました。

タクシーで移動距離が短い時利用しづらい、運転手が嫌な顔をする時がある。

タクシーは、近いと近すぎると文句をいう人がいるのでできるだけりたくない。

タクシー運転マナーの悪さに閉口する、バスでさえ信号無視等をよく見かける、利用したくない理由の一つである

タクシーの運転マナーが悪い。

以前新山口駅からタクシーを利用したことがあるタクシー会社の対応がかなり悪かったです(交通事故をした後に公共交通を利用し駅まで帰ってそこからタクシーを利用しましたが、運転手に、近いのだから歩いて帰れと言われ遠回りされました。サービス業なので接客をしっかりとっていただきたい)。

タクシー／DXの活用

無人タクシーの採用を推進してください。

車の修理中、ほぼ毎日バスで通勤しました。バスの中は寒いときでも暖かく、出勤前のホッと出来る時間でした。私もいつか免許証を返納する日がきてバスや電車で毎日お世話になる日が来ると思います。今よりも便利に使いやすくなって欲しいです。タクシーをアプリで呼べたり出来ると良いなと思います。【再掲】

タクシー／行政の交通政策

自動車を運転することが不安で少なくなり、免許を返納したいのだが・・・タクシーを利用するのに割引券等があると年金者には助かります。医療費より交通費(タクシー代)が往復必要になるので通院が多くなると不安です。

高齢者等にはタクシー利用をするための補助を検討

私は高齢者です。いつもタクシー券を頂きありがとうございます。

足が悪くて、やっと日常生活を維持しており、友人に助けってもらって買物や病院に行っている。いつまでも続かないと不安に思っている。タクシーの割引や補助があると助かりますので、ぜひ高齢者の為に市として制度化してほしい。

バス停に遠いため、グループタクシー券をもらっているが遠くにいても一枚300円しか使えない。2000円以上だと3枚使える等にしてほしい

タクシー／その他

タクシーは必要と考えてます。合理的です。距離で金額出るし、こちら車でも来れないまたは移動手段がないから利用するので、お金で時間だったり手間を買う。理解度がはっきりしてると思います。

山口市は公共交通が不便なのは仕方がない。買い物と病院はタクシーオンリーです

タクシーチケットがなくなった事で会社の経理としては、大変管理がしずらく、タクシー利用をなるべく減らすように指導する場合あり

私は、最寄のバス停までは山口市グループタクシー利用券を利用しています。利用するのは病院行きです。行きは病院まで、帰りは最寄のバス停まで(新山口駅でのりかえ)バスを利用し、そこから自宅までタクシーを利用しています。

公共交通全般／運賃

都会に行ったら安くて便が多い とにかく安くすべき

都会並みに市内 100 円均一ならどんどん利用すると思います。山口市では無理だと分かっていますが…

日常生活のため店などが集中している中心地に行きたいが遠いので移動手段が高額になり負担が大きい。遠隔地に対して割引や補助のようなものがあれば助かる。

山口市は公共交通機関が少なく、利用に不便だと考えています。またタクシーも割高で、特に子育て世代には利用は不向きな印象です。もし利用運賃が安くなるようになればいいかなと考えています。

山口線は新幹線との繋がりが悪すぎる。本数が少なすぎる。行きたい場所が駅から離れている。バスは高すぎる。

山口駅～新山口駅間の公共交通運賃を安くしてもらいたいと思います。(JR は安い、バス・タクシーは高すぎる)

年金生活なので、これ以上の負担は困る。

高齢者、年金生活。通院のため、料金かさみます。

高齢者になると必然的に自動車に乗れなくなる。そのためには、公共機関を利用しなくては行けない。外出が自由にできる様、バス・タクシーの割引き券を配布するとよい。近くにスーパーないため、高齢者は不自由している。皆が外出することで、町の活気にもつながると思う。

公共交通全般／ダイヤ

本数がないことが本当に不便です。でも時間を潰せる場所も近くにないし…また、バスの路線が絶妙に行きたいルートで通ってないこともあります。実習等で自家用車が使えない場合に公共交通機関を使いますが、値段と時間が微妙だとよく感じます。人が少ないので難しいとは思いますが、もっと使い勝手がよくなれば、とは思いますが。

マイカーをもっていない学生としては、公共交通機関はとても重要な移動手段のため、毎回ありがたく使わせていただいています。しかし、行きたい時間にぴったりの便がない時は少々不便に感じます。また、バスの路線表が見にくく感じます。

仕事で遅くなると公共交通が無い状態となるためどうしても自家用車利用となってしまいます。

運行本数が多い方が良いのは確かだが、利用者が少ないのならどの時刻に運行すれば不便が少なく出来るのかを練り込む必要があると思う。

バスは時間あわない。タクシーはお金たかい。よい所なし。

便数が少ないので利用しにくい。夜の便(JR 山口線)特にバスは利用できない。最終時間が早いので検討して欲しい。

公共交通全般／ルート

鉄道、バス、タクシーの連携が図れていない。特に山口線。鉄道を軸に魚の骨のようにバス、タクシーのネットワークを張り巡らすべき。そもそも山口市は商業施設を含む都市機能が分散しすぎ。

公共交通全般／便数

都市部のように車を使わなくても生活ができるとよいと思う。

とにかく便数が少ない。運賃が高い。

1時間に乗れる本数をもう少し増やして欲しいです。

電車、バス共に本数が少ないのが一番欠点。田舎なので仕方ないが高齢化が進む中、何とか負担の少ない移動手段を考えて欲しい。乗合無人タクシーの様な物も検討すべきだと思います。

免許を返納した時に利用したいから、利用本数をあまり減らさないで欲しいです。

都会のようにとまでいなくても、もっと本数が増えたり路線が増えたり金額が安くなったりすれば、使う人は増えると思う。いまは山口県内に住んでいる以上、車で移動できないことは就業も含めほぼ何もできないに等しい。とくに高齢化が著しい山間部などは公共交通機関も整備が遅れていて、そこに住んでいる人はどうやって生活しているんだろうと思う。自分がそのくらいの年齢になったところで公共交通機関がより使いやすくなっているとは思えないので、いまから駅に近いマンションを購入して、車が使えなくなっても生活しやすい状況を作る予定。もし多くの人がそう考えたとなると、人口が都市部に集中し、公共交通機関の整備が遅れている地域(=山口)には人が住まなくなると思う。

バス、JR、全ての公共交通機関利用本数が少ないので利用しようと思う気持ちになりません。

運行本数の少なさ

運行本数が少ない

運行本数を増やしたら利用が増えるかも

祭りやレノファの試合など、イベントのスケジュールに合わせて、電車やバスの本数や車両を臨機応変に増やすことで利用も増えると思う。

本数の少なさ、気象条件による運行停止が多すぎる。

1時間に一本程度なので使いづらい

全体的に鉄道、バスともに便数を増やして欲しい。特に、通勤通学、帰宅時間はそうしてほしいと感じる。

私の立場からの視点ですが、現在、大人2人、子供2人で住んでいて、車2台を保有していますが、車の維持費を考えると、車1台で生活できるといいと思っています。そのためには、公共交通(鉄道・バス)の便数が増えることが必要だと思っています。市街地から離れた場所に住んでいても、レンタカーを借りやすかったり、近所の人達とカーシェアリングができるシステムがあれば、1台車を手離して、今より公共交通(鉄道・バス)を利用する機会が増えると思います。多くの人がマイカー利用から、レンタカー利用やカーシェアリングと公共交通利用との併用に移れば、公共交通を利用する人が増えて、公共交通を維持しやすくなるのではないかと思います。コロナは五類になりましたし、今までマイカー利用だった人も、たまに車が利用できればいいという人も、もしかしたら多くいらっしやるかもしれません。朝だけでもバスの便数が増えたらいいです。大雨の日など、中学生が学校までバスで行けると便利です。学校まで家から遠い子は、親の車で送り迎えをしてもらうことが多いです。

今、私は、自分で車を運転して食料品の購入や、医療機関の通院をする事が出来ますが、もっと高齢になると、それはかなわなくなると思います。そこでバスやJRの利用でいろいろの事のかたづけをしたいと思います。人口の減少でバスもJRも利用したい便が少なくなっております。何か工夫をして頂き、もう少し便の増加をお願いしたいと思います。

車を利用しているので、公共交通機関はほとんど利用しませんが、元気なうちにぶらっとバスとかJRで旅(1日、日帰り)してみたいと思うのですが、本数が少ないのでぶらっとはいけないなと思ってしまいます。

運行本数が少ない。

鉄道は宇部線の本数を増やしてほしい。バスは国道9号線に店や医院他が沢山あるが、車に乗れないので路線バスを是非もっと増やしてほしい。

鉄道、バス本数が少ない

買物や病院に行くにも便が少ないので困っている。

本数が少ないので不便です。

運行本数が少なく、長時間(行き帰り)要することで大変不便に思う

列車にしる、バスにしる便数が少い為利用しにくい。

公共交通機関の運行本数が少ないので、利用できない。

公共交通全般／接続

電車とバスの時間があってない。余裕がないと電車に乗れない。電車の出発とバスの到着の時間が同じ乗れないので、次の電車が来るまでまたなければならない。遠い所から出かけるので乗れるように合わせて欲しい。

鉄道から降りた時に乗り継ぎのバスの待ち時間が長い。鉄道とバスの連携が悪い。

便利を示すため、駅での鉄道とバスの連絡を良くし、両者の関係を密にするようにしては、両方で生き残っていく方向で行政機関に対処してもらいたい

公共交通全般／駅・バス停までの距離

存在が希薄なので気にした事がない。もっと停留所や駅を増やせばいいと思う

鉄道、バス、にしても、今の住居からは便利が悪く利用しづらい！

駅、バス停まで歩くとすれば15分～20分ぐらいかかる。歩行が困難になった時、タクシーを利用すると、お金も(年金生活者にとっては苦しい)。どうすればいいのか、解決策が分からない。

公共交通全般／車両の小型化

燃費の良い乗り物として維持していくこと、小型化を考えていくこと、この2点です。

人の乗っていない鉄道やバスを見ると、もったいないとは思いますが、山間地の交通の便の悪いところに住んでいる人達のことを思うと、どうにかならないか…と思う。バス、鉄道はもう少し少人数用のものを走らせ、山奥の方の人でも、乗り合いで、週1走らせてくれる小型タクシーみたいなのがあってもいいのかと…

公共交通全般／分かりやすく

バス、タクシーは乗り方、呼び方、駐車場の場所、料金支払い方などわからない点が多いので極力使わない

普段は、駅やバス停が遠いという理由で、電車やバスを利用しないので、いざ使おうと思った時に、時刻表がなかったり、路線がよくわからなくて困ることがあります。公共交通機関がもっと便利に、もっと身近なものになると嬉しいです。

ホームページにわかりやすい時刻検索システムを作るべきです。時間がわからない、調べるのが分かりにくいと利用しようとしていた人も利用できないと思う。

鉄道による公共交通としての役目は終わっていると思う。鉄道は停車駅がわかるが、バスは停車場は記載されていてもそこが自分の行きたいところかわからない。

自家用車がないと移動が不便であると感じている市民が大多数であると感じる。実際に鉄道やバスを活用すると便利な場面もあるとは思のだが、不便そうというイメージから仕方ない場面以外はなかなか選択肢に入っていない。特にバスについては路線がどこを通っているのかが分かりにくく、バス停がどこにあるかも分かりにくさを感じている。実際の地図上に走行ルートを表示するなどのサービスがあると分かりやすいと思う。また実際便利だとしてもそれが周知されていないと思う。

公共交通のルートがわかりやすい様にしてほしい。日頃はマイカーで移動しているが、年齢を重ねていくうちに、バスを利用してみたいと思っても、料金が高かったり、どこからどこまで行くのか等の情報がないので乗ることができない。

路線がよくわからない。

鉄道は時刻表があり必要時間もわかる(販売されている)、バスは時刻表がないまた止まるところもわからないまた経路も不明。地図付きで経路や留まるところを表示した地図が欲しい。終着でもいろいろ経路がある。どこを通るのか？どのくらい時間がかかるのか？」どのバスに乗ればいいのか？税金でできないのなら時刻表を販売すればよい(地図付きで)。とにかく時刻とどのバスに乗ればいいのかどのくらい時間がかかるのかが全く分からない。タクシーについては地区により呼んで来やすいタクシー会社とTEL番号、時間についても早朝や深夜など呼べるタクシーは？とにかく情報を配布してほしい。鉄道は時刻表がすべてわかる、バス、タクシーは情報が無い、その度にTELで聞かれない見に行かれない。利用しやすいことがされていない

鉄道やバスの時間表が変われば各家ごとに配ってほしい。乗りたくても時間調べるのが老人はむづかしい。

市外から山口市に来ましたが、どの便でどこに行けるのか全く分かりません。今後、子ども等通学など利用する機会も増えそうですが、その時に色々調べてからの利用になりそうです。

公共交通全般／利用しやすく

本数を増やしたり、バス停に日差し避け等を設置するなどして利用を増やせるようにして欲しいです。バスや電車の利便性がよくなれば遠方から来た大学生や高齢者の利用も増え、若者の移住や、高齢者の免許返納が見込まれるためより暮らしやすくなると思います。

大学入学と合わせて山口に引っ越して来ましたが、免許を取るまでは自転車か電車が主な交通手段でした。開通エリアや本数が少ないため、アルバイトの時間に影響が出たり、移動が困難だった記憶があります。

運転免許を取得してからは高齢者の無茶な運転が目がいくようになりました。手をあげれば無理やりでも割り込んで来たり、昨今では逆走などの危険運転もニュースで見かけたりします。交通の不便以外は山口は居心地のいい、暮らしやすい街だと思います。

<p>電動車椅子で電車やバスで移動したい</p>
<p>もっとバスや電車の環境が整えば自家用車の利用を減らすことができる。</p>
<p>高齢化社会が加速し、高齢者による交通事故が多発している今、環境のためにもなるべく公共交通機関を使用するように行政がもっと力を入れて取り組むべき問題だと思う。調査結果を反映させて、コミュニティバス路線を増やす、乗合タクシーを活発化させるなど対策をしてもらいたい。</p>
<p>高齢者の移動手段としてはバスは停留所までが遠かったり便が少ないこともあり、通院や買い物にタクシー利用されている方が多く金銭面でも負担が多い。観光客にも不便だと思う。生活するには車がないと何も出来ない不便さがある。子供の通学にも駅までの送迎が必要だったり課題は多いと思う。</p>
<p>環境面からも皆が自家用車を使わないように考え、公共交通を皆で利用して支えていかなければならないのは分かっているが、生活時間の関係や体力の関係もあり難しい。</p>
<p>交通系 IC カードが使えるようになったのもつい最近のことで、インフラ整備が山口は遅れていると思う。利便性が向上しない限り利用者は増えないと思います。</p>
<p>鉄道については、本数が少ないので利用がしにくい。バス、タクシーについては料金が高いので利用しにくいです。でも車の運転をしなくなったら利用したいと思います。</p>
<p>山口は車がないとどこに行くにも不便なのに、公共交通機関をもっと使えとか無理がある。そう言うなら、もっと使いやすいように走らせて欲しい。ぼくは高校生だけど、卒業したら、もっと便利な地域に住みたいと思う。生活の幅が広がると思うから。車が買えなかったりすれば、なんにも楽しくない</p>
<p>身近に利用できる環境があり、本数や夜の運行などが充実していれば利用がしやすいが、現場では使いにくい。</p>
<p>鉄道については、都市に比べて駅間の距離が遠いし、本数が少ない。乗客が少ないから本数が少ないとは思いますが、本数が少ないから利用しない。という悪循環になっていると思う。バスについては、運賃が高い。</p>
<p>現状では駅もバス停も遠く、便も少な過ぎて、お酒を伴う外出をしようにも出来ない(代行業者も無いに等しい)。せっかく市内、湯田のあたりは飲食街も充実しているのに、行きたい人がいるのに来てもらえないというのは経済的な意味でも損失に繋がる。それに関連して、今のところ第二の移動手段となると駅だが、駐車場が無いので第三者の送迎でしか行けないのは腑に落ちない。タクシーもバスも時間とお金もかかる。車用の駐車場が無理なら、電動自転車などの小型の移動手段に対応できる、駐輪場プラスアルファの駐車スペースだけでも増やして欲しい。</p>
<p>交通アクセスが充実している街は経済も活性化すると思う。専用道路によって、宇部～市内側へのアクセスは良いが、降りてからの町中は車の渋滞が酷すぎて、休日に出掛けようと思えない。従来の本数も少なく大きな箱での移動手段は田舎では利用価値は得られない。最近では小型のミニカーもよく見るようになった。</p>
<p>タクシーやバスも、環境にも配慮した上での小型化や、時間もよりフレキシブルな形に変わって欲しい(例えば AM〇時～PM〇時までは何種類かのルートを常に回り続ける、アプリで人数と行き先を入力したら近くにいるタクシーやバスが来るといったような)。利用者からすると、移動手段の会社を最初から選ぶではなく、1番最短で使える会社を選びたい。あるいはどこに空車タクシーやバスが走っているのかを可視化できる仕組みでも良い。会社の垣根を超えた、IT を利用した環境づくりに期待</p>

<p>したい。ドライバーの確保という問題もあるので、自動化運転を見越した道路整備も必要になるのではないか。</p>
<p>田舎なので学生や高齢者が利用しやすい交通インフラを整備して欲しいです。</p>
<p>公共交通機関を利用したくても、駅までの乗り継ぎが不便なので、運転出来なくなつてからの外出に不安がある。</p>
<p>主に利用したいと思う週末の夜間はどの公共交通機関も利用できない。行きはまだ利用が可能だが、帰りになると終電も早く、タクシー乗り場にタクシーはおらず、連絡してもタクシーはつかまらない。新山口駅周辺がなかなか賑わっていないのは、そういう交通の利便性の低さではないかと思う。</p>
<p>観光を主要産業に掲げていながら交通の便はお粗末としかいいようがないレベル。コミュニティバスなど低コストで運用できる公共交通機関を増やして利便性の向上に努めてほしい。さらに宇部空港への直行便も開設すべき。</p>
<p>普段、身体の不自由な家族と暮らしているので、公共交通機関を利用することはほとんどありません。一緒に出掛けたいものの、バスのステップが高く足が上がらないと嫌がり、タクシーでは車高が低いものばかりで、屈むのが辛く、頭がぶつかつたりと、出掛ける行動が阻害されるようなことがあり、結局自家用車になるので、公共交通機関の利用を促すのであれば、このような弱者がいるということも考えてほしいです。</p>
<p>飲みに行った後に代行で帰る場合、料金が高すぎて利用しにくい。代行料金を考えると飲みに行くのを我慢するようになり湯田に行く機会が減ってしまう。飲酒運転を減らすためにも夜間専門のバスや、格安タクシーなどで帰ることができればもっと、飲食店にお金を使うと思う。</p>
<p>田舎だから仕方ないが本数が少ない。バスの料金が高い。車が運転出来なくなったらタクシーしかない。</p>
<p>バス。元々福岡に住んでおり、ある一定の区間を定額で乗れるようにして欲しい。もちろん市内だけじゃなく乗った場所からの距離で、15キロ300円程度に。10枚綴りの3000円で買えるチケットがあるから、実現できるのでは？また、未就学児のいる保護者に100円の優待券を配ってもよいのでは？70歳以上の方が、もらっているのだから、可能ではないでしょうか？</p> <p>防長交通。まだ交通系に対応してないのが不便です。</p> <p>JR 電車。山口駅でチケットを購入する際、新幹線のチケットを窓口で購入していたが、窓口で、買えなくなり不安で、JR 利用するのに、少し抵抗を感じてしまった。利用に抵抗を感じてる方もいられないと感じました。</p> <p>タクシー。料金がいくらかかるか心配でほぼ利用してないです。</p>
<p>雪の日にバスが動いていて、冬タイヤを穿いてなかったのがバスに乗る選択肢があり、助かった事がある。車がないと移動に困る範囲の広い地域が多く、将来車を手放さざるを得ない時期が来たら公共交通を使う機会が増えると思う。その時に、いろいろな選択肢や使い方が出来るようになって欲しい。</p> <p>観光フリーパスのように、出かける1日のみに誰でも購入できる1日タクシーパス、1日バスパスとか。買い物した荷物を安く送り届けてくれるサービスとか。バスだと、はしごして買い物できないから、バスタクシーフリーパスとかなら、行きはバスで帰りはタクシーとかで使えると楽かも(エリアをある程度絞って、きっぷや料金を気につけない地域住民用のプラン)</p>

防長交通山口営業所の近くに住んでいます。車庫から出入りするバスは多いのですが(コミュニティバスも)、ほとんどが回送で乗車出来ません。また鉄道を利用しようにも新山口駅行きは多いのですが、山口駅へはJRバスの一部のみです。湯田地区へ飲み会に行っても帰りの時間がバスは早く終りJRも23時台(しかも山口まで)遅くなったらタクシーか迎えに来てもらうしかない状態です。今はまだ自分で運転できるのですが、さらに歳を重ね運転が難しくなったら途端に不便になります。今のうちに公共交通をもっと便利にして頂きたいと思います。便利になればもっと利用したいです。

安く、本数が増えれば利用者が出来る。

高齢者にとって「鉄道」は旅行以外は使いにくい。自宅から駅までの移動が困難・駅に近くない人は駅までの別の移動手段が必要。荷物を持って移動が困難。

「バス」ステップが高くて足が上がらない。杖を持っては乗りづらい。荷物を持って乗り降りは困難。

「タクシー」便利だが費用がかかる。年金生活では節約しないと生活ができなくなり、タクシーも考えて使用しなければ費用負担が大きい。

子供3人もつれて、公共交通を使用するのは正直むづかしい、高い。

鉄道、バス、タクシー全てで利用できる統一されたチケットがあると便利。70才以上が利用できる高齢者割引は一度も利用したことはない。何となく利用するのに抵抗がある。バスだけでなく、鉄道、タクシーも均しく割引がきくとありがたい。コミュニティバス・タクシーが運行されているが、収入不足を市の税金で補填することは問題。運行するのであれば、それ自体で収支が完結すること。タクシーを上手く利用することもひとつの方法では。但し、タクシーは乗務員不足と多く。市が乗務員育成に本気で取り組んでもらいたい。バスの乗務員もイコールで公共交通がなくなる不安がある。

山口駅に新幹線の駅があれば、盆地内も今、以上に栄えていたかもと考えられます。山陽側から奥まった所に有るのだから、山陽側へのバス、鉄道が便利になれば、いいなと考えています。

問28で①に丸をしましたが、あくまで理想です。今まで色々な地域に住んで来ましたが、山口市は交通の便がとても悪いと思います。なので、自動車を使う人が多いから、ますます交通の便が悪くなる悪循環です。とりあえず、山口線と市内のバスの本数を増やさないと利用者は減り続けると思います。そして運転できない年齢になったときに困ると思います。本数が増えれば利用者が増えるかというと、なかなかうまくいかないかもしれませんが…それと、くるくるバスのルートも中心部優遇のような気がします。

バスに乗車した際に感じたこと。私語はいけない、携帯の私使用するな…で、重苦しい雰囲気、バカされてもちろんよくないが、コミュニケーションの場であっても良いと思うが如何なものでしょうか？

鉄道は安全なので、存続させてほしい。年をとったら腰かけて休みたいが、バス停にはないことが多いので利用できない。年をとったらバス停や駅まで歩いてでれない。

利用者にとって利便性の良い公共交通を整備できれば、公共交通を利用する人が増え、必要なコストをまかなえるようになると思う。また、自転車を利用しやすい街づくりをして欲しい。

おかしな独り言ですが…当事者にならないとわからないということ・新山口駅ではアルク前から歩かなくてははいけません・宇部からバスで帰ったときの話…タクシーに乗ろうと思わずに新山口駅に行ったらそこでタクシーがおらず30~40分待ったとか

本数が少ないため、待ち時間が苦痛、障害者は、利用しにくい。タクシーは、呼んでもすぐに来ないし、料金が安い。

私はもともと関西に住んでおり、山口に引っ越してきて 20 年…。山口に来た頃は、普通に広島で働こうと考えていました。なぜなら私自身が奈良県にすみ、大阪で働いていたから。それと同様の考えて山口にすみ、勤務地は広島にと。ところが、広島どころか山口から宇部に行くのにも電車もバスも数えるほどしかなく、昼間なんて 0 本な時間帯も…。それから運転免許を取得、山口県の公共交通に対するイメージは全く変わっていません。山口の公共交通は学生と高齢者と一部の会社員さんのためのもの…。一応朝と夕は多めに走らせておこうなイメージ。不便、一応あるけど市民全体のものではないかんじ。個人的には公共交通派なのでいつか老若男女にとって便利になっていることを願います。あと、観光客(一人旅や個人や旅をしている方々)にも優しい山口県であってほしいです。

鉄道:利用するには、駅が遠すぎる。バス:利用するには、バスの便が少なすぎる。タクシー:利用するのに、乗務員のマナーが最近低下していて、定刻に来ない。態度が悪い。

活気づくためにも公共交通は充実してほしい。

10 年前の鉄道バス互換性等、便利になってますか。自動車の運転出来ない人人口減少年老いた人住民 1 人 1 人が田舎暮らしはこんなもんだとあきらめの心境です。

コミュニティバスは運転免許がなくなったら利用したい。現在自分の親が利用しているので便利だと思う。タクシーは「乗り合い」などがあればいいと思う。バスは荷物が重い時など大変だから…。

鉄道では駐車場が遠い。バスを利用したくてもバス停まで 1,5k 位あり、近くに駐車場もなく、帰りが夜になる時は、便がない。タクシーは料金も高いし、遠くから来もらうことになる。

近くにサルビア号が停まる所があり、安心。つづけてほしい。美祢線についても再度修復されることが望まれます。ぜひ、地域学生等が安心して利用し、平等に教育を受けられる環境にもどりますようにと希望しております。

利用するということは、目的があるため、生活に必要な路線の見直しも必要かと思われまし、どこでも乗してもらえとか、どこでも降ろしてもらえができる良いかと思ひますし、(ドコでもバス)電気自動運転区間があるなど皆が驚くものもでてくと利用者が増えることもあるのかと思ひました(未来バス)

徳地はタクシーが少なすぎる。もう少し数を増やすべき(安く乗れるように)。防府までのバス賃が異常に高い。子供の高校通学とか。不安しかない。

ノーマイカーデーは何年か前にくらべ、ほとんど実施されてないように思ひます。一人一台での通勤のため、渋滞にもなるので公共交通機関利用を職場で促進していただきたい。バス停から遠い高齢者は通院するのに病院代よりタクシー代の方が負担が大きいのが現実です。高齢者の免許証返納を推進されても、買物、通院等、田舎の方は市内とは全く違うので、もっと話を聞いてもらいたい。

バス停の乗車だけでなく途中での乗車・降車が可能であれば利用しやすいと思うが…鉄道はとにかく運行本数が少なくて不便

時刻表を分りやすく。・総合病院などの正面玄関に昇降出来れば、目的地に直接行く事が(タクシーのように)出来ると。時間がかかると、アイスクリームなど買えない。タクシー代が高すぎる。ペット同伴可能が望ましい。

バス:100 円の券もらつてはいますが何せ、バスが大きくて古く、ガタガタ、身体にこたえます。もう少し小さくていいので、まあまあ乗り心地のいいものがほしい。我ままでしょうか。タクシー:高いので目がとび出ました。年金生活者にはとても乗れません。鉄道:故里に帰る時は利用します。絶対あつてほ

しい。

山口では高齢者が多い割には、公共交通が少くまた自宅から駅かバス停が離れている為利用していない人が少い。便本数も少い。その為年にかかわらず自車を運転するお年寄りが多く、交通事故等にもつながっていると思う。

バスは、時間通りに来ない。絶対と言っていいほど、時間通りじゃない。ちゃんと時間通りにすれば、利用者増えると思う。でも私はつかわない。タクシーは、高い。もうちょっと安く。そして、タクシー会社をいっぱい作ってほしい。近くにないから呼ぶのが大変。番号も分らない。

私は日常自家用車を利用していますが、家族の内 2 名は毎日鉄道とバスを利用して通勤しています。引っ越しをする際は必ず鉄道の駅が近くにあることを必須条件としています。利用人口が都心に比べて圧倒的に少ないのはわかっていますが、弱者側に立って運営を続けて頂けると助かります。移動手段が片寄らず選べることを希望します。

通勤に鉄道を利用していますが、山口線と山陽本線のアクセスが身障者に優しくないと考えています。特急は通勤時間帯をさけていただきたいですし、通勤快速がなくなったのも残念です。バスもたまに利用しますが、山口駅と新山口駅を結ぶ路線があれば車利用の代替となりやすいと思います。ご一考下さい。

鉄道は通っていない。どこへ行くにも乗りかえが必要。バス、時間の調整ができておらず、乗りおくと大変。バスを利用しようとすれば 2 時間くらい前から出発しないといけない。タクシー、車庫に 1 台か 2 台いるかいないかのため、電話してもすぐこない。高いお金を支払ってバスと同じ。山口市(旧)、小郡は便利になるが、秋穂はなにもない。新山口駅前・湯田温泉開発はすすんでいるが、らんらんドーム等今ある施設の利用は少なくなる一方。

鉄道については、山口線は赤字で仕方がないかも知れませんが、本数が少なすぎる(新山口での新幹線を利用する時に、利用しますが山口駅のみどりの窓口が対面式がなくなり機械のみになったのは高齢者には切符が買いつらいと思う。遠出の機会が少なくなるのでは?)。各家庭にマイカーが何台もあれば、公共の乗物は必要ないですね? 運転免許証を返納した高齢者と家族は徒歩でバス停まで行き、1 時間に 1 本のコミュニティバスや、バスを利用して出かけ、買物で荷物が重ければタクシーを利用することになる(バス料金 1 回 100 円は助かりますが)。いずれは皆高齢になるのですから、経費削減も必要でしょうが、今の子ども達にも明るい山口(未来)をつくって欲しいものです。過疎化にならないためにも公共交通は必要だと思います。

山口市内において、公共交通はとにかく不便で役に立たないので使っていない。タクシーは他のものに比べて高額なので念頭がない。本数の増加や IC カードの利用など、利便性が高まればマイカーを手離せるのと思うが、一生無理だろうと思う。つまり高齢者が車の運転に不安を感じてもマイカー利用をやめられず、高齢ドライバーによる事故もますます増えていくだろう。先日、ある検定試験の受験のため、市内のとある学校を訪れることとなった。受験票には「公共交通機関を利用して下さい。」と書かれてあったが、この山口市内でそんなことを言われてもと途方にくれてしまった。受験日である日曜日にバスの本数など調べるまでもなく役に立たない。我が家を含め、近隣の施設にマイカーを停めて送迎する人がかなりいた。公共交通が不便なために迷惑を被るのは利用者だけではないだろう。

大型施設はバスがよくとまるけど家の近くにはバス停がない。電車で行くと大型施設に行こうとするとそこからバスにのるくらいなら、自転車で行くか駅近くのところであそぶようになる。どちらも利用する日はない。タクシーは運転手が運転があらくひかれそうになたことがたくさんある。へんなところに停めたりしていてすごめいわく。

新山口駅から市内へのアクセスが悪い。

Busit や IC カードの導入で、ここ数年利便性は改善されてきたと感じます。特に Busit はバスの遅れが事前にわかるので便利です。一方で、空港への乗り合いバスがなくなったこと(湯田地区は復活したようだが、以前に比べてサービス範囲がせまくなり、自宅は対象外のまま)、新幹線/空港連絡バスと新山口⇒湯田の在来線の連絡が悪く1時間も新山口で待たされることは問題だと思います。コミュニティバスに小型の新しい車輛を導入し、ラッピングなど親しみやすくしている事はよい取り組みだと思います。コミュニティバスに何か愛称があるとよいと感じています。(〇〇号、●●くんなど)

山口市は県庁が山口駅にあるし、観光名所も多々あるのに JR の駅がさびれて、みどりの窓口すらなくなっていた。車社会とはいえ、びっくりした。バスはもっと小型で良いから、便を増やさないと意味がない。このままだと若い学生(山大生や県立大生)があいそつかして山口の大学に来なくなるよ。新幹線と JR 山口線が時間ありすぎて、時間のムダの為、新山口へ迎えに行くのも山口線がさびれる原因。バスは曜日を決めて便をふやすとメリハリついて予定立てやすい。たとえば買物行く日、病院に行く日をそれに合わせて決めるとか考えられるから。そして、このようなアンケートは山口市のホームページで行えたら切手代が節約できると思う。NHK で呼びかけるなど。

公共交通全般／維持して欲しい

山口では車社会なので、現状必要な人は少ないと思うが、廃線は検討すべきでないと思う。利用者が少ない路線はその間だけ運賃を上げたりするなど対応策はいくらでもあるのではないかな。

鉄道、バスはとにかく現場現物の声をしっかり吸い上げて、利用者が少しでも増えて維持継続が出来るように、色んな可能性を考える必要があると考えてます。

利用が少ないからと言ってすぐに廃線等を考えるのではなく、極端に言えば運賃を上げてでも事業として持続可能な体制を目指すべきだと思う(赤字にしない、少しでも利益を得る)。

高齢者や学生にとっては無くてはならない公共交通ではあるが、運行が少なく終電も早い。長距離になると運賃が高いなどの理由で、結局車で送迎してしまう。利用者数と維持にかかる費用など考えると難しいと思うが鉄道とバスをこれからもこの地域で存続させていってもらいたい。観光やイベントなどで地域を盛り上げてもらい、公共交通機関をもっと利用してもらいたい。

自家用車を運転できるので、普段バスは使いません。鉄道は、飲み会があるときだけ使います。ですが、たまに鉄道を利用する際や、朝夕の町のバス停で待つ人々を見ると、学生や高齢者にとっては重要な交通手段であり、一部の社会人や大学生も利用していると感じます。

利用者が少ない路線については、マイクロバスの活用を考えては、コスト面での削減が期待できるのではないかなと思う。

利用するバス(路線)に応じて市民の持ち株制度を発案も有りと思う。利益が出れば、株式配当と同様に配当金を出すか、利用金額を下げるなどする。

バスの利用金額に関し一定数の年齢の人を優遇するのではなく幅広く(年齢)に平等に利用金額を支払ってもらおうのも路線(バス)JR 山口線の維持につながると思う。

JR 山口線は、絶対に存続すべきと思う。JR 山口線(山口駅等駐車場がほぼ無いので利用したくても利用出来ないのも一つの不安要素と思う)
病院での検査当日は(バイク)運転不可なので、公共交通は必要ですので維持してほしい。
自分が利用が難しいは、地域の人にとって(高齢化)の交通手段として公共交通の継続は重要。具体的な提案は思いつかないが残して欲しいし、車イスでも利用ができれば考えたい。
鉄道・バスは、不足分を補ってでも、維持していく方向で進めるべきだと思います。
車が運転出来なくなったら、公共交通に頼らずには、いられなくなります。公共交通の一層の充実を期待します。難しいですネ。
利用者がへって、便が少なくなるのは仕方ないが、便が少なくなるとますます利用者がへるという負の連鎖となる。根本的な対策が必要。
広島市に住んでいた時は、車がなくても、生活ができ、車の運転ができなくなったらどうしようという不安はなかったです。バス、路面電車、電車が必要なタイミングで乗れること、料金も分かりやすく、公共交通を使うのに不安はなく、積極的に使っていました。山口市に引っ越してきて、バスや電車がこんなにも少ないのかとおどろき、そして使用できる時間も短くなるのかと、(あまり使う人がいないから、どんどん減らされるのだらうと)思いました。県外から遊びに来る人も、車で来ます。”山口＝公共交通が不便”というイメージがなくなる限り、利用する人は減るばかりなのだろうな、、と思いました。
辺鄙な場所に住んでいるため、鉄道、バスには、全く期待してないが、車が使用出来ない時には、必要であるので、存続は必要である。バスは、もっと小型で良い。人が乗っていないので。お金はかかるが、車が使用出来なくなった時に、一番お世話になるであろうタクシーもドライバーの高齢化や、人手不足と聞いている。高齢化社会では、バスよりもタクシーが、頼りになるので、存続して欲しい。
公共交通は絶対必要です
公共交通は、赤字になっても、維持すべきだと感じます。地域の為に、これ以上不便にならないように。
高齢になり、車の運転が出来なくなり不安になった時を考えると、どうしても公共交通を利用しなくてはならないと思います。バス、タクシーは絶対に必要な交通手段です。
費用の確保も大変だと思いますが、山口市活性化のためにも是非、維持して戴きたく思います。
JR、バス赤字路線はあるが、黒字路線部内でトータルで経営して欲しい。公共交通機関なので、税金の補填も必要の場合はしても良いのではないのか。
いずれ年をとり、誰もが車の運転ができなくなる時がきます(ムリをして運転を続けると死亡事故のリスクが高まります)。誰もが、いつでも安心して移動できる手段として公共交通はとても重要なインフラです。利用しやすい手段として様々な施策などを提示して、公共交通が存続できる社会を共に作っていったら良いと思います。いずれ私も利用する立場になるのでよろしく願います。
1. 市内の中心地域に居住しており、日頃は買物、通院に支障は感じないが、起居不自由となった場合は、介護車のタクシーなど必要となるでしょう。2. 公共交通機関は、年々利用者が減少しているようですが、最小限市民の移動手段として確保すべきと考えます。3. 小回りのきく乗合タクシーなど、もっと拡充すべきと考えます。

免許返納した場合は、公共交通を利用したいと思いますので、これからも末長く存続してほしいと思います。スーパーおきの割安料金が実施されていますが、停車しない駅に住んでいるので、残念に思います。

公共交通全般／乗務員の態度

ご老人の危険な運転や、細い道での横着な運転を目にすることが多いので街全体が容易に行き来できるように整備ができれば自主的に免許返納する人や、事故の発生も押されるのではと思います。

バスの運転手、タクシーの運転手、態度の悪い人が多い。バスの運転手も運転が荒い人がいて危ないことがある(コミュニティバスの人)、また、子供が学校近くでタクシー運転手に暴言をかけられたことがあり、怖がっていた。マナーの悪い人の運転する車やバスにはあまり乗りたくないし、山口市は一人一台車を持っているのがほとんどなので、高齢になるまでは(なっても子供を頼るかも?)利用することもないと思う。

運転手の愛想が良く無い。何故か機嫌が良く無いように見える。ちゃんとまともな給料払って、若い人雇えばと思う。

公共交通全般／高齢者対応

高齢者に優しい交通網の充実実現に尽力してほしい。鉄道やバス路線のない地域に住む高齢者が気の毒だと日頃から感じている。

単身の高齢者が多い地域が増えているのにバス路線少なく、本数も少ない、待合の環境が粗悪。タクシーも待つことがある。高齢の街なのにとと思う。

乗り合いバスは空席が多い。(だれも乗っていない場合も多々ある)また主要道(コミュニティバスはもう少し細かいが)のみ。車に乗れない老人が増えるのはまちがいないが、バス停まで行き下りた後も目的地まで歩く→無理。バス運行も補助金を出して空席だらけではもったいない。

車に乗れない人にとって最も便利なのは乗りたい時間に乗りたい場所から行きたい場所まで運んでくれる事である。それには乗合タクシー(都会ではやっている)スマホで呼ぶ(老人にはハードルが高いがその操作だけ教える)そちらに補助金を出した方が有効に使えると思う。乗合タクシーは、タクシー事業者だけでなくバス事業者にもやってもらったらいい。

山間地の高齢者が、町の総合病院に行くために、希望する時間に送迎してもらえ、しかも低料金での公共交通のサービスがあれば良い。

バス:乗降口の段差がひどくて膝の悪い者は利用しにくい。まして荷物をもつての乗降は今ままで利用がむづかしい。低床バスの採用を進めて欲しいです(膝を痛めそうで怖い)。JR:ホームへの移動又車両の乗降口とホームとの段差がひどく老人にとっては利用がしにくいです。膝を痛めそうで怖いです。

公共交通全般／DXの活用

マイナーカードで全ての支払いが可能になれば便利

公共交通機関は是非残してください。自動運転で人件費を削減する。市内のバスはスマホ等で走行や位置が把握出来て自由に何処でものれる。

PASMOも導入して欲しい。映画館まで最短距離で行きたい。

電子マネー等が普及すれば、小銭の用意とかせずに乗れると思います。

自動運転機能搭載のコミュニティバス、タクシー等の開発、導入。路線バス等で利用の予約による運行ダイヤや車種の柔軟化を検討、資源の有効活用を図る。

交通系 IC カードが使える場面が少ないように思います

無人運転化を図る都市計画を

若い者は電子マネーを多用しており、バス、電車あらゆるシーンでこれを活用している。以前バスに乗った際、大都市では当たり前で使用しているが、電子マネーを使用できず、煩わしいと感じた。バスや電車の本数も大事であるが、電子マネー決済を増やせば、若者の利用が増加すると思う。

①山口線の線路の空間を利用し、自動運転の路面バスの運行する。②①の便数は多くないと不便なので、少人数の車輛を頻回に離発着させる。③①が困難であれば、国道 9 号線のグリーンベルトを利用して自動運転バスの運路とする。

IC カードを導入するなら JR・バス・タクシー全体で使えるものの方がいい。ポイントカード・IC カードの類が多すぎて困るため。福岡とか広島に近い地域でも使用できる IC カードなら利用したいが、JR は東海・西日本・九州と IC カードが全部違い他で使えないのが困る。市内でも JR の IC カードに統一してもらえれば使用しやすい。

公共交通全般／行政の交通政策

①バスが乗りやすいように工夫して下さい。②公共交通を利用した時少しの補助金の援助があると嬉しいです。

公共交通の必要性は感じるが、市運営の生活バス路線時間帯に疑問がある。生活バスは、空車が多く税金のムダである。交通弱者(運転できない高齢者・障がい者)を対象タクシー補助券で、必要などき利用してもらおう。路線バスのある補完的な生活バスは、基本廃止すべき。阿東・徳地地区など過疎地域は、高額なバスタクシー補助券を出し、より効率的、利用しやすい券にすべき。事前登録制度で利用把握も必要か？JR・路線バス利用は、バイク・自転車置場の無料利用表示(場所・料金など)を PR すれば、利用者が増えると思う。合理的な税金の使い道をもっと精査すべきです。若者(中・高・大生)の意見もきけばもっといい知恵がでるでしょう！

公共交通全般／まちづくり

海外から来られて、仲良しになった人が山口市内滞在中の移動に電車やバスを使っておりましたが、「道や乗り物を通じての行き先に迷う」と困っていました。活気ある街にしてほしいし、観光面にしっかりと宣伝に力を入れてほしいです。経済がまわらなくて、生活困っている人も多いと思います。県外の知り合いに山口への旅行をおすすめしようと思っているので、移動のしかたを「観光」という面からも作ってほしいです。

20 年前に山口市に住み始めて、二回ほど自動車に轢かれたことがあります。車が増えて、道を歩いたり、自転車で移動するときに危険を感じるが多くなりました。山口市はマイカー利用者のために道路や駐車場を整備するだけでなく、それ以外の市民に役立つ公共交通も経済的に支援すべきだと思います。環境やエネルギーの問題で、マイカー社会も今のままで継続できるのかわからない状況で、特に鉄道の廃線などの既存のインフラを失うと未来において後悔するかもしれません。高齢者の増加や環境のために公共交通機関の維持は必要で、できるだけ利用しようと考えていますが、バス停や駅まで安全に行けなければ、利用しにくいと思います。

公共交通全般／その他

小さな子と乗る時など安全性を考慮した座席が欲しい。
鉄道・バスなど人が少ないのに動かさないといけないのは大変だと思います。人が乗ってないですよ、何時も思っています。ご苦労様です。免許返納したら利用します。
近距離では鉄道は使わない バス、タクシーは不便すぎる
公共交通を利用するとポイント(買い物でお得になるとか)がもらえるなどメリットがあると使うかも。
高齢者や学生に重要な交通手段であり、いずれ自分自身も利用することになると思うと、ある程度の負担は仕方ないと思います。
BRTの導入等、利用者数、経費、etcのバランスを考えた形にすべき。
安心安全に運行して頂きたい！
不便
鉄道・・・高齢者なので最近利用の機会が少なく問題ございません。バス・・・大抵、外出先が決まっていますので、高齢者優遇の運賃で運んで頂いていますのでありがたいです。タクシー・・・月1~2回の会への出席で利用させて頂いていますが、決ったタクシー会社をお願いして居ますので余り問題ございません。
地球温暖化が進むにあたり、近域はじめ、全ての人々が大変さを感じ、日々の生活を過ごす必要はある。高齢者の中では、車を使用する事が厳しい方も多々いらっしゃると思います。この中で公共の交通機関がなくなるとすれば、生活に大きな支障も出てくる事でしょう。これらがある事により、車の利用者でなく、交通機関の利用を増やしていくことで、地域や日本全体、世界の形、そしてSDGsを目指す一歩につながるのではないかと常日頃から思い、あまり車を利用しない生活をしたいと思えます。少し回答の内容とずれましたが、私の感じ方です。
駅はなし。バスは、朝・夕の2本のみ運行。タクシーは連絡先が不明。交通不便な場所に居住。家族の車で移動中。家族も運転不可能になったら現在の場所へは住む事が難しいと思う(生活困難)。人口減少は仕方ないと思う。公共交通維持の為への無駄な出費はしたくない。
山口市内は、バス・JRの合算した本数は少ないとは言えません。関東から来た友人はバス(特に山口市内一湯田)の本数の多さに驚いていました。問26で公共交通の維持を図るべきと答えましたが、民間の会社で運営する以上、利用者が減ればサービスは低下します。今の状況を維持していくためには、市民上げて積極的に利用するよう心がけることが大切です。そのためには市の職員さんをもっと利用すべきだと思います。ノーマイカーデーも公務員が率先して取り組まず、市民に呼びかけることは意味が分かりません。今はない市役所隣接の駐車場も図書館周辺の駐車場も公務員が利用しています。誰のための施設でしょうか。バスやJRをもっと積極的に使うためのキャンペーンをしてはどうですか。利用者が増えればもっと便利になるので山口市がモデルになれるような取組がほしいです。JR利用は新山口駅の駐車場が少なく、JRは1時間に2本あるので少し待てば移動には十分です。もう1本増えると新幹線の乗り継ぎも良いのになと思います。
運行を賄う為の費用も重要だが、昨今問題になっている運行業務に携わるマンパワーの不足が大変な問題と感じる。若い世代の就労を促す為には、①給与の引上げ、②カスハラからの会社と社会全体での保護、③(バス、タクシー等2種免許所持者の)車内の負傷者に起因する責任からの免除(勿論道交法の改正等に向けた運動が必要かと)等の問題解決必要と考えます。

将来の不安／運賃

今は利用していないが、将来はお世話になると思います。高齢者になればなるほど限られた生活費の中から出費せねばなりません。市内どこまで乗っても運賃が同額であれば乗りやすいと思います。高齢者にやさしい町になってほしいと希望します。(※もうすでに同一賃金になっていたら認識不足ですみません。)

将来の不安／便数

田舎に住んでいるので車は必需品です。そして将来的に自家用車が乗れなくなる時が来ます。その時に地域のバス路線がもう少し本数や自宅前での乗車等の発達していたら嬉しいと思っています。

将来の不安／接続

公共交通が、交通面でだけでなく、地域の中ではたしている事があるのではないのでしょうか？駅やバス停が無くなった町は、結果通過する道路があるだけで人の流れや求心力も失って行くように見えます。駅の所に行けば、バス、タクシーの情報や地域の情報など、紙だけでなく、インターネット的な事なども含めて。休める(体力に不安がある人等でも)ベンチが無い所も多くて困ります。今まで担って来たものをお金の面だけでなく、見直して”生かす”方法はありませんか。リっぱな車中心の道路は、人にやさしいでしょうか。ある日、自分が車を運転できなくなる日(老若とわず)が来た時必ず来る、と思って新しい形での(無人バスなども出ている)公共交通を考える必要があります。1人ぐらしも多くなって、人口も、家族も少なくなっている。”自がひとりで体力に不安”があると思って考えて！
※乗り継(例 新山口 8番→山口線(3分でした。老人には間に合わない事もあります。))

将来の不安／駅・バス停までの距離

自動車やバイク等が運転できなくなった場合、2km先(徒歩 30 分)の駅・バス停に移動するか、不安。

山口は車社会だから、公共交通機関が便利でないのは仕方がないと思う。ただその分、自分が車を運転できなくなったら不安でしかないが、普段の生活だけなら徒歩圏内で済ませようとすると思うので、やはり公共交通機関は使わないのだろうとも思う。歩いていけない場所に行かなければならなくなったらやむを得ず利用するだけになりそうだ。

私も高齢となり、いずれ免許を返納することになると思います。その時は体調も悪くなっている可能性もあり、最寄りのバス停や駅まで行くことが困難になると思うので不安です。市民の為様々ご尽力いただいていますこと感謝致します。

将来の不安／福祉優待バス乗車証

山口市内に転居し、現在妻と2人分の「敬老福祉優待バス乗車証」を載せております。市内乗車100円の記載に驚きましたが、残念ながら未だ使用出来てはおりません。機会を作っていつも話し合っておりますが、先の理由もあって実行するには至っておりませんでした。公共交通 家の窓からは高齢の女性がいまもコミュニティーバスを利用されておられるのを見るたびに運転免許証を返納した場合のことが頭を過ってしまいます。やはり必要。お世話にならなければと感じておりますので、その時はよろしくお願ひしたいと思います。訓練を兼ね、早急に第一回目の利用を試みたいと思います。

将来の不安／分かりやすく

免許返納したいが、不便になる為出来ずにいる。中心地の端まで行く便が少なく便がよく分からない。

将来の不安／利用しやすく

自転車、自動車が無いと生活出来ない。もっと柔軟に移動手段が選べれば、仕事・娯楽も選んだり参加しやすくなると思う。今のままだと、車に乗れなくなると、徒歩圏内では生活出来なくなるのですごく不安。

私ごとですが現在は自家用車で移動が可能ですが、後期高齢者でもあり、いつ公共交通お世話になっても不思議ではありません。公共交通を利用する立場を考えたとき、移動が安全で容易にできる態勢の整備と継続の必要性を感じているところです。(サービスが高く、負担は軽く)合併の本旨。よろしくお願いいたします。

山口市は、自家用車がないと、生活がしにくい地域である。自動車の運転ができなくなった時に、買い物や病院に通院することが難しくなる。どうすれば解消できるかの良い案は思いつかないが、高齢者に不便のない住みやすい山口にして欲しい。

バスの本数が少ないし、段差が高い。ひざと腰を悪くして、バス停まで歩けない。コミュニティバスを自宅近くまできたら乗れると思う。今は家族の送迎があるが、将来はとても不安である。

足の悪くなられた方が徳佐駅のように階段のある駅は使用出来ずわざわざ違う駅へ行っておられるのをお聞きすると何とかならないかと思えます。バスも山口市内へ行くのに乗りかえないといけない？(三谷)とそれもこまったものだと思います。

今は、自分で自分の車を自由に運転できますが、そう出来なくなった時は、とても不安です。

今現在、自動車での使用が多いけれど、後期高齢になった場合は、公共交通を利用する事になるけれど、年金が少ない現在は個人的に余り負担がかからない様に、税金でまかなえる所は税金で、、、。もっと地域のコミュニティバスとか利用しやすくなる方法も考えて欲しいです。

現在、自分の運転で動けるので、困ったことはありませんが、これからがとても不安です。私はよく旅行をするので、新山口駅迄どうやっていくかを考えていました。JRでいこうと思えば、駅迄が遠い。そして、又、新幹線との連絡が悪い。バスで行こうと思っても高い。そして、時間がかかる…。マイナスな点が多いのです。です。最近では新山口駅近くの駐車場にとめて、2泊3日の旅行にでかけるようにしています。私は広島で育ったので、山口の公共交通機関の不便上にヘキヘキしています。しかし、年齢を重ねるとそんなことも言っておられません。市として老人が困らない移動のしかたを前向きに考えて下さい。よろしくおねがいします。

高齢者単身者が多く自動車運転して生活されていますが、大変危険です。公共交通がないので自転車でスーパーには遠く、仕方なく免許返納出来ない高齢者が複数おられます。経費はかかると思いますが、田舎？にも公共交通(バス)が欲しいです。※現在は自動車運転出来ますがいずれ体調の変化により運転不可能になる可能性があります。タクシー利用券廃止しないで下さい。年金生活者は貧しいです。

将来の不安／維持して欲しい

<p>祖父母が未だに運転を続けており、不安があります。本人の理由として、電車やバスでは通院、買い物ができないので運転に不安があるが運転するしかない。もっとタクシー(高齢者にチケット配布や割引等)やその他の新しいサービス(代行、送迎サービス等?)があれば良いのには感じます。路線の維持は大変かと存じますが廃線やバス移行以外の道もあるのでは、と思います。</p>
<p>今はまだ利用しなくても済むが、将来、車の運転が出来なくなった時には、移動手段として、タクシー、路線バス等が必要になるので残して欲しい。</p>
<p>公共交通機関よりもマイカーのほうが、自由もきくし、今はマイカーですが、将来のことを考えると、公共交通機関は維持していただきたいとワガママを思っております。</p>
<p>様々な人にとって、なくなると困る手段であることは間違いないので、なんらか税金等を投入してでも維持すべきだとは思いますが、無駄とならないよう最適な維持方法を検討・検証していく必要があると思う。</p>
<p>実家が阿東地福にあり、空き家になっていて近所に迷惑をかけないように週1回程度訪れて、家の管理や周辺の草刈りなどをしています。バスやタクシーも無くなっていて、自動車の運転が出来なくなったらどうしたら良い心配です。</p>
<p>歳を重ねるにつれて運転に必要な能力が足りなくなってくることがあると思う。そうなった人たちが適切な判断ができるよう、公共交通に頼ることができる環境が維持されてほしい。高齢者のために若者が負担するものは大きく、色んなものができるだけ自己負担であって欲しい気持ちもあるが、それよりも制度が人を追い詰めることがないことを優先したい。</p>
<p>公共交通機関を今はほとんど使用していませんが、いずれは、使用する時がくると思うので少しの負担であれば税金を使ってでも存続できればと思ってます。</p>
<p>自動車が運転できなくなるとやはり公共交通が利用できなるとこまります。よりよい方法で維持していただけるようよろしくお願いします。</p>
<p>普段はマイカー生活ですが、旅行した時公共交通に頼ります。できるだけ残してほしい。又、将来運転できなくなった時の為にも残しておいて欲しい。</p>
<p>車の運転ができる現在までは、公共交通機関の必要性を感じていませんが、それができなくなった場合には、同機関を利用せざるを得なくなる。このようなことを考えると、同機関の充実は必要不可欠なものであり、予算が限られる中であって、大変でしょうが、利用者の負担をできるだけ軽くできる方策を講じて頂きたい。</p>
<p>高齢化社会への差し迫った対応の検討だと考えられるが、人口を維持する施策と並行して実施する必要はある。公共交通の維持とあわせて子育て支援を拡充すべき</p>
<p>今は自分で自動車を運転してるが、いずれ公共交通を利用するようになるのですが、今よりも、便数を少なくしないでほしいです。</p>
<p>現在は医院に行く時鼻に行く時軽トラ運転で移動していますが、それも出来なくなる時が来ると思っています。従って公共交通は持続して頂いたらと思っています。</p>
<p>今は自動車に乗っているがやがて公共交通を利用しないといけない時はやがてくる。その時に廃止になっては生活できない。不安になる。どうか維持できるようにお願いしたい。</p>

予約、定期乗り合いタクシー。近い内に絶対に自家用には乗れなくなると思う。医者通いが多い私、不安である。バス停まで歩くのはとても不安。子供は無理、奥の方へ住んで老人は予定がいっぱい。

今は私用車を利用していますがそれなりの年齢になったら利用するようになるのではないかと思います。そのときに利用できるようよろしくお願いいたします。

私は自動車での移動が可能ですが、将来的には、公共交通にお世話になると思います。今、利用されている方、将来、利用される方の為に、公共交通のサービス低下や路線の廃止がありませんよう願っております。

山口駅やバス停に近いところに居住しているので、歩く距離は短くて住む。今はマイカーを使うが、その内運転できなくなるので、最低、現在のバス路線と本数(便数)やJRの運行本数については、現状を維持してほしい。

徳地地域の中でも、山間部地域は交通機関の利便性は、市内に比べると格段に弱い部分があります。利用者が少ない事で、廃止路線とならないように願うところです。たった住民が一人になっても、中国地方で一番安心な老後を施策の柱に掲げ、切り捨てられない行政を切に願います。納税者が多いか少ないかが判断でなく、1人の人間の生活を守っていく姿勢を隅々まで行きわたせる政治に人は心打たれると思います。

将来の不安／高齢者対応

現在は自分で運転していますが、コミュニティバスの停留所迄は徒歩では、運転出来なくなった時は、無理だと思っています。タクシー利用も運転者の方の態度が心配です。免許返納時は、自分で日時を予約し近くの人々と同便で行ける又は帰れるようになれば安心です。徒歩では荷物等があると近距離でも無理と思えます。

独身の者でそのうち車も運転できなくなるだろう。国民年金での生活になるとどこにも行けないし行かない。介護タクシーさえ使えないかも？

むづかしい問題です。息子たちは仕事や学校があります。本当に動けなくなったら、タクシーで動かないかなと・・・

運転がむずかしくなった場合を想定して病院はバス停に近いところを選ぶようにしています(眼科、皮膚科、歯科)。かかりつけとして通院している場所が住居からは車を利用しなければ不都合なので近い将来に向けて心配。JR駅から距離があるものの公共交通利用も不便。高齢社会に向けて、団世代の悩みは通院手段が話題になっています。小回りが利くルートが望ましいのですが・・・買い物は宅配の手段があるけど本人が動く手段がない

高令者運転による自動車事故が多発しています。免許証返納をすると、高令者にとっての移動手段は公共交通に頼るしか方法はなく(家族がいない場合)より便利な、高令者に寄りそう対弟が必要かと思えます。まずは、公共交通の利用実態を把握し何が問題か、どうすればより便利は高令者と地域住民にとっても寄りそうことが出来るか、正解はないと思いますが検討してほしいと思えます。

今は自分で車が運転できるが、車の運転ができない年齢や状態になったときは、公共交通機関を利用する時もあるだろう。今住んでいるところは白石地区なので買物・通院は徒歩で行くことができるが、中山間地域の学生や老人にとっては、公共交通が唯一の移動手段であるのに、その交通もなくなったり、便数がますます減ると、困るし、老人にとっては「出かける」という楽しみもなくなり、気分がめい

ったり、体力も落ちたりするだろう。

将来の不安／行政の交通政策

このままでは独居老人はどこにも行けなくなる。特に田舎では、生き死ににかかわる。介護や福祉と
連けいして地域で暮らしていけるような交通を望む。

乗ってる人が少ないと心配になる。バス会社とかやっつけていけるのかと思って…。高齢になったとき乗
ると思うので、その時(もうすぐだけど)どうなるかと思う。大企業や公務員の人も協力して、週1回は通
勤に使うとかしたらどうかと思う。

将来の不安／まちづくり

非常に大変な事だと思います。これからの自分もどの様にして生活をして行くのか不安です。公共交
通は絶対に必要です。やはり地域が一体となりとり組むことが大切だと思います。今はいいけど将来
が不安で一杯です。

将来の不安／その他

運転免許を返納したら、公共交通に頼るしかありません。時には利用して少しづつ身近なものとし
て、感じていくことが大事だと思います。

将来自分が車を運転しなくなった際に今の公共交通機関の状況では不安が残ります。

車に乗れなくなったら、生活する最低と病院、食料品等の買い出し等が難しくなるのに不安を覚え
る。

今は車の運転ができるが、運転できなくなった時の交通手段が不便。

主人が免許証返納間近。足が2人とも悪いので、病院もタクシーになると思う。とても不安です。

現在移動手段はマイカー使用で不便を感じていないが、いずれは使用不可となるのでその時に初め
て交通手段を考えなければならないことを考えています。現在年齢84歳で免許証ありで日常生活
を過ごしています。免許証返納した時はバス利用で動こうと思っています。

今は車の運転が出来るので公共交通の便の悪さがさほど気にはならないけれども、今後もっと
歳をとっていくと、運転出来なくなる日が来るので、今のうちからなるべく近場は歩くよう心がけていま
す。具体的には分かりませんが、公共交通の便の悪さは昔から変わっていないように思います。

私は今年85才になります。今は自転車にて運動のため週に3、4回買物とか病院に行っております。
出来なくなったら、コミュニティバスか、タクシーを使いたいと思っております。グループタクシーが良い
と思う。共同利用出来るタクシー券を交付する制度を始めてしました。

仁保便を見ると利用客が少ない。私も2年3年もすると自動車運転が不安になる。かと云ってバス
を利用する気にはならない。ごみ出しには車が必要…。他に外出は買物…移動販売車がくればそ
れでいい。

自分勝手ながら現時点では自分の身体①(歩行が少々～数百m出来る)と、運転できる主人②と
③住居が割と交通の便の良いところに住んでいるという3点からのんびりとかまえていますが……。や
がて①②は消滅、後は公共交通かタクシーにたよることとなると思います。

その他／福祉優待バス乗車証

バス代について、高齢者は100円、中学生は高額、とはあまりの高齢者優遇だと感じる。高齢者が
外に出るための手段として必要である、とは思うが、今どき一律100円はないのでは。

70 才になり、福祉優待バス乗車証をいただきました。一回乗車 100 円なので、なるべく用事をつくって運動がてら、出かけています。以前は山口市の米屋町まで片道 340 円かかっていました。年金生活に入って、この 100 円はとてもありがたいことだと感謝しています。昼間乗車すると私のような年寄りばかりでこれで 100 円でやっていけるのかなとの疑問もあります。でも甘えてばかりもこれからの時代いられないからとの思いもあります。福祉優待バス乗車証、少し値上がりしても、できるだけ続けて欲しいと思っています。半身不自由な方でも、誰もかれもタクシーというわけにはいかないようで(タクシーはやはり高額)家人と共に又は一人で、バスに乗られる方も結構見受けます。エコ仕様のバスで障害者や高齢者にも優しいバスがあれば良いと思います。

今年の 6 月に福祉優待バス乗車証を使い、友達 4 人で萩美術館、博物館等を見学してきましたがとても楽しくて、何かゆったりとした時間を過ごせて充実した旅になりました。気持ちも穏やかになり又このような旅乗車券(福祉優待バス乗車証)を有効に使おうねと話しました。

老人パスで 1 回乗車 100 円となっていて、助かってはいますが、もう少し老人も負担しても良いのでは…と思います。

後期高齢者はどこ行っても 100 円、確かに収入はありません、が公共交通を利用する人は殆んど高齢者です。ガソリンは普通に必要、運転する人も生活ある年齢です。行きづまるのは目にみえています。100 円という安い額。反対にタクシーが高く感じる。免許返納した後の苦労は不便はその状況になってみないと言葉や文章で表現できません。私は防長バス(元市営バス)を利用。慣れると使い安い、しかしいつも夫は傷害者で 0 円、私は高齢者で 100 円、これで成り立つのかいつも心配。

福祉優待バス乗車証をいつも利用させていただいてます。大変ありがたいと感謝しています。

運転はしていますが、買い物、病院のみ、遠くへは自信がない為運転しません。福祉優待バス乗車証は大変助かっています。有難いです。

福祉優待バス乗車証で、無料でバスに乗れるので、大変助かっています。どうも、有難うございます。

70 才以上になり 100 円バス券を頂いているので最近では利用出来る範囲の所は遠くまででも出掛ける事が多くなりとても有難いと感謝しています。

今年自動車免許証を返納を考えています。福祉優待バス証が来ました。公共交通利用していくつもりです。

福祉優待バス乗車証。いつもお世話になってます。ありがたいと思います。

・山口線の車両がもう少しおしゃれで、かわいいといいなと思う。高齢者のバス料金が市内 100 円はとてもありがたく、上手に利用して、あちこち出かけてみたいと思う。

先日、はじめてバスを利用して、新山口に行った。
100 円バスのパスポートは助かりました。これかは、年とともに駐車場の心配をしないといけないので、公共交通機関を利用すると、その心配がなくて良い。今度初めて KDDI 維新ホールに行きました。

その他／利用しやすく

公共交通機関を利用しようにも不便すぎて結局自家用車に頼らざるをえない。が、通勤通学時の交通渋滞の緩和、事故の防止、高齢になって免許返納後に足がない、などの観点からもっと便利に公共交通機関が利用できないと非常に困ったことになると思う。地元の住民だけでなく、観光客にとっても移動が不便なのでは？私はバスの回数券を利用しているが、お得に利用できて便利なのにはほとんどPRをしていない。普段公共交通機関を利用していない人に利用してもらうきっかけになるようなPR、キャンペーンをもっと考えるべき。通勤時の利用料金が安くなるような時差料金制度、金曜日の終電終バスの時間を遅くする、アルコールを提供する飲食店と連携して公共交通機関の割引クーポンがもらえるようにする、などもっといろいろなアイデアを考えてみてください。

その他／高齢者対応

田舎になるほど、街から遠く高齢者が多いのに、交通手段が無い。話がそれるが、移動販売や出張医療？等有れば便利と思います。

公共交通は地域格差が大きい。地域に即したきめ細かい対応を望みます。農林部、山間部の高齢者に配慮してあげていただきたいと思います。

90歳を過ぎ、1人では利用できない

自宅近くまでの運行。狭い道も走行できる様、小型車での運行。高齢者の方への配慮。運転手と添乗者の同乗。手荷物、補助具等の積み降ろしの手伝い。

その他／DXの活用

成人健常者の99%以上が運転免許を保有している状況にあつて、公共交通機関の維持は困難である。利用者は学生と運転に問題がある高齢者に限られる(更に学生も私立高校はスクールバスを自ら運行しているので利用は限られる)。人口密集地域のない地方において高速移動の新幹線以外鉄道は必要なく、少子高齢化の進展によりバスタクシーも乗務員が集まらず、結果的に維持できなくなる。

その中で個人の日々の運転手段はやはり車である。車は時間に拘束されず、好きな場所行きたい場所をドアからドア、最短で結ぶ。これに勝るものはない。車は安全装備や自動運転技術の進歩が日々進んでいる。将来はもっと安全にかつ楽に車で移動できるようになっていくと思う。それに現状でも衝突回避など安全装備の標準化が進んでいる。

大多数はよいとして、では交通弱者はどうすべきかという点だが、タクシーやバスのない地域では、2種免許不要かつ緑ナンバー不要のNPO運営のコミュニティバスとなっている。山口市位の人口規模だと、少子高齢化により、乗務員が集まらず、将来結果的にこのような形になるのではないか(よく人手不足というが、少子高齢化なので各産業で人の取り合いが生じている。AI技術の進展でも解消できない)。また、これすらも運営できなくなった場合、諸外国や一部地域で認められている合法白タク、配車アプリUberのようなものを解禁すれば良いと思う(本当なら都市部でも解禁すべきだが)。最後に少子高齢化時代に行政が公共交通に投資すべきは、橋梁など道路のインフラ維持であつて、これに集中すべきである。

今は自営のみですが、いつもはダブルワークで、自家用車以外では実質、通勤できず、時間配分的にも経済的にも生活が成り立ちません。収入を得るために車が必須で維持費もかかる点がネックと思います。通勤手段が確保されれば、マイカーをなくし、公共交通やシェアリングカーにしたいです。ラッシュが減り、移動中にできることが増え、生活コストも下げたいからです。例えば、通勤通学拠点への直通バスと、公共交通の拠点を結ぶとか、自宅から公共交通拠点までの移動手段も予約アプリで自動運転小型車で可能とか、必要に応じて稼働させる新しい方法や技術、そこに協力する企業への助成とかを検討してほしいです。過疎地でいつも運行はもう維持困難と思います。住む場所もある程度集約していくとか、個人も企業も行政も、新しい価値を探す必要があると思います。

自動運転システムを公共事業として取り入れるべき

その他／行政の交通政策

市、県が必要なインフラだと思っているのか？ノーマイカーデーとは何のためのスローガンなのか。

維持費は市民から強制的に徴収して、利用券を無理矢理配れば採算が取れるし、利用者も増えるのではと思う。

まずは公務員が公共交通機関を使って出勤するべきではないでしょうか？駅やバス停に無料駐車場を作ってそこから公共交通機関を使って出勤するようにすると良いと思う。

高齢者にタクシー券などの補助を増やしてタクシーをもっと使えば高齢者の事故が減っていくと思います。

以前、県内他市にて公共交通に関する政策に関して携わったことがあります。山口市さんについてはその市に比べると公共交通機関が充実しており、普段自家用車をしようする私でも使おうと思えばいつでも使えるのが良いところだと思います。もちろん中心市街地に居住しているため、少し離れた郊外や合併前の旧町・村地域になると不便さはあるかとは存じます。

公共交通機関については、世代に関わらずインフラと必要不可欠なものです。一方で過疎化や都市圏への市民の流出で、採算が取れず撤退する路線や事業者もいることだと存じます。例えば、以前より赤字路線として廃線されるのではないかとされている美祢線も先日の豪雨で一部が流出し、廃線がより現実のものとなっております。県や沿線地域市による協議会が要望をあげてはおりますが、それに附随して沿線住民の理解はもちろんのこと、普段使わない住民に対しても交通機関の存在意義を理解しないと、「乗らないから関係ない」で終わってしまい、廃線となってしまうことでしょう。山口市さんにおいても、住民から「殆ど人が乗ってないからバスなんていらんよ」といった声があがると現在のバス路線がより縮小し、どんどん利便性が減る。一方、その路線が必要な住民からすると死活問題といったことがあります。市の予算の都合から交通政策に充てられてる予算は限りがありますし、その予算に対して交通政策に理解のない住民から「税金の無駄」とも言われるかもしれません。そのため、まずは住民理解を得るとともに限られた財源の中ではできることも限られるため、何をするのが問われるかと思われます。私自身、具体的に何か提案できるような施策はありませんが、公共交通機関を維持するには税金による赤字補填だけでなく、やはり地域住民から必要性を理解してもらい、一部を負担してもらいながら公共交通を地域の一部として認識・存続できるような形が今後の公共交通のあり方だとは思っています。

そもその考え方が間違えています。コロナで需要が減ったからバスや電車の本数を減らした??減らすから客足が減り人が出なくなったのではないのでしょうか?潰れてしまった飲食店が復活する事はないかもしれませんがこれ以上、後追いの対策はしないで頂きたい。

こうなる事はやる前から分かっていたではないですか?どこにどうやって税金を投入すれば景気が戻るか考えてもわからない人に任せるのではなくアイデア工夫ができる人材をチームに入れ再編していただきたいものです。人に聞くより考えろ??と敢えて厳しいことを言わせてください。

生活インフラとして、交通弱者が困らない世の中にするのが政治の仕事だと考えます。

本数が少なく不便だから使わない→さらに本数が減るという負のサイクルに陥っているのは理解しているが、どうしようもない。仕事が早朝や深夜などで不規則なので行き帰りの便がないと使えない。随分前に県庁が職員に対しパークアンドライド実験をしたが、明らかに交通量が減った。定時勤務の多い官公庁職員がまず公共交通機関を使うと人数が多いので効果があるのでは。交通量が減るとバスも定時運行できるし。

箱もの建設、開発の予算を削ってでも、公共交通を現状以上に便利に使い易くすべきです。その結果、交通渋滞の緩和、温暖化防止対策などに繋がります。

通勤時間帯にバスがあり、通勤でバスを利用し、定期券を購入する者は、山口市から補助金を出せば、車での通勤者は減少し、渋滞は緩和され、バスの利用者が増えると思う。朝8時前後の県庁周辺の渋滞は異様だと感じる。

山口市の場合、面が広く幹線道路は比較的恵まれているが、枝になると便数が少なく(乗る人も少ないが。)なかなか利用しにくい。かと言ってタクシーは料金が高く思えて使っていない。高齢者にタクシー助成を検討されては如何か。

県職員・市職員は山口線を利用すべき。基本山口の人口が増えないかぎり、交通機関は衰退する。山口市は公務員の町みたいになっている。公務員が大部分をしめているので、この人達が利用しない限り山口線も衰退。

官公庁、民間を問わず、仕事で車を使用しない職種の方は、可能な限り公共交通機関を利用することとし、それに伴う、時間や費用的な補助を検討する。

バスの運営が赤字だと思います。山口市の全企業や県職員、市職員が通勤を公共交通に転換してほしい。出勤時間も7:00~9:00~迄として。出勤の時間帯を集中しない方が良い。(現8:00~8:30)。R9号線は混雑する。

公共交通の持続、渋滞緩和のため、県庁、市役所、大学が職員、学生専用のバスを無料運行し、費用は事業者が負担する取組を試験的に行ってみては。

山口線の新駅建設の意味がわからない。税金の無駄遣いはやめて欲しい。

公共交通機関の利用促進について、交通弱者への施策を今より広げてもっと気軽に利用できるように考えて欲しい。

ノーマイカーデーのように、公共交通機関の維持・確保のために、使う必要のない公共交通機関を利用させることは反対であり、利用したい人のみに利用させるべきである。公共交通機関は、必要な路線かどうかの検討はあっても、高齢者や学生等にとっては必要不可欠な重要なものであり、採算性で存続の有無を決めるものではなく、赤字が続くならば、税金を上げてでも皆で協力して維持させていくべきである。

まずは公務員がマイカー通勤を自粛し公共交通を利用するのはどうでしょうか。そうすれば、国道9号線の渋滞も回避されるのではないのでしょうか。

地方での公共交通の維持はある程度、税金での補填が必要。災害が多い日本ではそれなりの経費がかかるので予算として扱うべき。

高齢者や障害者に対してもっと補助してあげるべきだと思う！病院通いの人に対して今の補助では少ないと思う。

県庁や市役所など、その近くの人はいたいがいのバスがそのバス停に行くので特にそこに勤めている人はノーマイカーデーを他にすすめるくらいなのだから、その人達こそ利用すべきだと思う。税金使うのもいいですが、まず利用して考えてみてはどうでしょう。

公共交通を必要とする層の年代に立案を任せると良い。普段利用しない人間が立案しても意味がない。

私は5年程前からパートで市内中心地の官公庁へ勤務しており、その際駐車場もあまり無い為、防長バスとコミュニティバスを行き帰り利用しており、その時に強く感じた事があり、運転手さんにも話した事がありますが、コミュニティバスの利用者のあまりの少なさにビックリしました。思わず「こんなに少なくて存続は大丈夫なんですか？」と。山口市中心地にある「市役所・県庁・総合庁舎・中電」等の事業所は労働者も多く、必然的に駐車場も優先して確保され、一般の人が使える駐車場に困る事は再々です。県や市やこの地域を支える事業所がもっと率先してコミュニティバスを利用すればルートも増え運行本数も増え存続にも役に立つ様に思います。この様な思いを訴えるところもわからずおりましたが、どうぞこの機会に前向きにご検討お願いします。

その他／まちづくり

人口減少が進む現状では、公共交通機関の維持管理は難しいと思う。若者の流出を防ぎ、魅力的な都市開発を進めるべき。

山口市のように分散したマチでは公共交通のみの移動は難しい。自家用車で好きな時に好きなように出かけるのに慣れた山口市民は、免許を返納したら自由がなくなると感じて免許を返さない。60代の私が免許返す頃には街中にコンパクトに居住できますかね。

街づくりの中心に公共交通を置くべき。市役所、市民会館、図書館、球場などの多くの公共施設がJRの駅から遠く、車で行くことが前提の街づくりになっている。例えば、市民会館や球場など集客力の高い施設が米屋町にあれば、JRやバスの利用も確実に増えるし、商店街の客も増える。土地取得のため一時的にコストが増嵩するが、経済効果が永続することを考えると、必要な投資になるのではないか。願成就温泉も徳佐駅前であれば、駅利用者も増えるし、駅前商店街も活気が出る。公共施設、公共交通でもっと相乗効果を計算した街づくりを進めるべき。

先日、県がJRの活性化会議を開催したが、会議に出席した委員はJRの支社長を含めて、誰一人JRもバスも利用していない。JRが山口県から早く撤退したいということの現れなのではないか。高齢化が進む中で、アメリカ型の街づくりを目指すのではなく、ヨーロッパのように公共交通機関が機能する街づくりを目指すべきではないか。

駅が山奥にあり、町の中心にないので本当に不満。駅の周りにはなにもなく、他県のように商業施設が近くにあれば変わるのでは？まちづくりが下手すぎる。

公共交通の話とは少しずれてしまうのですが、都会に比べて運行本数が少ないのは仕方ないと思います。そのため待つ時間を潰せる施設がもう少し充実したらいいなと思います。新山口駅はせっかく新幹線も止まりますし、維新ホールやきららのワイルドバンチにライブをしにきてくれるアーティストさんが駅周辺に何もなくて…などと発言されてるのをよく聞きます。都会から来ると余計に本数の少なさに驚かれるみたいです。カフェやカラオケ、アパレルなどが歩いて行けるくらいの距離にできると嬉しいし、ついでに鉄道を利用しようとする人も増えると思います。

以前都心部に住んでいた際は積極的に公共交通機関を利用していた。理由は便利だったからであるが、公共交通機関を利用した方が自動車で移動するより「運動」する機会が増え健康的であったように思う。健康と言う観点だけでも公共交通機関を利用することにメリットが見出せる。しかしながら、鑄銭司にはスーパーさえなく自家用車の利用を余儀なくされる。また買い物の後の荷物のことを思えば必然的に自動車を利用してしまう。このように、公共交通機関だけでなく街全体を整えていく必要があると感じてしまう。まずは気軽に利用できる地域周遊バスやレンタサイクルなどの普及を期待したい。

東京銀座に行くのに大方の人は公共交通機関を利用する。50年計画で、バスターミナルとか山口駅周辺に商業施設や病院など整備すべき。

路線バスがよく通る県道の車線を増やしてほしい。そうすればバスがよく遅れることがないから、ぜひ実行してほしい。

大都市と地方中小都市での公共交通インフラの考え方は異なる。市域が広大なため、効率的なインフラ交通網の整備が苦難と感じる。

定年退職でUターンして山口を住居地にしましたが思った事は交通インフラが他県と比較すると15年以上遅れていると感じた。何もかもが中途半端を感じる。若者が前に立ち年配者は後押しでないと進展は無い。山口は古い体質に縛られている気がする。

自動車が運転できなくなった場合、シニアカー等の乗り物での移動を考えている。したがってシニアカーでの移動できる道路整備をしていただくとありがたい。

山口市は自家用車が多過ぎる。一因として、公共交通を発達させていないからだと思う。県農業試験場の跡地活用法は既に決定しているのかもしれないが、意見を書きます。あの立地で、あれだけの敷地が、用地買収を必要とせず使えるチャンスはもう二度とないでしょう。SDG'sの時代といい、将来の事を考えるならば、公共交通の一大ハブを農試跡地に作るべきだと思う。水素ステーションや充電施設なども充実させ、公共交通メイン、自家用車はサブ、という世の中を創り出していくべき。隣の広島や福岡をもっともっと参考にすべきです。(政令市だから、とかは関係ないと思います。要は、考え一つです！！)

県庁所在地の山口市に中心が無い。どこに行くにもマイカーで行く。中心市街地の形成と交通網の集約をすべき。他県に比し、県庁所在地としての山口市の存在が希薄である(他市との連携も特段ないと思う)。

その他／その他

個人的な考えですが、公共交通機関を利用していただくためには、イベントごとなど人が多く動く行事を行う際や大型の公共施設の場所は、公共交通機関である電車やバスどちらでも行きやす場所で行う。そうすれば自ずと公共交通機関の利用が増えると思います。

代行サービスの代数が増えてくれると、少し離れた場所でも、夜飲みに行くことができありがたいなと思っています。
つかわないからよくわからない
鉄道を無理に維持せず。バスの利便性を上げる努力が必要。
自家用車を乗りたい時に乗って行きたい所へ行けている今は特に感じている事はないです。
財源が限られる中、需要の少ないところは廃止等を検討せざるを得ないと思う。
障がい手帳を公共交通機関で提示するのに、少し苦痛を感じることもある。
どうしても都会ほど公共交通機関にメリットがない。車が運転できるなら車で移動した方が時間も自由に使えるし、気軽に外出できる。ただ、高齢者や学生さんなど車を所持してない人は困ると思う。
日頃、公共交通を利用していないので、特にありません。
山口県は残念ながら今後も人口減少に歯止めが掛からないであろう。特に山口県は車社会であり、人口が減少していく中で既存のサービスの維持は難しいのではないかな。
公共交通機関なんてどうでもいいので綺麗な道を作ってください。そして自動車税を下げてください。
我が地域では利用しようにも便数は少ないし、自家用車以外に使えるものはない。痴呆になっても死ぬまで自家用車に乗り続ける。
都会に比べ田舎は自家用車で移動が当たり前という考えがあるが、歳をとったときなど公共交通機関を当たり前利用する時が来て便利さに気がつくはず。子供のうちから公共交通機関を利用する頻度が高くなれば良いと思う。そして親世代も子供とともに公共交通機関を利用する時が増えれば良いと思う。
公共交通機関は全てを廃止して市の支出を減らすべきである。
予約制にしたら無駄な運行を減らせるのではないかと思います。
100円バスや乗り合いタクシーなどが、「気軽に利用できる」環境になれば理想ですが、利用が増えなければ実現性が低いと思います。まずは、試験的なウィークのようなものを実施してみたいかながらでしょうか。
公共交通機関が発達しないからマイカーになる負の連鎖。税金の投入で支援、公共交通機関のインセンティブ例えばバスレーンや優先するもの、マイカーにペナルティ、行政従事者や協力事業者のノーマイカー強制など推し進めたいなら山口市は公共交通機関推進都市の宣言でもしたらどうか。夜の試合のレノファ見て新山口や他市、他県に帰りづらいのは人口の多い地域のことを考えないで田舎だと思うが。
出掛けるのは買い物が必要な目的となるので荷物を持って移動するのが問題
法規制も大事だが、もっと自由な発想が出来ないのかな？
大学、高校、中学校、小学校などの若い方のアイデアでいろいろチャレンジしてほしいです。
今は自分で運転できるが高齢になって免許を返納すれば移動手段がなくなる。公共交通機関は不便すぎるのでそれまでに自動運転が発達するか利便性の良いところに引っ越すかになるかと思う。こちらが公共交通機関で出向く他にも病院やスーパーが来てくれる、オンラインで対応できるようにするなど他の選択肢もあれば良いと思う。
公共交通機関がもっと豊かになると、渋滞緩和、他県から山口県を訪れるきっかけになり地域活性

化なる。田舎でも交通が不便だと誰もきません。
広大な山口市全域をカバーするのは、難しい事だと思いますので、過疎地などは地域の方で協力し合って買い物、病院などへの移動手段を確保する事も必要なと思います。その代わり道路渋滞が発生する様な地域では、バスの専用レーンを設けたり、本数を増やす等すれば利用者も増え交通渋滞も少なくなるのでは無いかと思います。
他の地域と比べ利用しづらい
大殿地区にスーパーがありません。そもそも公共交通を使わずにスーパーへ行けるなら生活がずいぶん楽になります。祖母(80代)は2日に1度以上、バスで買い物へ行っていますが、米などの重たい買い物は厳しいようです。
利用者が不特定なので犯罪に巻き込まれる可能性があるため十分な安全に留意し、運行してほしいです。よろしくお願い致します。
タクシー会社に頼りすぎている。地域で利用したい人がある程度把握し、利用者の大まかな希望に合わせた運行することで、無駄な経費を削減していく。今は自家用車で不便に感じる事はないが、いずれ運転できなくなることが予想できるので深刻である。(食品はコープ共同購入を利用しているけれど医者通いなどは不安である。)
問 28 において 2. に○をしたけど、実際のところ利用者減少により運賃による収入が見込めなければ、サービスの低下・廃線もやむをえない話だと思う。結局は自分の都合とタイミング次第で遠方にも行ける。マイカーが一番都合よく使い勝手がよいから、どうしたら公共交通機関が普及するのか答えが出にくい。(旅行・出張の場合は、公共交通機関の便がよくなないと、移動時間がストレスになることも。観光客目線で考えてみるのもよいと思うが、いかがですか)
今現在自分で運転しているので考えてない
使っておりませんので分かりません。
路面電車の普及を希望。利用することで車両が減り、ラッシュ時の渋滞が軽減、環境にも良いと思う。
現在の山口市は、人口も段々と少なくなり、年寄りが増えるばかりです。少ない年金生活者が、マイカーを手放すのをためらうのは、交通機関が悪い為だと思う。買物は移動販売車を利用すれば良いと思われるだろうが、販売車は、品物が高く、低年金所得者は簡単に利用出来ない人が多くいます。仕方なくマイカーで買物に行くそうです。町中を空っぽの大型バスが走っていますが、コミュニティバスの小型に少しずつ変えて行きませんか？小型バスの方が燃料費も安くなのでは有ませんか。高齢者又は免許返納者が路線バスを楽に使える様にする事を感じるのは、市長の仕事ではないですか 市民アンケート調査書を出す前に、市長は市民に不自由をさせない事を先に考えてみたらどうですか 市長は交通機関をどの様にしようと考えていられますか 市民に聞くなり市長の意見が聞きたい物です。市長の意見を市報で知らせてください。市長のパフォーマンスで終わらないことを願います。
運行状況は、人口の減少でほとんど乗客がいない。(空気を運んでいる状態)
小郡駅が新山口駅になり、なぜそのまま小郡駅にされなかったのか不思議で。山口駅(JR)がさびれて行くような気がします。
今は特に何も感じていません。

お手をかけします。これからもいい方向にいくよう願っています。
ほとんど利用していないのでわかりません
維持・確保は利用者負担の原則であるべき。
普段全くのりません。しかし、4才の子どもには乗り方を知らないのはマズいと思い、一度みんなで乗車しました。子どもは大喜びでした。普段車で行くところも、歩いてみると案外近かったり、、なのでバス、列車等積極的に利用したいと思います。
それぞれが考えるべき事。企業努力してほしい。
今現在利用していないので実感がわからない。
私は 83 才まではバス、鉄道と、自転車にお世話になっていましたが、今は 1 人ではどこへも行かれません。とても子供にお世話になっています。ありがとうございます。
維持・確保のための費用で少額なら税金として徴収しても良いと思う。(バス税などの名前で)
バスは全て廃止し、全てタクシーにして乗合にする。
大変な時代です。よろしくお願いします。
年に数回、東京都内でコミュニティバスを利用しています。100～200 円で主要駅から 3 方面くらいに出て、15 分おきにあります。朝夕は満席、昼は高齢者の利用が多く、充実しているようです。山口市では人口、税収の面で難しいかと思えますし、老後は東京のほうが暮らしやすいなど。そう考える人が増えると人口が減るわけで難しい問題(平川地区でコミュニティバスが近くないので)
ほとんどの人が乗っていない公共交通を見ると存続に疑問を感じる
徳地島地にいる者ですが、生家のある串へ墓参りや寺参り、生家の掃除に行くたびに口ハス島地温泉から串に行くバスはたくさんあるのに、串を朝でたら他に串からでるバスは1台もない。帰りはタクシーになる。串から出るバスを・・・西村線の生活バスができましたが、このバスが新南陽高瀬域のバスが上村で止まるのにバス利用で徳山から帰ったら島地堀方面に行くのに接続できるような時間帯で上村停留所まで運行してくれるととても便利です。 道路の白線が消えている所が多く、単車で夜出かける時は縁石の色と舗装(車両)の色が同じで単車のライトは車ほどではなく明るくないので白線があれば良いが、無いところは縁石に境がなくぶつかりそうになる。周南は白線が消えかかると新設しますが山口市は田舎になるほどどうでもいいのか白線が消えても何年も放置されます。車だけでなく自転車、単車の立場になって白線への復帰を考えてください
僻地では何を言っても取り上げてもらえない
シェアカーや自動運転車の普及
ある程度の都市規模(人口等)がなければ、公共交通の普及、維持は難しいと思う。
いずれにせよ、車(自家用車)が無いと不便なものである。公共交通を使うにも住む場所から変えなければ難しい。免許がなくなれば不安な場所である為。
公共として需要に応ずる仕組みは、維持すべきだが・・・仕組みの運用に制限やむなし。
問 26 の 1、2 の回答は極端と思う。バスが運行していない地域や運行していても 1 日 2 便の地域もあり、便は悪い。このような地域にも改善できるよう、検討をお願いします。
問 27 は必須です。地球を守るために公共交通は必要なことを周知することが大切だと思います。

これからは車 1 人 1 台は難しいと思います。(物価高と年金減)環境の面から見ても違う気がします。ですが、人口減少の中、公共交通を維持していくのは大変だと思うので、観光客をもっと多く増やすための整備をして人の流れを作るなどの工夫で少しは改善できるのかと思います。(10年~20年後を見すえた改善が急がれるのではないのでしょうか?)もっと魅力的な山口市、都会にはまねできない仕掛け!!を期待しています。

市内を走っているバスを見かけると乗客はガラガラです。公務員など時間がきまっている人は、月に何度かバスを利用してもらう様にしたらどうでしょうか?自分達は車にのっていてバスの利用が少ないなんて、まず自分達がかんがえよう。

公務員のマイカー通勤を禁止すべき。朝夕の混雑もなくなるし、県庁舎等近くの駐車場保有者が資金供給を受けることもなくなる。公務員が公共交通機関を利用するようになれば便も増えるし山口市商店街も少しは人通りも増えるのではないかと思う。マイカー通勤禁止がいやなら公務員ではなく一般企業に勤務すればいいと思う。

いつも車で移動していますが、電車や新幹線、バスが大好きな息子はたまに乗ると、とても喜んでいきます。新しい経験をする点でもそうですが、公共の場でのマナーや、車内で人とどう接するべきか自分は、どうふるまうべきなのかを学ぶことができ、ただ移動するだけではない、たくさんことを得られると思っています。年々路線が減っていくのはさびしいことだと思います。たまにですが、子供と共に利用していけたらと思いました。

現在路線バスが運行しているが、利用者は少なくもったいない気がする。高齢化している地域なので、1人暮らしの方や、高齢者の2人暮らしなど心配や不安なことは多いと思うが、地域での見守り声かけ必要に応じ、買者(食料)など頼むなど支え合える関係も必要かな。(人と人のかかわりを、今からしっかりしていこうと思っています。)

必要だと思いますし、実際私も運転はしないので自転車に乗れなくなったら使うしかないとは思いますが、本数が少ないのが・・・行きたい場所に行けないのが・・・等々。費用の関係で難しいのはわかりますがいろいろ問題があります。そこで、①買物弱者に限ったお買い物お助けバス→スーパーが運営する、②通院用バス→病院が運営する ⇒もちろん市の補助あり、などのをしぼった運営はいかがでしょうか。田舎で地域の人が交代でお年寄りをおくるのもニュースで見ましたけど・・・事故のとき大丈夫かなと。市内は付属があるので通学のため山口線もバスもなくならんだろうけど、どうなんかなーと思います。それ以上に早く中央パーキングを作ってください。市の職員の方が違反して図書館とかに止めて大変です。市民会館のコンサートとかもめっちゃめっちゃ困ります。むしろ駐車場から作って!!

要介護5の在宅介護 2人暮らし世帯(運転免許返納)。路線バスの利用でマイカーがなくても日常の行動に不自由は感じない(運行回数が多い路線の近くに住んでいる。)。交通渋滞が発生するのは、路線バスが利用しづらい地域からのマイカー利用が増加するから。交通渋滞の解消対策と路線バスの利便性改善を連動させなければ、公共交通の維持はできない。マイカーの利用については、交通渋滞を解消するための時間帯制限や地域的な交通利便性の格差を考慮した補助的な対策で不公平感にも応える行政を。

全国各地自治体が脱炭素等でいろんなことを工夫してやっていると思われる。JR・鉄道にこだわっているようですが、軌道と道路両方走れる車輛とか、地域に合った運送体型を考えた方が良いのではないかと思います。

公共交通を維持する為には多額の資金が必要。インフラを維持するのは難しい時代になってきているのでは？車の移動スーパー等を増やし、そちらに国や県が支援すればいい。あと簡単に病院へ行きすぎ。医療費負担に繋がる。行かないでよい選択を日々すればいい。

現在私としまして買物バスがございまして、大変ありがたく思っています。年齢にもまけず重いものを買物出来て良い運動にもなって車の中で良く話をして居ます。ありがとうございます。末長くよろしくお願い致します。乱筆でごめんなさい。

地方で最も利用するのは学生ではないかと思うのですが、そもそも学校が駅から遠かったり街作りに失敗している。またセミナーパークにしてもきらら公園にしても駅から遠すぎる。なぜ？親世代も公共の交通機関を使って育っていないのか、鉄道・バスを子供に使わせようとする意識が希薄。部活の試合の送迎等交通機関があっても送迎当番が組まれている。私の頃は(東京でしたが)全て自分たちでバス・鉄道で目的地まで行っていました。

母が高齢の為、やむなくタクシー利用しているが、タクシーチケットがなくなるとかなり負担が大きくなっていった。大内御堀の県営住宅は高齢者も多く、バスも通らず買い物や病院通院も家族の手をとる事が多い為、ジャンボタクシー等で朝・昼・夕方と日中定期的に交通便があると皆さん喜ばれると思います。もう少し、こまやかなサービスを考えてほしい。

少子化が今の日本の元凶であると言って良いと思っています。山村の便利の悪い環境が敬遠され、都市部・中心部への人の流れが山村部における人口過疎化に拍車をかけていると思っています。利益を追求する企業・会社は利益が出なければ撤退する。当然の姿と思います。人の移動が一地域に偏り、広域に渡らないと経済活動はうまく回らないと思います。小中学校の合併・閉校・再編成等がされていますが、一番少ない学校に児童や生徒を集めることが大切であると思っています。一番の過疎地に児童・生徒を集めることで、その過疎地は活気づきます。バス運行は通学バスを出さなくても、民間のバス会社が行ってくれると思いますがどうでしょうか。また、保護者の中には子どものためにと、過疎地への転居も考えられると思います。また、NHKの番組に「沁みる夜汽車」という番組があります。私はこれを見て、列車は人それぞれの人生を乗せていると思っています。その鉄道が無くなることは、その人の人生が途切れてしまう気持ちになります。JRは人を運ぶことは、その人の人生を支えていると自覚してほしいと思う次第です。美祢線が案じられていますが、県知事に頑張ってほしいと思うばかりです。また、美祢線が無くなれば、周りにある学校の存亡にも繋がると思います。政府が異次元の子育て環境を整備すると言っていますが、私はうまくいかないと思っています。今は子育てに「子育ては未来を創る価値観」が無いように思っています。働くことが日本経済を支えるという価値観が優先されているように感じています。子育てが日本経済を回すという環境にすることが大事ではないでしょうか。子育てに専念することで生活が出来る環境作りが必要だと思っています。

バス会社とタクシー会社を一体化運営にする。通学、通勤時間帯は、バス運行を優先し、バス停で利用者が乗降する若い世代が多い。昼間、移動する人が少ない時間帯は、タクシー運行を優先する(予約制)。高齢者は、バス停まで歩いて出るのが大変であり、玄関まで送り迎えしてもらう。運転手は、バスもタクシーもどちらも運転出来るようにして、運転手不足に対応。タクシー運賃を安く検討する必要がある。

現在でも公共交通費(税金含む)過大なのに、これ以上補充する必要なし。税金(高齢者費医療費)多すぎる。沢山の建物、従事者多すぎる。

人口減で地方で暮らす(生活する)のは移動の手段に一番不便を感じるのは、私だけではないと思うが、現時点ではどうしようもない状態で関係者の方も苦勞が多いと考える。私は以前竹下内閣の時ふるさと創生制度で税金が使われ、山口市はその時赤レンガを構築した筈だが、山口市内を一周できるモルールの設置を提案したことを思い出す。今日ではコミュニティバスが対応策として導入されている。この交通手段(手法)にもっと知恵を出し充実させるべきだと思慮しています。

中核都市である山口市(県庁所在地)は公共交通機関に関しては全く不毛地帯である。特に、防府一山口一小郡はアストラムライン(広島市)のようなスタイルはムリかな？新山口駅と山口駅間は防府市内のように高架式ではどうか。防府一山口駅・・・遅れている。利便性低く景観が悪い。山口駅一新山口駅・・・高架式(水害対策にもなる)このアクセスが不便なのでレノファの試合の時など極端な渋滞が起こっている。現状では、県庁所在地の景観としては魅力に乏しく、若者の定住は見込めない。新山口駅周辺は今後も期待できる！

私はお酒を飲まないで、利用しないが、息子や主人は、タクシーや代行運転を使う。バスは遅い時間は運行してないので、夜の12時くらいまであれば、利用すると思う。山口では、マイカーがなくて、よい生活はできにくい。ガソリン税車検時の税金など、お金をかけているので、車を手離れた高齢者も、運賃が高くなっても車を維持するお金がいらなくなるのだからよいのでは。バスが安くなる高齢者パスもやめたらよいと思う。運転免許を返すころには、1人で出かける能力もなくなって来るので、バスにも乗れなくなり、タクシーになると思う。タクシーの割引(高齢者)は、続けてほしい。

学校誘致、企業誘致が出来ない現状であれば、人口減少が進む。少子高齢化の沿線になるだろう。高齢になっても、マイカーが必要になる。増々マイカー依存が進む事になると思われる。高齢者は、病院、買物には、公共交通が必要不可欠になる。年金から公共交通の赤字分を負担して下さいと言ってもまず、不可能であろう。良い案は、出てこない！！

町村合併で面積が広がったにもかかわらず人口減の問題を置きざりにし、中心部中心の動きしかみられない。箱物だけで周辺部に押し付けは実にみっともない。中途半端な施策を続けることはやめにすることも必要だと思う。極論すれば限界集落を切り捨て効率を求め中心部に集約することだと思う。

公共交通と言いつつも料金がバラバラ、鉄道>バス>タクシー。料金が跳ね上がってます。ダイヤの連携がとれてないので、交通網として成り立ってない。大都市並の交通網が既存の鉄道・バス・タクシーで構築した上で、料金体系の統一、本数の増加が必要。また、車社会に真っ向から喧嘩を売って、車の維持費の増税、大都市と同料金になるよう、駐車場への増税。持ち家の駐車場にも1台につき5万円程の駐車場代となるようにかけると、交通網の維持が可能となるが、現実では不可能。

我家には高齢者と障がい者が在宅である。市役所からバス券が届いている。しかし外出時は、自家用車でしており、福祉サービスでは送迎もあり、バスを利用することがない。以前、利用することがないので券が無駄になるのではと市役所の方にお話したことがある。説明では、このアンケートP6の6の内容と同じことを言われた。しかし、バス券を持っていても利用しないのに一定の料金を市がバス会社に支払うのは？と思う。タクシー券(300円券)のように、タクシーを利用したら支払うというようにすべきではないのかと思う。バス会社が運行しなくなるのも困るが、路線バスでなく、コミュニティバスを充実させて利用者を増やす方が良い。小郡地域は、小郡第一病院まで(山手、金堀、円座等より)はあるが東津方面、ふれあいセンター周辺、新山口駅周辺、大正町、田町、新町等には運行

されてない。総合支所まで行くのも大変である。地域によって差があり、不便である。

大型ショッピングセンターも駐車場をしっかりと確保できないと建設できない現状もあるし、山口市は車ありきの社会として成り立っていると思う。都市部では、病院にもスーパーや百貨店にもバスで行ったりしているの、交通網が発達して、発達しているから利用者が減少しないという良い循環が生まれている。山口市では通学に関して、駅から近い高校はなく、駅からも自転車が必要だったりする。バス停からも遠い学校もある。学生たちも雨の日に公共交通機関を使おうという気になれないので、かわいそうだと思う。

公務員は、交通機関を利用したら？パークロードのあたりは駐車場もないのに、市の人とかかかってに
おいてるでしょ。

利用者がいない路線は廃止して。交通会社の負担を減らすべき。費用の負担を、地域全体で行っても、利用者の負担は変わらず。交通手段の代替を考えて。負担の少ない経費を考えるべきです。特に山口県は。

当面、自治体を国が上限を決めて財政支援をし、赤字額の上限も決めそれを越えたら廃線にしバス等に切り替えると良いと思います。